

安全衛生委員会

産業医 北村 龍彦、健康管理センター

安全衛生委員会は、現在 29 名（メンバー：12 名、オブザーバー：17 名）で活動している。
〈表 1〉

2024 年度の安全衛生委員会の活動につき〈表 2〉に沿って振り返る。

A. 衛生管理活動

定期健康診断について

2024 年度の定期健康診断の受診率は 99.9%となっている。運動機能検査は、新型コロナ感染対策の為に休止中であったが、昨年度より一部再開をしている。〈図 1～2、表 3・4-1～2〉

当グループの BMI を除いた有所見率について、〈図 3〉総合の有所見率は全国や高知県が増加傾向（全国：58.3→58.9%、高知県：62.6→66.1%）にある中、前年に比べ改善傾向（48.1→47.3%）にある。項目別の有所見率では、全国や高知県と比べて、血圧・肝機能・血中脂質・血糖などは低く、貧血は高くなっている。この結果は当グループの特性（受診者における男女比＝約 3：7、39 歳以下と 40 歳以上の年齢比＝約 5：5、平均年齢＝39.0 歳）が影響していると考えられる。また、BMI を含めた有所見率の年次推移については、〈図 4〉有所見が高い項目は BMI・血中脂質・肝機能・貧血・血糖となっており例年同様の傾向である。性別でみると、男性の有所見率は改善傾向（60.9→58.3%）、女性の有所見率は増加傾向（50.8→52.4%）にある。それぞれで特に高い有所見率の項目は、男性は BMI・血圧・肝機能、女性は BMI・貧血である。年代別では例年同様に 39 歳以下に比べて 40 歳以上の有所見率が高い。〈図 5-1～4〉また、40 歳以上でメタボリックシンドロームの有病者及び予備軍に該当する者については、例年同様に男性に多い。〈図 6-1～3、表 5-1～3〉

以上の結果より、女性の貧血対策の継続や早期（39 歳以下）からの生活習慣病対策が重要であることが分かるが、健康管理センターでは、健康診断後に独自の基準に応じたフォロー（状況確認、産業医面談、保健指導など）を実施している。また、メタボリックシンドロームの有病者および予備軍に該当する者に対しては、近森会健康保険組合（以下健保組合）からの委託を受けて特定保健指導を実施している。今年度は産業医面談を 54 件、保健指導を 24 件、特定保健指導を 50 件実施している。〈図 7-1～6、表 6-1～6〉引き続き健康診断の実施および実施後のフォローを充実させ、職員の健康寿命の延伸および健康リスクの低減に努めていきたい。

特定業務従事者健診について

電離放射線、特定化学物質・有機溶剤、深夜勤に従事する職員を対象に年 2 回の特定業務従事者健診を実施している。

電離健康診断の実施者数は 327 名であり、そのうち前年度 1 年間の被ばく線量の報告において、眼の水晶体の等価線量が 20mSv 超えの者は 1 名であった。この者については、2 年連続で 20mSv 超えとなったため眼科受診し問題ないことを確認済みであり、今年度においては 20mSv 未滿で抑えられる見込みである。〈図 8-1～3〉

また、電離放射線障害防止則の改正（2021 年 4 月～：眼の被ばく線量の限度が 150mSv→100mSv/5 年かつ 50mSv/年、平均 20mSv/年へ引き下げられた）に伴い被ばく線量の低減対策が必要となっているが、画像診断部と協働し現場と事業主側で適切な対応ができている。現場では、画像診断部より未装着や装着不備に対する声掛けや、線量監視による早期からのガラスバッジの保有個数の見直し、防護眼鏡・ドジリスの導入などが実施されており、事業主側では、基準線量を超えた者に対して、本人および所属長への注意喚起・意識づけを促す目的で「ケア線量報告書（実効線量 1.6mSv 超/月、等価線量 水晶体 1.6mSv 超/月）」・「年度線量報告書（実効線量 20mSv 超/年、眼の水晶体の等価線量 20mSv 超/年 皮膚 150mSv 超/月）」を通知、報告内容を

基に担当者による現場確認や改善策の提案をしている。引き続き状況を確認しながら、被ばく線量の低減対策に取り組んでいきたい。

特定化学物質健康診断の実施者は7名、有機溶剤対健康診断の実施者は6名であり特に問題なしである。労働安全衛生法の新たな化学物質規制（安衛法施行令の一部改正）が2022年5月31日に公布され、規制項目ごとに2023年4月1日、2024年4月1日と施行されたが、作業主任者（化学物質管理者）である病理検査室副技師長と管理体制等に問題がない事を確認済みであり、2023年度から安全衛生委員会にて現場での管理状況について報告を行っている。

感染症予防・ワクチン接種について

職業感染予防対策の一環として感染対策委員会と連携し、日本環境感染学会の指針に基づいた感染症検診の実施および予防可能なウイルス疾患に対するワクチン接種を実施している。

B型肝炎については、雇入時健康診断の際に感染症検診を実施しており、抗体価に応じてワクチン接種を実施している。今年度の感染症検診実施者数は289名、ワクチン接種対象者数は52名であり、接種率は100%となった。〈図9-1～5、表7-1～4〉近森病院職員の抗体保有率は2025年3月時点で93.0%となっている。〈図9-6～13、表7-5～12〉

麻疹・風疹・水痘・ムンプスについては、各自で入職までに抗体獲得をする運用となっており、2025年2月時点における近森病院職員の各種抗体保有率は麻疹91.2%、風疹89.2%、水痘99.2%、ムンプス95.3%となっている。〈図10-1～16、表8-1～16〉

結核については、新入職員と感染リスクが高い部署および検査に従事する在職者に対してインターフェロン-γ（IGRA）を用いたT-SPOT.TB検査を実施し、検査結果が陽性・判定不能・判定保留となった職員には、産業医面談を実施し適切な対応を行なっている。〈図11、表9〉

また、上記6つの感染症については、職員に対して免疫獲得状況の管理ができる「免疫カード」を定期的に新規作成・更新し配布している。

その他のワクチン接種としては、インフルエンザワクチン接種、新型コロナワクチン接種、子宮頸がんワクチン接種を実施している。

インフルエンザワクチン接種は、今年度も職員と外部委託業者を対象に接種を実施した。接種費用は、職員のうち健保組合の被保険者のみ全額補助が継続され無料化している。今年度の当グループの接種者数・接種率は1648名：87.8%（昨年度1667名：87.0%）とほぼ横ばいであった。〈図12-1～7、表10-1～5〉

新型コロナワクチン接種は、今年度より健康管理センターでの運用を開始し、近森会グループの職員を対象に接種案内を実施。接種費用はインフルエンザ接種同様に、健保組合の被保険者のみ全額補助がされ無料となっている。今年度の接種者数は259名であり、自己都合によるキャンセルを除き接種完了率は100%であった。

子宮頸がんワクチン接種は、40歳未満の女性職員を対象に希望者を募り実施しており、昨年度から4価ワクチンに加えて9価ワクチンの運用を開始しているが、今年度の接種対象者は0名（2名申込あったがキャッチアップ対象のため対象の医療機関での接種を促した）であった。

〈図13、表11〉

B. 健康づくり活動・産業保健活動

健康づくり活動について

有志主催にてソフトボール大会とソフトバレーボール大会を開催している。次年度以降も有志主催のもと開催を予定している。日頃の運動対策としては、全職員対象に階段利用奨励のポスターを定期的にサイボウズに掲示している。

産業保健活動について

口腔衛生活動では、6月の「歯と口の衛生週間」・11月の「いい歯の日」には、歯みがきに関する衛生行動を促進するため、虫歯や歯周病に関するパンフレットをサイボウズに掲示することで、全職員への啓蒙を実施した。

過重労働対策では、総務課協力のもと時間外労働時間の把握を継続している。厚労省のガイドラインに基づき、副業・兼業先を含めた労働時間管理として、2023年7月より院外での勤務時

間も合計し対応にあたっている。2024 年 4 月より面談勧奨基準を月 70 時間超えから法令通りの月 80 時間超えの者に変更した。年間で月 45 時間超えが 5 回以上、総残業時間が 600 時間以上の医師以外の者も含め、2025.3.4 時点で 8 名の職員に介入している。また、医師は月 70 時間超え 80 時間以下の者、医師以外では年間で月 45 時間超えが 4 回の者や総残業時間が 540 時間以上の者に対しても状況確認を行い、早期介入に努めている。〈図 14〉引き続き、健康管理・安全配慮義務の観点から対策を進める。

喫煙対策では、2017 年から当院敷地内および周辺道路等での全面禁煙、職員の就業時間中の禁煙が定められているほか、健康管理センターでは禁煙通信を利用したポピュレーションアプローチおよび個別の禁煙チャレンジ呼びかけ等のハイリスクアプローチを実施し積極的に取り組んでいる。しかしながら、当グループの喫煙者数・平均喫煙率は 184 名：10.1%（昨年度 164 名：8.9%）とやや増加し、2020 年以來 5 年ぶりに 2 桁となっている。40 代以上の根強い喫煙者に加えて、男女ともに 20～30 代の喫煙者数・喫煙率の増加が目立っており、年代による特徴やニーズに応じた喫煙対策を講じる必要があると考える。〈図 15-1～6、表 12-1～6〉

女性の健康管理（産前産後カラダケア）では、2023 年 9 月より YouTube サイトにて職員向けに限定公開し情報提供をしており、2024 年度からは公式 LINE を活用し、理学療法士によるオンラインでの体操教室を開始した。また、次年度はオンラインの体操教室を担当する理学療法士による対面講座「骨盤底筋体操教室」を毎月 1 回開催することが決定している。

メンタルヘルス対策では、復職支援、休職者数の推移確認や随時のこころの健康相談、ストレスチェックの実施を行っている。

復職支援については、2021 年度から本人・所属長・産業保健スタッフがそれぞれの役割をもって連携することで円滑な職場復帰を目指す「復職支援制度実施要綱」の運用を継続している。

休職者数については、全体的な休職者数は概ね横ばいで推移しているが、心療内科・精神科への通院者数は 37 名（うち新規報告者 20 名）と増加傾向である。こころの健康相談の利用者は、実人数・延べ件数ともに前年度と同程度である。〈図 16、表 13〉今後もセルフケア、ラインケアを含めた職員への啓蒙・啓発活動などの予防活動に力を入れるとともに、メンタルヘルス対策を継続していく必要があると考える。

ストレスチェック（2016 年～1 回/年実施、今年で 9 年目）については、これまで実施時期を 11 月としていたが、メンタル不調者への早期対応による年度内の離職者の減少を期待し、今年度より 6 月へ前倒しをしている。今年度の当グループ全体の受検者数・受検率は 1732 名：95.5%（昨年度 1711 名：95.9%）と横ばい、高ストレス該当者・割合は 167 名：9.6%（昨年度 159 名：9.3%）であり全国平均（約 10%）と同様の傾向がみられた。医師面接申出者数・申出率は 7 名：0.4%（昨年度 4 名：0.2%）であった。〈図 17-1～5、表 14-1～5〉面接申出者のうち、2 名は申出後にキャンセルがあり面接の実施はなかった。5 名は産業医を選択し、健康管理センター担当者による事前面接にて医師面接の希望なく事前面接のみ実施となった 3 名を除いて、2 名が産業医の医師面接を受けた。高ストレス者のうち面接申出をする者が少ない傾向にあるが、面接申出のない者へは再申請期間を設けた後、産業保健スタッフによる「こころの健康相談」を案内し傾聴の機会を設けている。また、ストレスチェック後は集団分析を実施しており、昨年度より集団分析の結果を理事長や各院院長など部門長以上の管理職へ報告している。今年度からはさらに範囲を広げ、各部署の所属長へ産業医とともに結果返却を行い現場の声を聞き取っている。今後は聞き取った現場の状況や要望を基に、職場環境の改善のために出来ることが無いのか検討していきたい。

腰痛予防対策では、2021 年 12 月より安全衛生委員会の下部組織としてノーリフティングケア推進 WG を設置し、院内業務における腰痛発生予防を目的に、通信を使用した広報活動や労災対応、技術指導など活動を行っている。2023 年度から画像診断部・臨床検査部の新人研修（トランスファー・ノーリフト研修）も継続中である。また、担当スタッフによる腰痛予防体操、足と靴の悩み個別相談も実施している。

職場巡視では、労災発生時の現場確認を 2017 年 4 月から開始している。

労働災害防止策では、労災発生時の調査・介入を随時行っている。今年度の発生件数・発生率は 20 件：1.1%（昨年度 18 件：1.0%）と横ばいで経過、職種内訳では母数の多さも影響してか看護部が約半数を占めている。事故の型は例年同様に動作の反動・無理な動作が 9 件（うち 6 件

が腰痛関連、原因は患者移乗等によるものが半数を占める）と最多であり、次いで転倒が4件であった。〈図 18-1～7、表 15-1～7〉 労災発生件数の低減に向けた取り組みとして、腰痛に関しては前述の腰痛対策を、転倒については環境面の見直しや安全衛生通信を使用した注意喚起を適宜行っている。さらに、昨年度より健康管理の視点から、職員自身が転倒リスクや筋肉量についての気付きを得て改善のための取り組みができるように、定期健康診断で健診対象者全員に握力測定、50 歳以上の職員には閉眼片足立ちも加えて実施し、測定結果に応じた注意喚起やアドバイスをを行っている。

ハラスメント対策では、他委員会で担当していた研修計画・実施を引継ぎ、近森会全職員（パート・休職者含む）に対して、**Safe-Master** を使用し、動画視聴による研修を実施した。積極的な視聴の呼びかけ、未受講者への声掛けを行うことで、多くの職員にハラスメントに関する知識を得てもらえるよう努めた。

最後に

健康管理センターを基点とし、健康の確保、維持・増進に対する職員の関心がさらに向上することにより、事業所における安全衛生水準を自律的に高めて、職員・家族の健康寿命の延伸、健康経営に寄与できるような活動を充実させていきたいと考える。

表1

メンバー	
管理部	寺田 文彦
医師（産業医）	北村 龍彦
医師（産業医）	中岡 洋子
医師	浅羽 宏一
看護部	中島 久美
画像診断部	谷脇 貴博
臨床栄養部	内山 里美
臨床検査部	水田 綾香
総務課	林 夕起
健康管理センター	村上 麻世
健康管理センター	山中 真理菜
健康管理センター	藤野 朋子

オブザーバー	
看護部	西村 剛
理学療法科	前田 秀博
薬剤部	丸岡 由貴
医事課	上甲 浩道
施設設備課	宮下 公将
健康管理センター	坂本 悠
健康管理センター	山中 胡桃
健康管理センター	楠瀬 美帆
看護部（リハ）	岡本 真由美
理学療法科（リハ）	高芝 潤
理学療法科（リハ）	岩佐 恵子
看護部（リハ）	植田 彩子
看護部（オルソ）	中谷 明未
理学療法科（オルソ）	塩田 直隆
理学療法科（オルソ）	小松 弘典
健康保健組合	小松 左和
ファミリーユ	西岡 由江

*2025年3月時点

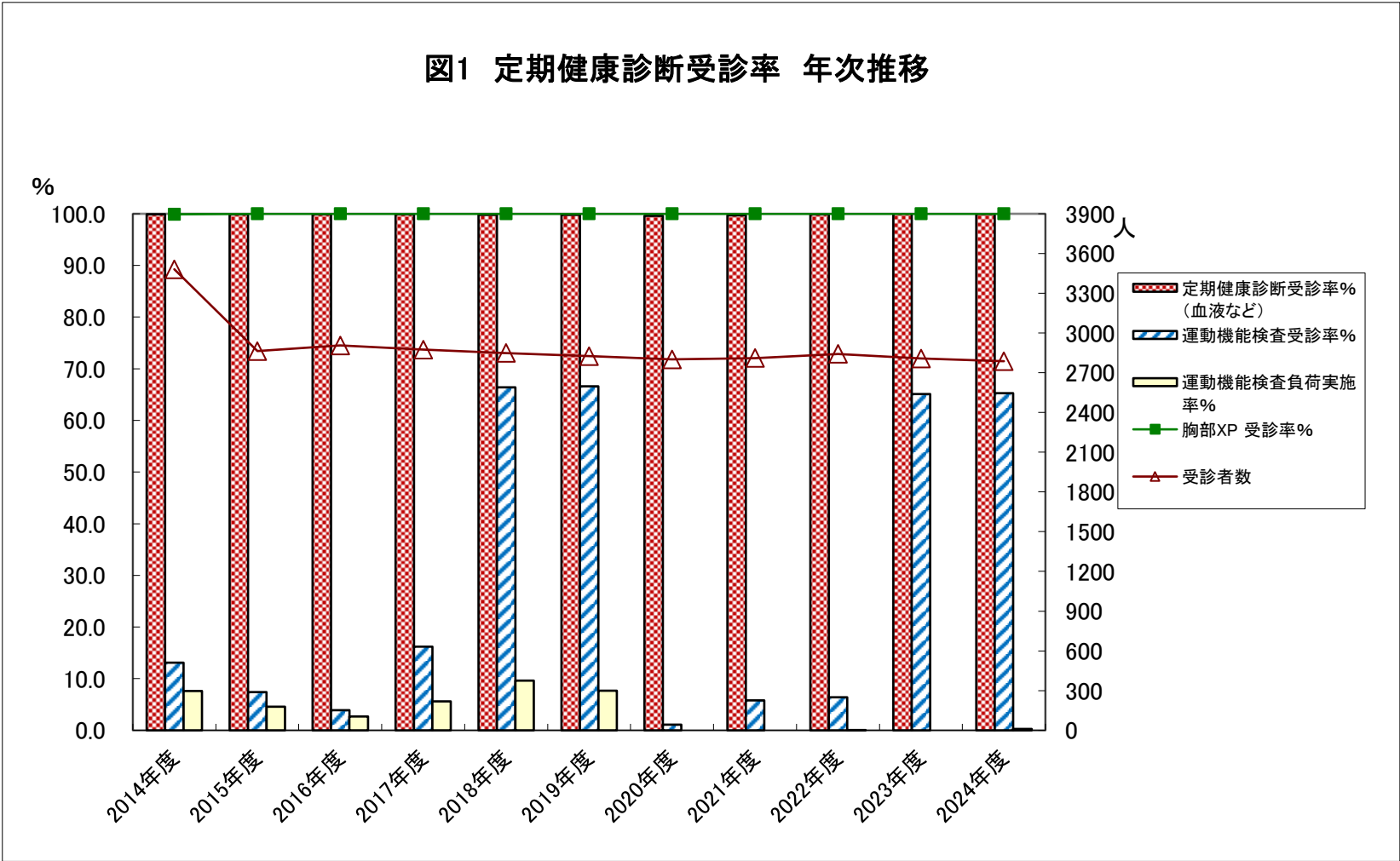
2024年度安全衛生委員会活動一覧
表 2

A	衛生管理活動	
1	定期健康診断（感染症検診含む）	職員；受診者数・受診率→延べ 2788名（99.96％） * 図1～5-4、表3・4-1～2 外部事業所；受診者数→延べ117名
2	雇入時健康診断（感染症・T-SPOT検査含む）	※メタボリックシンドローム調査 * 図6-1～6-3、表5-1～5-3
3	健診結果の有所見者対応	状況確認、産業医面談、保健指導など* 図7-1～6 表6-1～6
4	特定業務従事者健診（電離放射線、深夜勤、特定化学物質・有機溶剤）	上期→電離放射線（327名）深夜勤（782名）特定化学物質（7名）有機溶剤（6名） 下期→電離放射線（316名）深夜勤（734名）特定化学物質（7名）有機溶剤（5名） 眼の水晶体の被ばく線量低減対策を継続中 2021.12～ * 図8-1～3
5	健康測定（THP事業）	コロナ感染対策の為、一部のみ実施（握力測定・閉眼片足立ち）
6	給食業務従事者健診	毎月実施（赤痢、サルモネラ、O157・26・111） ・12月、1月はノロ検査を追加実施
7	B型肝炎ワクチン接種	* 図9-1～13 表7-1～12
8	麻疹・風疹・水痘・ムンプス抗体保有確認	* 図10-1～16 表8-1～16 2015年9月1日新入職員より入職日までに免疫獲得を行うよう運用変更 感染症情報の個人カード作成・配付 2019.8～
9	結核	T-SPOT.TB検査* 図11、表9
10	インフルエンザワクチン接種	* 図12-1～7、表10-1～5
11	新型コロナワクチン接種	2024年度より運用開始
12	子宮頸がんワクチン接種	* 図13、表11
13	安全衛生委員会（健康増進委員会）	12回/年（毎月第4木曜日）
B	健康づくり活動・産業保健活動	
1	運動会	中止
2	球技大会	・ソフトボール大会（1回/年：有志主催にて開催） ・ソフトバレーボール大会（1回/年：有志主催にて開催）
3	運動	階段昇降推進（全職員へ向けて階段利用推進ポスターをサイボウズへ掲示）
4	口腔衛生活動	歯の衛生週間に合わせてサイボウズにてポスター掲示（6月・11月）
5	過重労働対策	時間外労働時間調査中、長時間労働者への面談勧奨継続 2019.4～ *図14
6	喫煙対策	・職員の就業中禁煙（休憩時間含む）実施 2017.7～ ・喫煙率調査 * 図15-1～6、表12-1～6 ・広報活動、指導・相談への対応強化 禁煙通信発行（隔月）、禁煙補助剤購入費補助 2023.4.1～
7	女性の健康管理（産前産後カラダケア）	動画教材(YouTube動画)を使用した情報提供 2023.9～、産前産後カラダケアの実施 2024.4～ 骨盤底筋体操（対面講座）2024.11～
8	メンタルヘルス対策	広報活動の強化、相談への対応、復職支援制度実施要綱作成・運用開始 2021.10～
9	こころの健康相談（疾病含む）	随時 * 図16、表13
10	ストレスチェック	・1回/年 2016.11～（2024年度より6月実施へ変更） ・高ストレス該当者への対応（医師面接申出勧奨） * 図17-1～5、表14-1～5 ・部門長以上の管理職への集団分析の結果返却 2023.2～ ・部署への集団分析結果返却 2024.11～
11	腰痛予防対策	・担当PTによる腰痛指導やフットケア ・ノーリフティングケア推進WG設置 2021.12～ 各施設の取組を紹介（通信にて）、腰痛ラウンドや労災対応実施
12	職場巡視	労災での現場確認
13	労働災害防止対策	労災発生の報告に対して調査・介入（随時） 2017.4～ * 図18-1～18-7、表15-1～15-7
14	ハラスメント対策	ハラスメント研修（動画）実施 2024.12～
15	保健指導（特定保健指導含む）	対象者への指導勧奨継続、健保組合との連携強化、特保システム導入2021.10～
16	広報活動	安全衛生通信発行（毎月）、各種イベント・勉強会案内（随時）
C	その他	
1	エイズキャンペーン	ポスター掲示など啓蒙活動実施
2	全国安全週間	7月1日～7月7日 （6月1日～6月30日は準備期間）
3	全国労働衛生週間	10月1日～10月7日 （9月1日～9月30日は準備期間）
4	年末年始無災害運動	12月1日～1月15日

表3 定期健康診断受診率の年次推移(オルソ・ファミーユ高知含む)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
定期健康診断対象者数	3485	2867	2907	2877	2856	2832	2810	2820	2843	2807	2788
受診者数	3481	2864	2906	2874	2849	2825	2800	2811	2842	2807	2787
定期健康診断受診率%(血液など)	99.9	99.9	99.9	99.9	99.8	99.8	99.6	99.7	99.9	100	99.96
運動機能検査受診率%	13.1	7.4	3.9	16.2	66.4	66.6	1.1	5.8	6.4	65.1	65.3
運動機能検査負荷実施率%	7.6	4.6	2.7	5.6	9.6	7.7	0	0	0.04	0	0.25
胸部XP 対象者数	1766	1906	1943	1929	1898	1879	1854	1853	1869	1862	1884
胸部XP 受診者数	1765	1906	1943	1929	1898	1879	1854	1853	1869	1862	1884
胸部XP 受診率%	99.9	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

図1 定期健康診断受診率 年次推移



※2015年度より健診運用見直し→上期:全職員、下期:特定業務従事者のみとした。
健康診断受診率は100%となった。2023年度は運動機能検査推進(握力:全職員、閉眼片足立ち:50代以上の職員)とした。

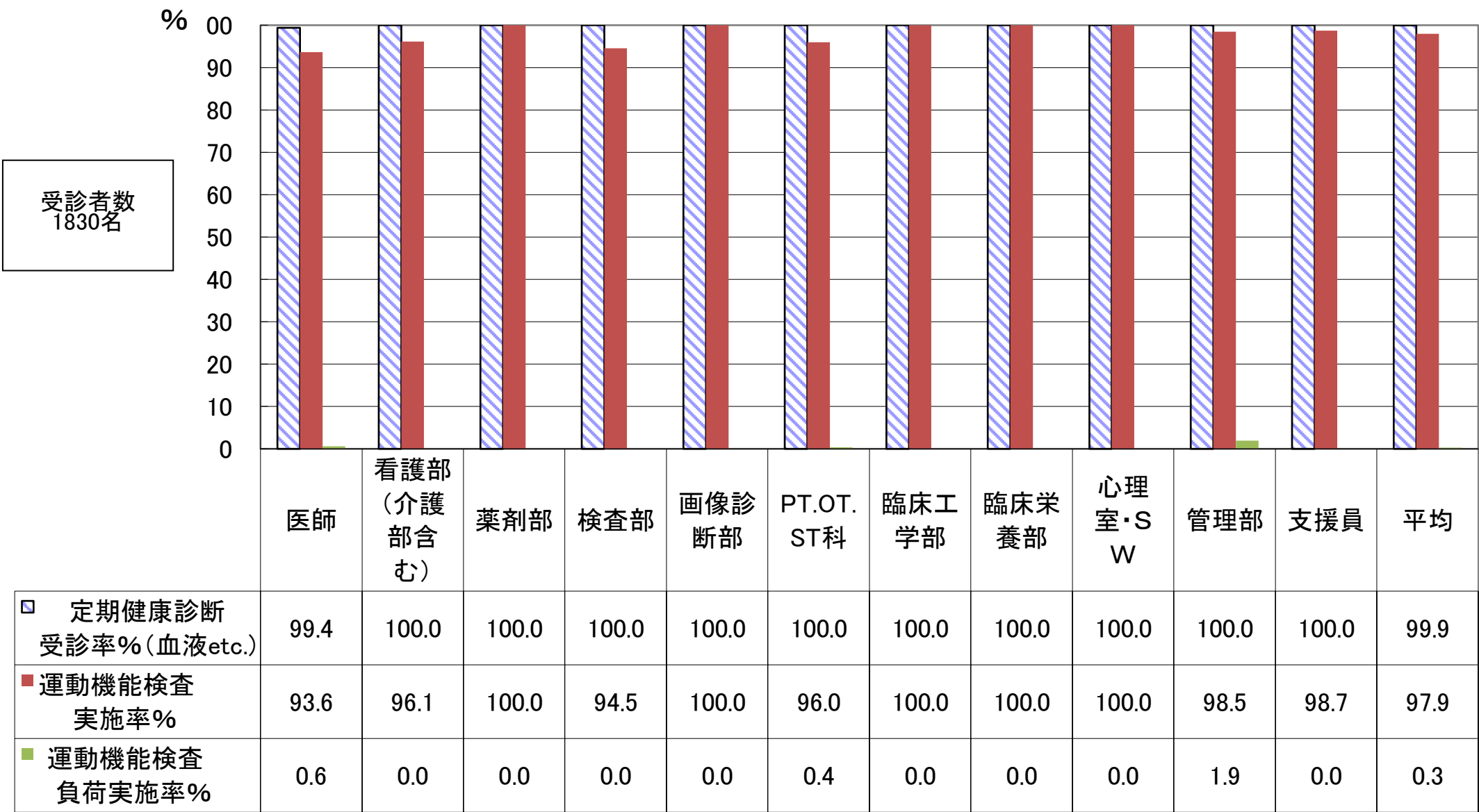
表4－1
定期健康診断所属別実施率(2024年上期)

所属	対象者数	受診者数	運動機能検査	
			実施者	負荷あり
医師	172	171	161	1
看護部(介護部含む)	796	796	765	0
薬剤部	47	47	47	0
検査部	55	55	52	0
画像診断部	41	41	41	0
PT.OT.ST科	273	273	262	1
臨床工学部	43	43	43	0
臨床栄養部	34	34	34	0
心理室・SW	33	33	33	0
管理部	259	259	255	5
支援員	78	78	77	0
合計	1831	1830	1770	7

表4－2

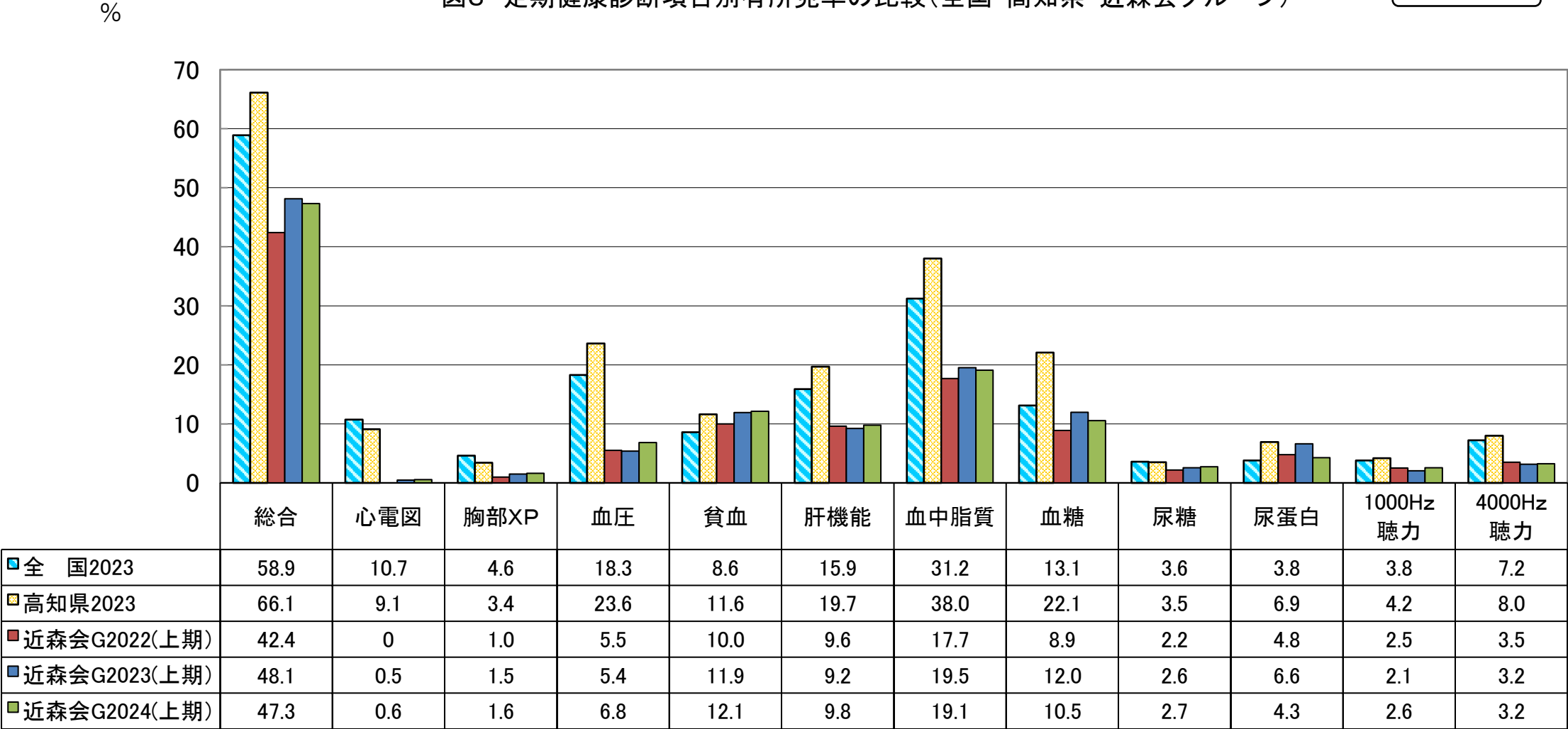
所属	定期健康診断 受診率%(血液etc.)	運動機能検査	
		運動機能検査 実施率%	運動機能検査 負荷実施率%
医師	99.4	93.6	0.6
看護部(介護部含む)	100.0	96.1	0.0
薬剤部	100.0	100.0	0.0
検査部	100.0	94.5	0.0
画像診断部	100.0	100.0	0.0
PT.OT.ST科	100.0	96.0	0.4
臨床工学部	100.0	100.0	0.0
臨床栄養部	100.0	100.0	0.0
心理室・SW	100.0	100.0	0.0
管理部	100.0	98.5	1.9
支援員	100.0	98.7	0.0
平均	99.9	97.9	0.3

図2 近森会グループ 定期健康診断所属別実施率（2024年上期）



定期健康診断受診率: 1名完了前に退職のため受診率99.4%と下がった
運動機能検査実施率: 握力検査は全職員対象、閉眼片足立ちは50代以上の職員対象に実施(その他は休止)
運動負荷検査実施率: 運動負荷検査については希望者のみ。

図3 定期健康診断項目別有所見率の比較(全国・高知県・近森会グループ)



●総合での有所見率: 全国・高知県の有所見率が増加傾向にあるのに比べ、近森会グループの有所見率は前年度より改善している。
(高知県62.6→66.1、全国58.3→58.9、近森会G48.1→47.3)

●項目別での有所見率

全国と比較して低い項目→血圧・肝機能・血中脂質・血糖など

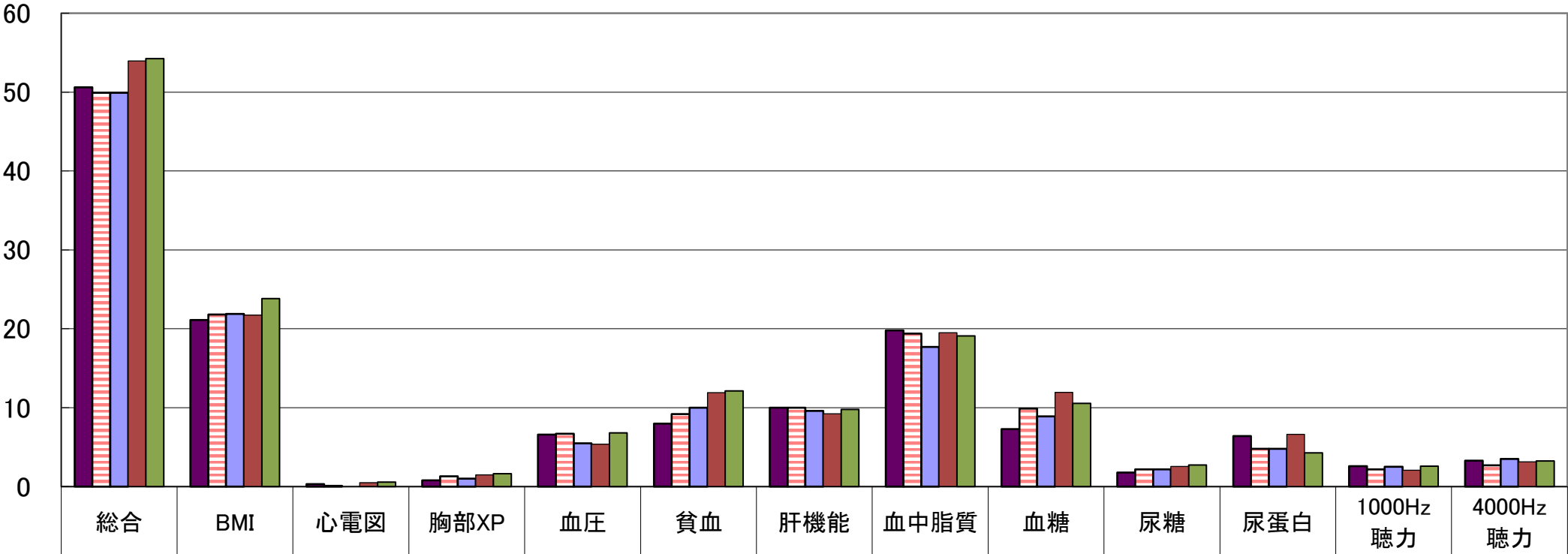
全国と比較して高い項目→貧血

※考えられる理由・・・近森会グループは、女性が多く、職員の半数が39歳以下である。

図4 定期健康診断 項目別有所見率の年次推移(近森会グループ)

近森会G オリジナル

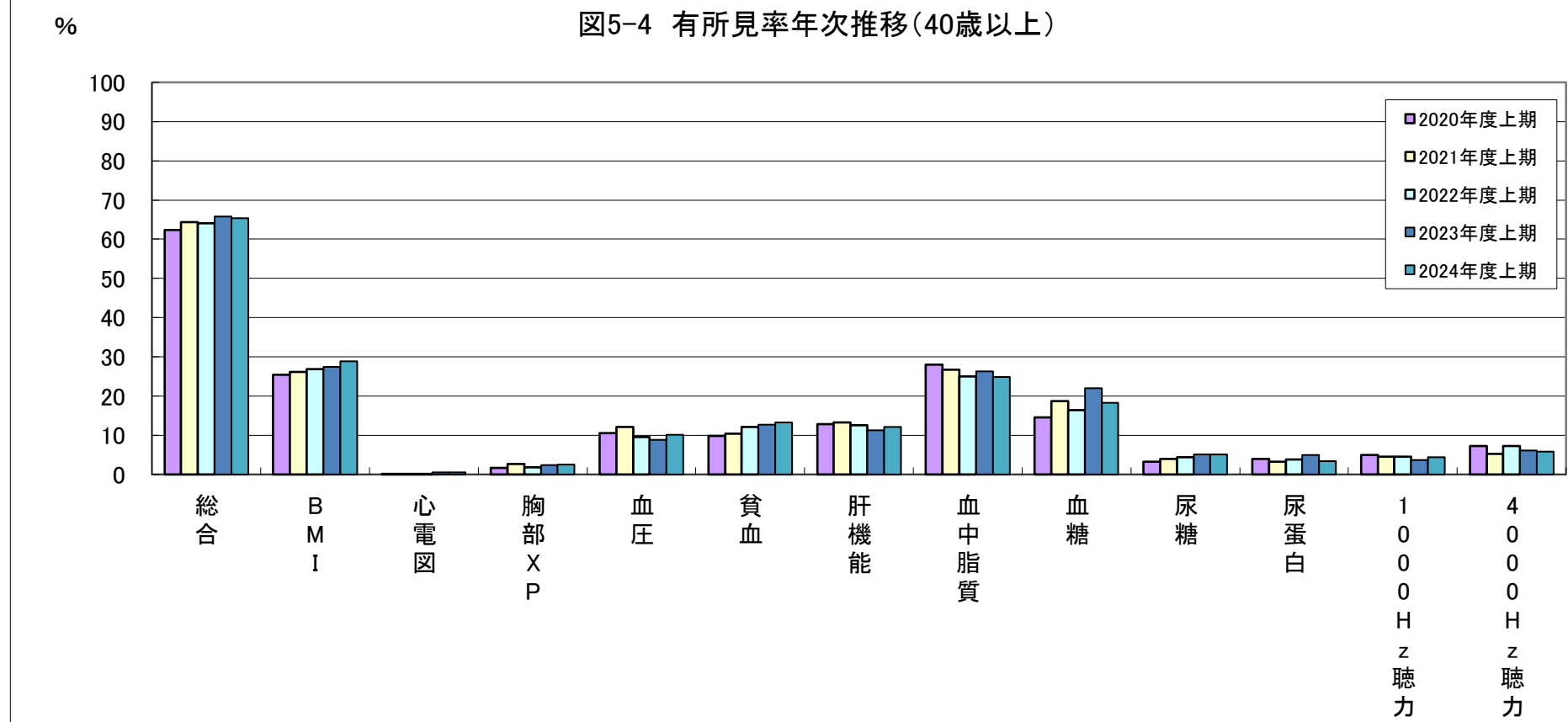
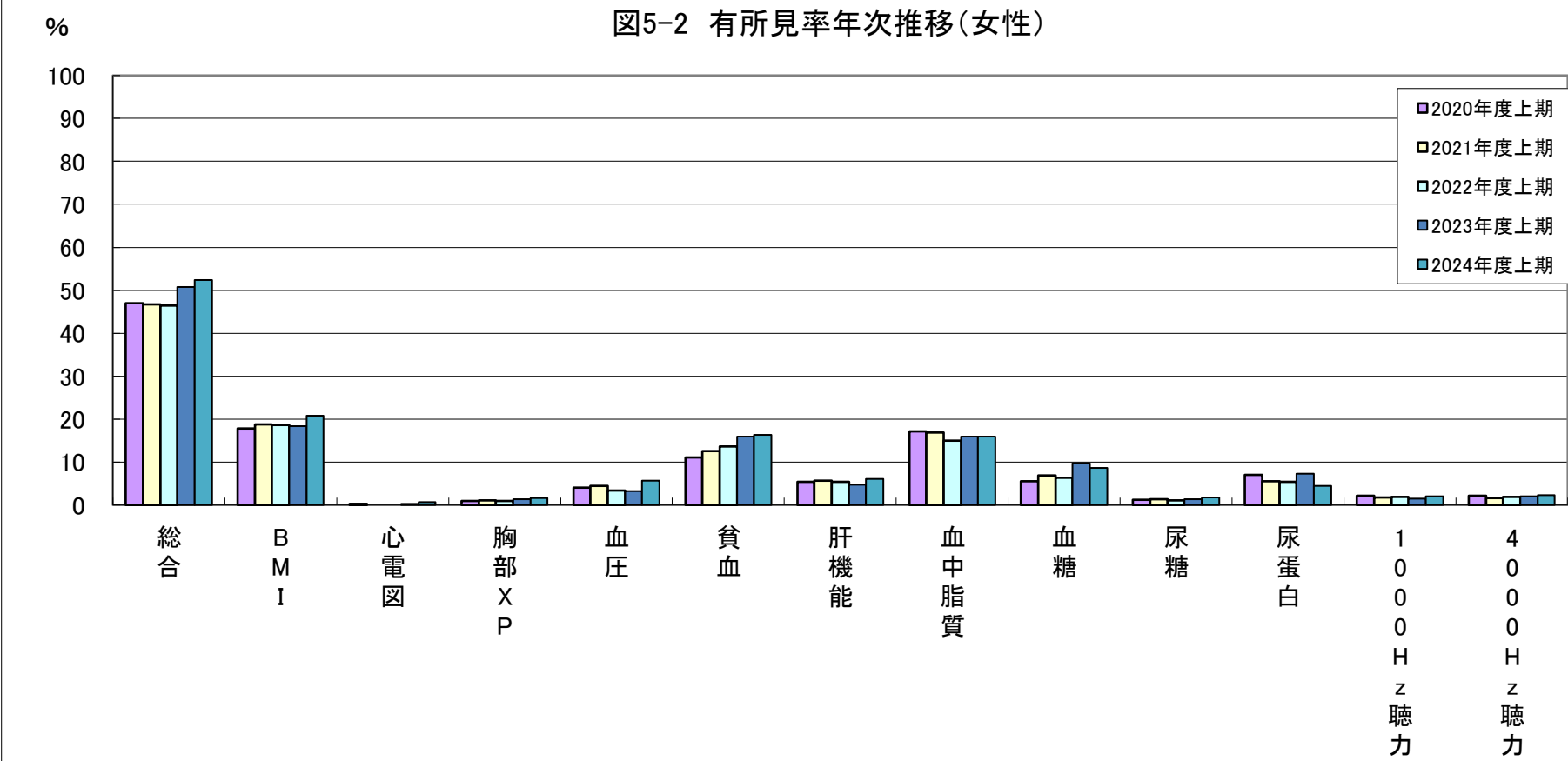
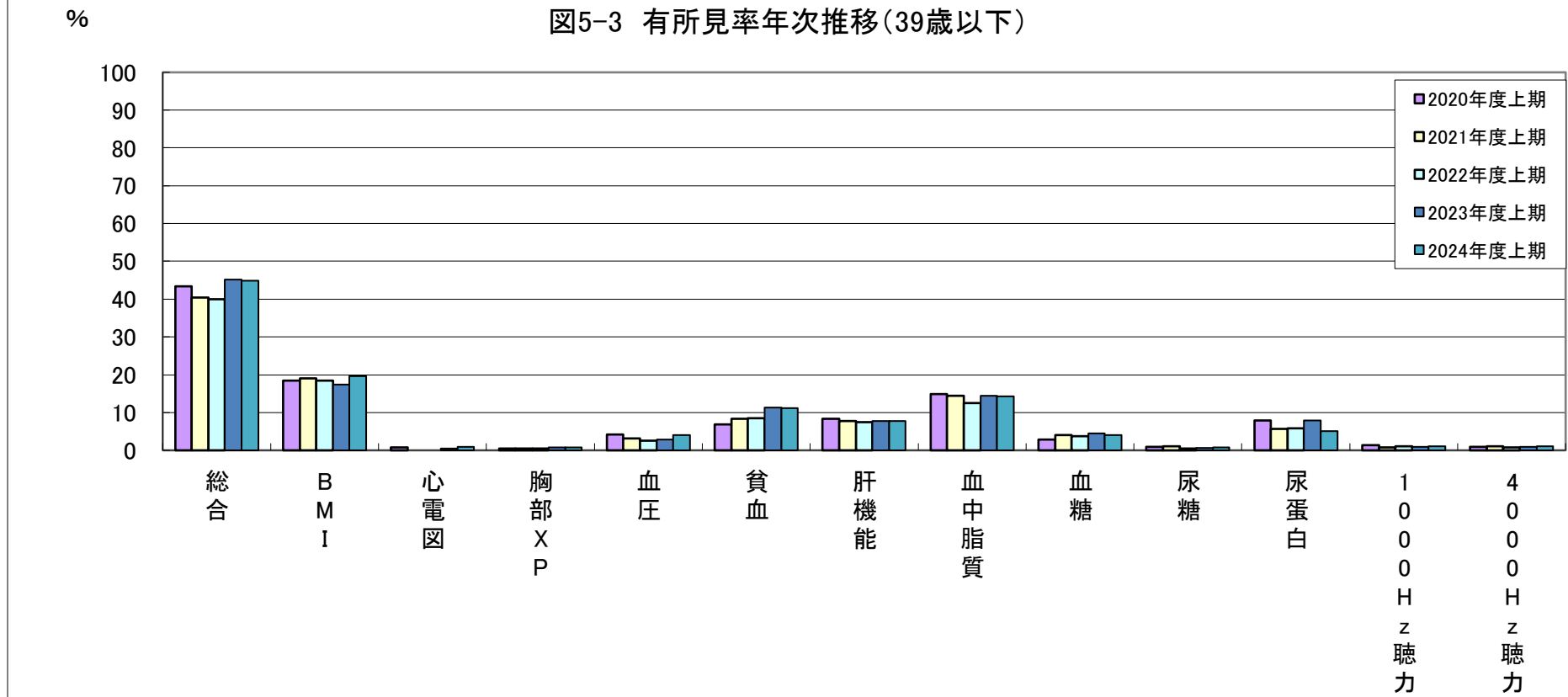
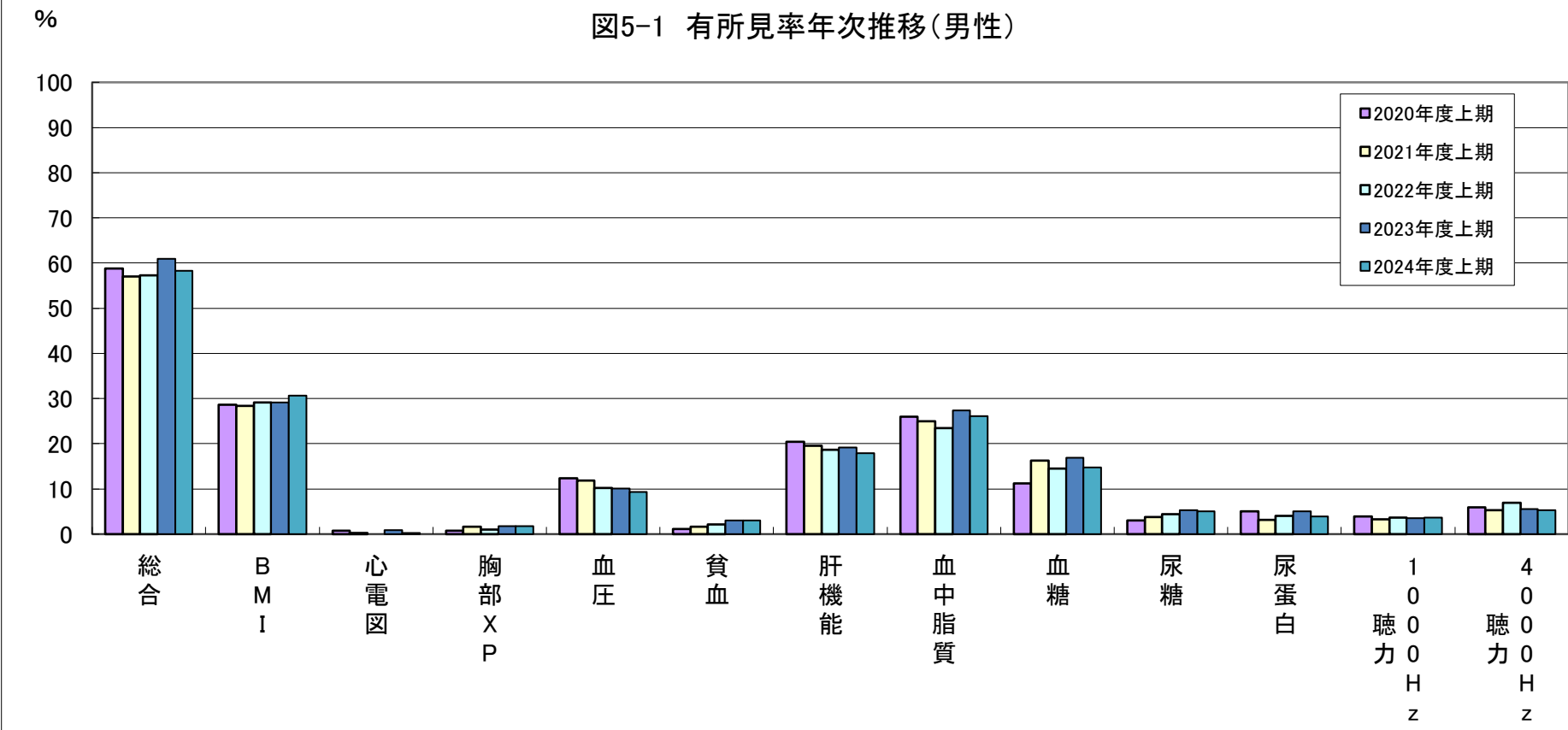
%



	総合	BMI	心電図	胸部XP	血圧	貧血	肝機能	血中脂質	血糖	尿糖	尿蛋白	1000Hz 聴力	4000Hz 聴力
■2020年度(上期)	50.6	21.1	0.3	0.8	6.6	8.0	10.0	19.8	7.3	1.8	6.4	2.6	3.3
▨2021年度(上期)	49.9	21.8	0.1	1.3	6.7	9.2	10.0	19.4	9.9	2.2	4.8	2.2	2.7
■2022年度(上期)	49.9	21.9	0	1.0	5.5	10.0	9.6	17.7	8.9	2.2	4.8	2.5	3.5
■2023年度(上期)	53.9	21.7	0.5	1.5	5.4	11.9	9.2	19.5	12.0	2.6	6.6	2.1	3.2
■2024年度(上期)	54.3	23.8	0.6	1.6	6.8	12.1	9.8	19.1	10.5	2.7	4.3	2.6	3.2

- 総合での有所見率:わずかに増加傾向。
- 項目別での有所見率:例年同様にBMI、血中脂質、貧血、肝機能、血糖の有所見率が高い傾向にある。
- 経年での傾向
 - ・BMI、血圧、貧血、肝機能は増加傾向、
 - ・血中脂質、血糖は改善傾向。

定期健康診断「性別・年代別比較」



●総合での有所見率や各項目の傾向は、全体的に例年同様。

●各集団での傾向

- ・男性: 有所見率は高いが、前年度と比較し改善している(60.9→58.3)。例年同様、BMI、血圧、肝機能、血中脂質、血糖が課題。
- ・女性: 有所見率が増加傾向(50.8→52.4。特に、BMI・血圧・貧血・肝機能)。例年同様、BMI、貧血、血中脂質が課題。
- ・39歳以下: 例年同様。BMI、血中脂質に注意が必要。
- ・40歳以上: 有所見率は高値横ばい(65.7→65.4)。例年同様、BMI、血中脂質、血糖が課題(血中脂質、血糖はやや改善傾向)。

●必要な対策事項

- ①女性の貧血対策 ②40歳以上(特に男性)を中心にした生活習慣の改善 ③早期(39歳以下)からの生活習慣病予防

「メタボリックシンドローム年次推移(40代以上)」

メタボリックシンドローム「予備軍」「有病者」の定義

※必須項目を満たし、選択項目を1つ満たしているものを「予備軍」、2～3つ満たしているものを「有病者」とする。

ウエスト周囲径 男性≧85cm
女性≧90cm

+

収縮期血圧≧130mg/dl
かつ、または
拡張期血圧≧85mg/dl

高トリグリセライド血症≧150mg/dl
かつ、または
低HDLコレステロール血症<40mg/dl

空腹時血糖値≧110mg/dl

図6-1 メタボリックシンドローム該当者の年次推移(40代以上)

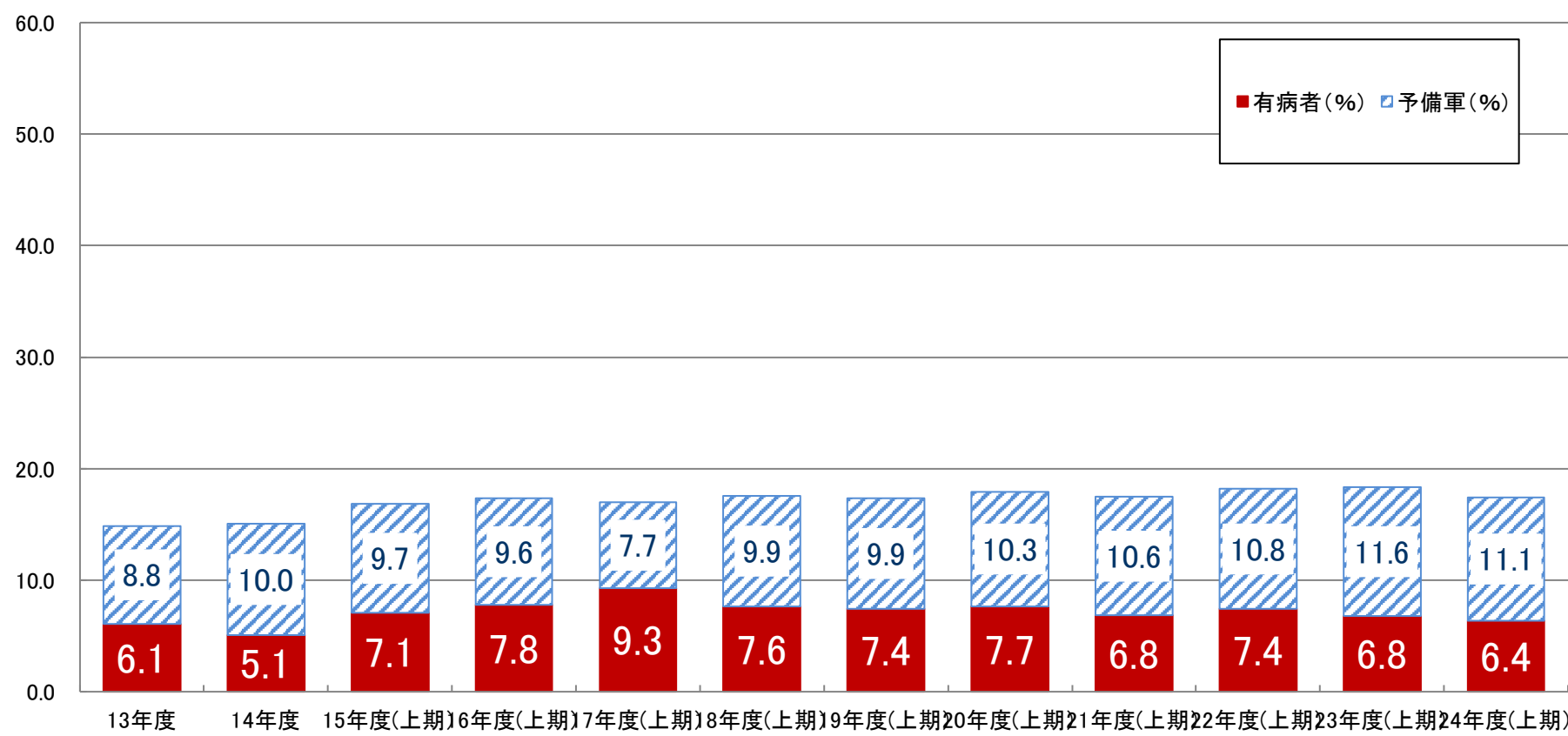


表5-1

40代以上	13年度	14年度	15年度(上期)	16年度(上期)	17年度(上期)	18年度(上期)	19年度(上期)	20年度(上期)	21年度(上期)	22年度(上期)	23年度(上期)	24年度(上期)
有病者	57	47	46	52	64	53	53	59	54	60	56	53
予備軍	82	92	63	64	53	69	71	79	84	87	96	92
非該当者+腹囲正常者	796	785	539	553	572	572	590	632	652	662	676	687
計	935	924	648	669	689	694	714	770	790	809	828	832

図6-2 メタボリックシンドローム該当者の年次推移(40代以上:女性)

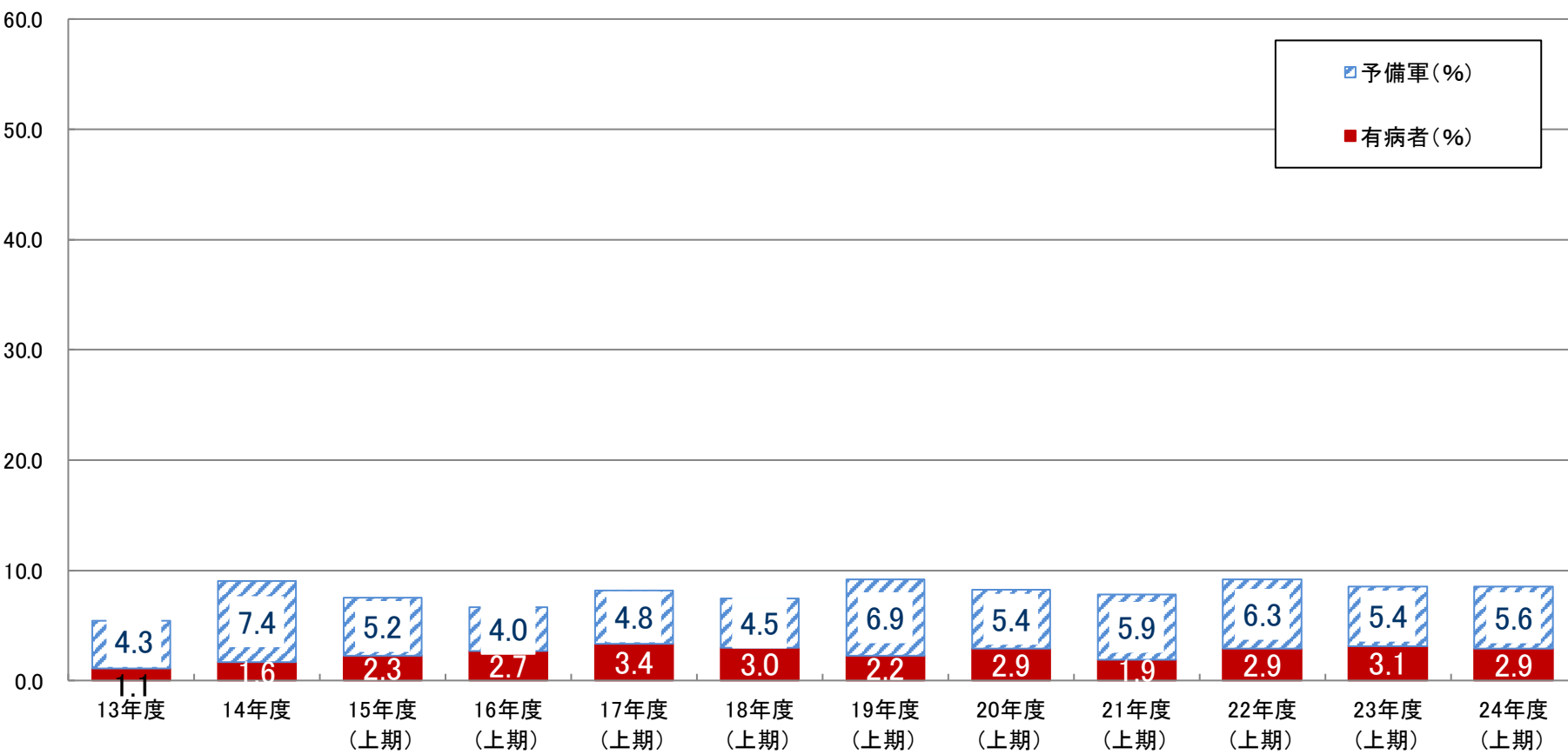


表5-2

40代以上女性	13年度	14年度	15年度(上期)	16年度(上期)	17年度(上期)	18年度(上期)	19年度(上期)	20年度(上期)	21年度(上期)	22年度(上期)	23年度(上期)	24年度(上期)
有病者	7	12	10	12	16	14	11	15	10	16	18	17
予備軍	27	54	23	18	23	21	34	28	32	35	31	33
非該当者+腹囲正常者	593	665	406	422	437	435	447	479	497	507	525	539
計	627	731	439	452	476	470	492	522	539	558	574	589

図6-3 メタボリックシンドローム該当者の年次推移(40代以上:男性)

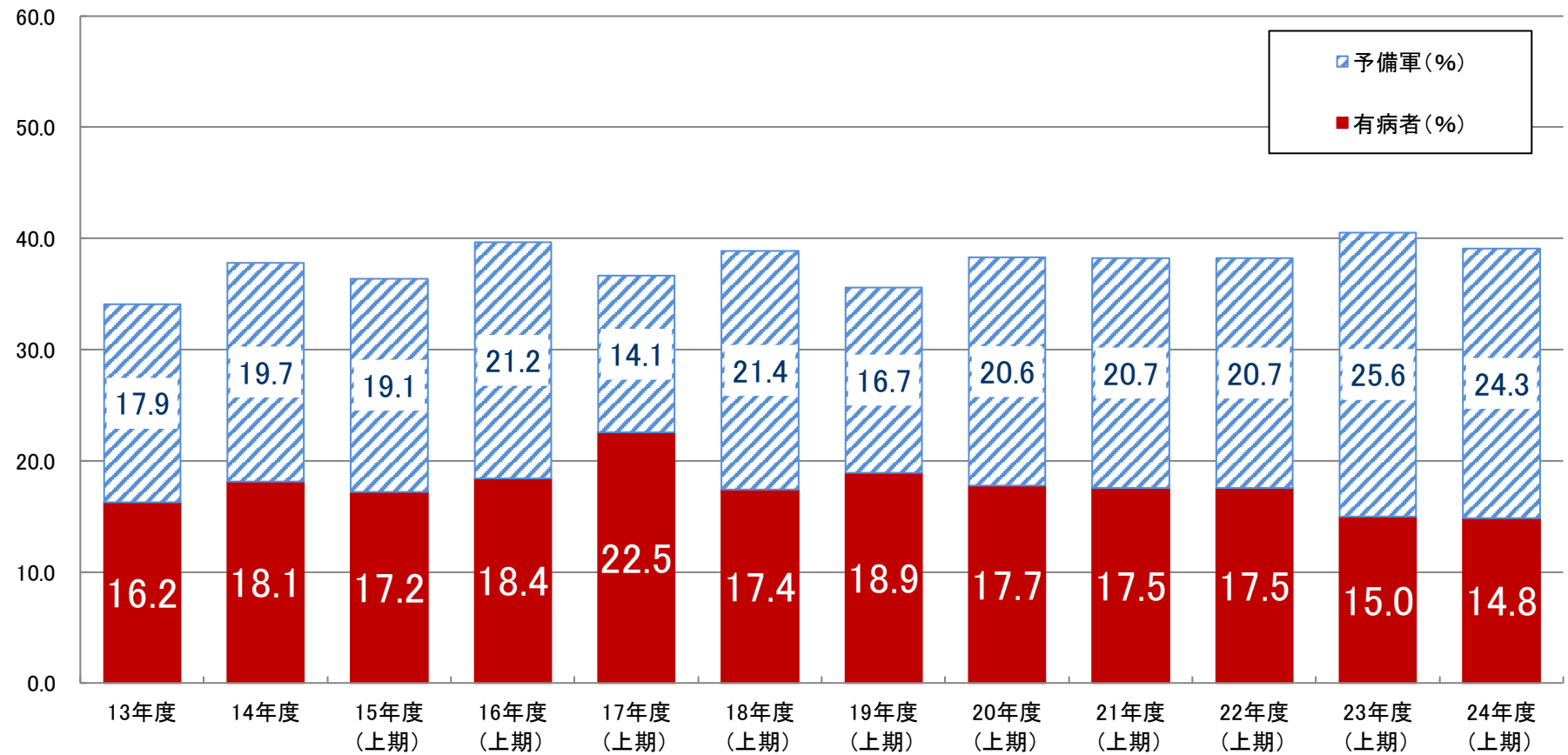


表5-3

40代以上男性	13年度	14年度	15年度(上期)	16年度(上期)	17年度(上期)	18年度(上期)	19年度(上期)	20年度(上期)	21年度(上期)	22年度(上期)	23年度(上期)	24年度(上期)
有病者	50	35	36	40	48	39	42	44	44	44	38	36
予備軍	55	38	40	46	30	48	37	51	52	52	65	59
非該当者+腹囲正常者	203	120	133	131	135	137	143	153	155	155	151	148
計	308	193	209	217	213	224	222	248	251	251	254	243

- ・全体的に例年同様、横ばいの傾向。
- ・有病者および予備軍に該当する者は、男性に多い傾向。

【必要な対応策】

ハイレスクアプローチ(保健指導)の継続による予備群および有病者の減少
ポピュレーションアプローチ(40歳未満からの早期介入含む)による腹囲正常者の増加

■産業医面談・保健指導実施件数■

図7-1 年間対応件数(項目別・のべ)

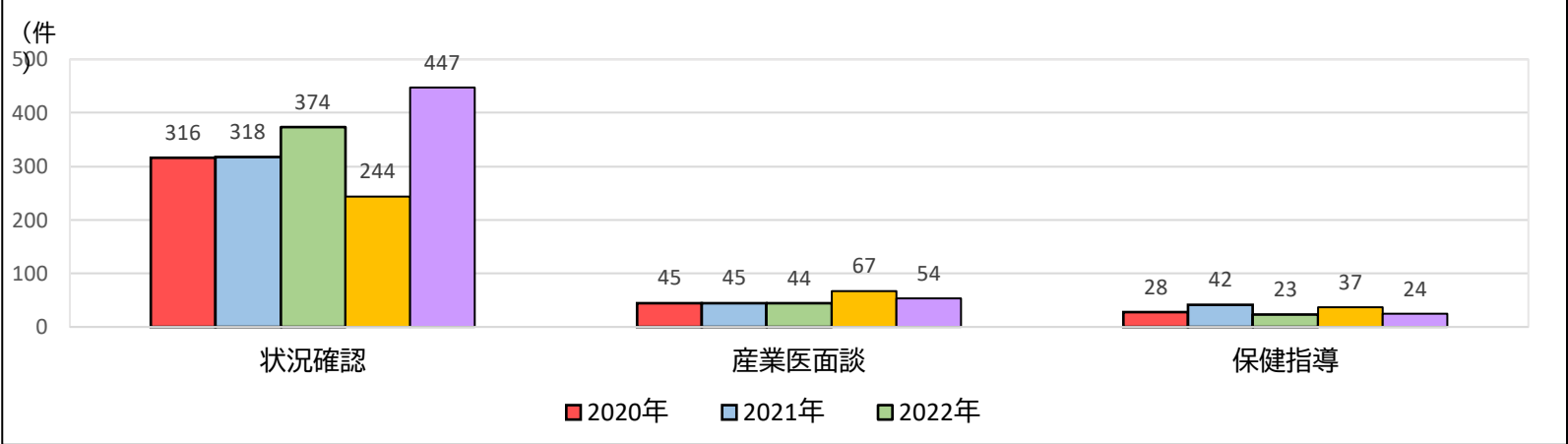


図7-2 保健指導項目の内訳(のべ)

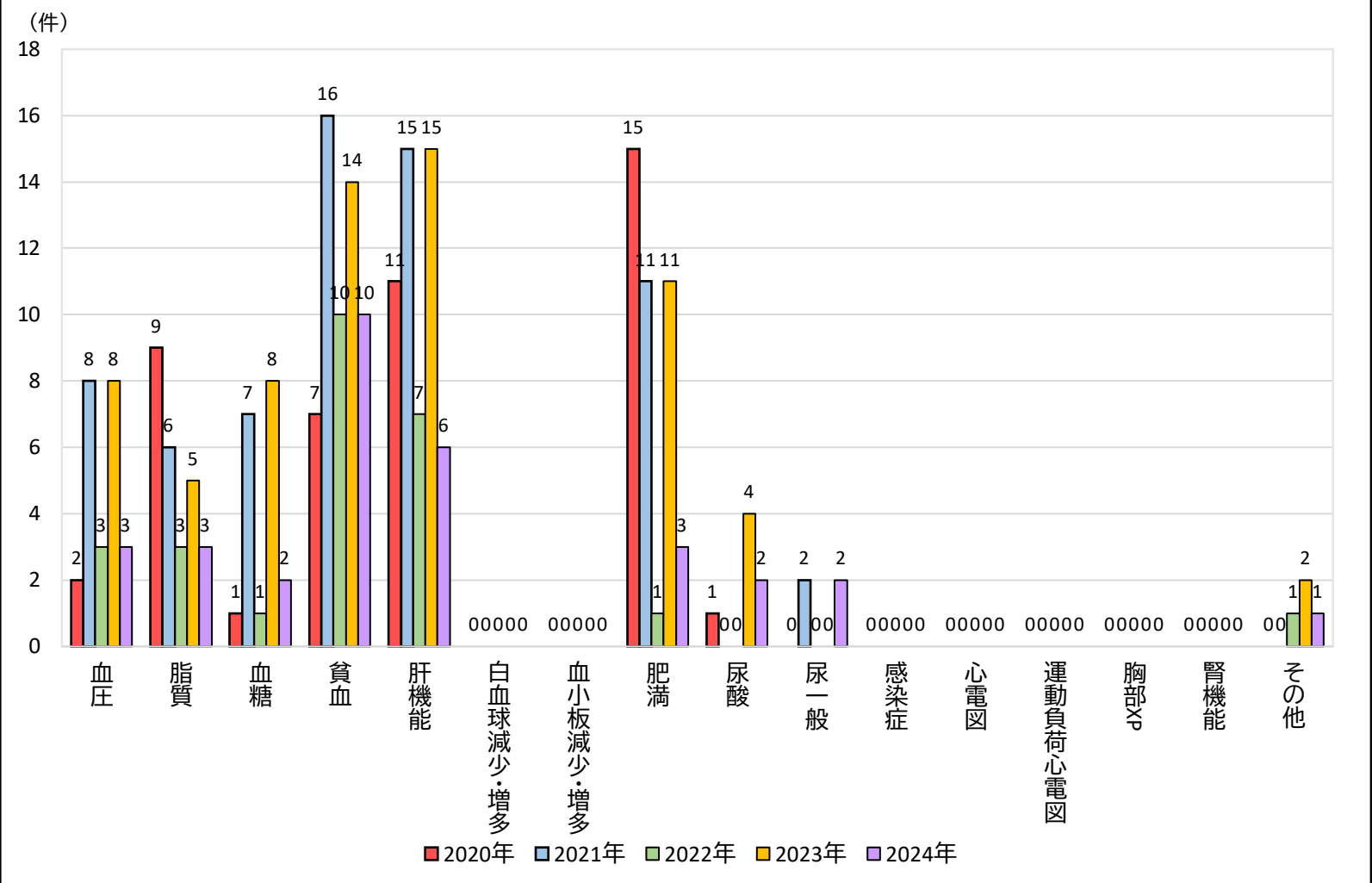


図7-3 面談項目の内訳(のべ)

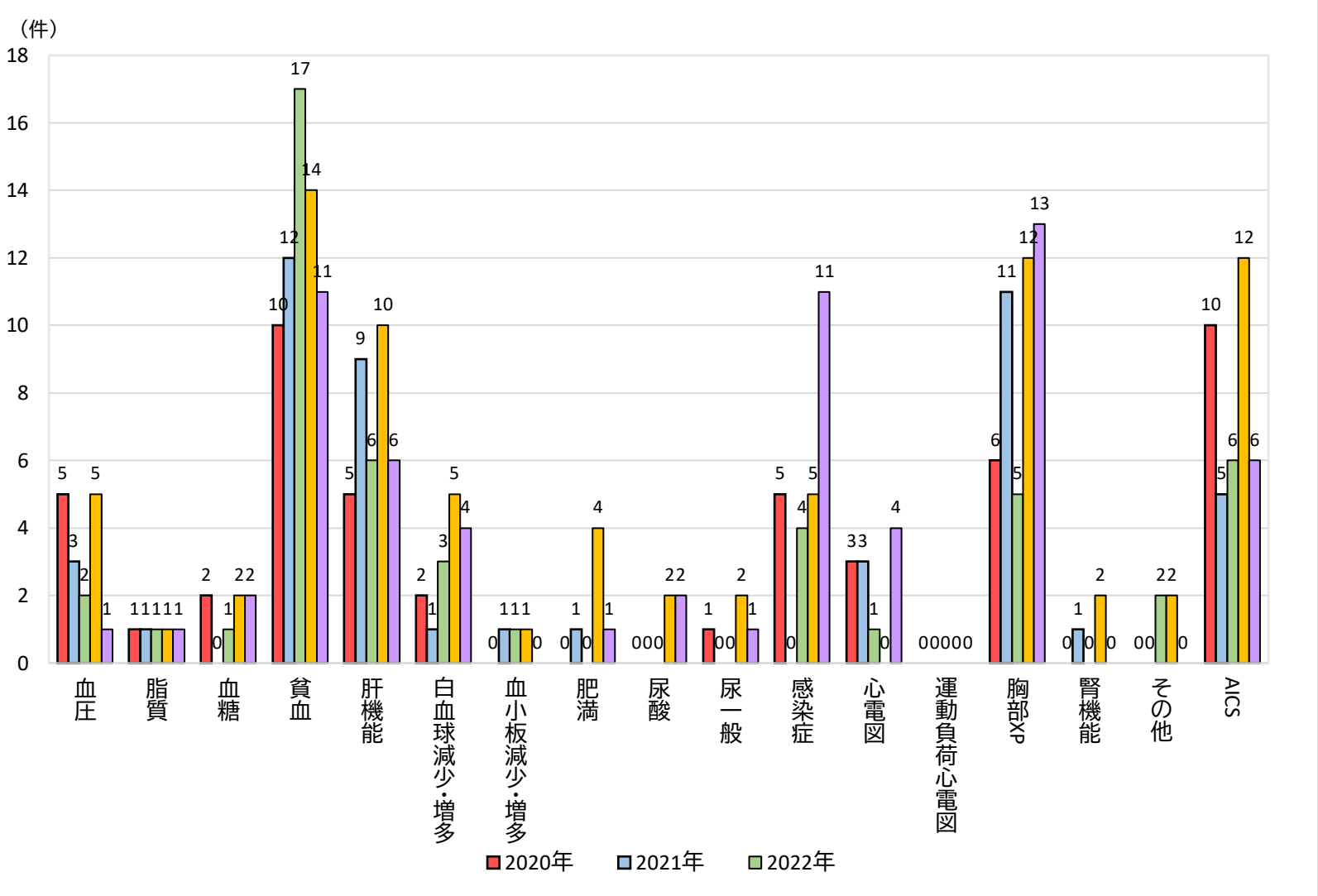


図7-4 専門医への紹介件数

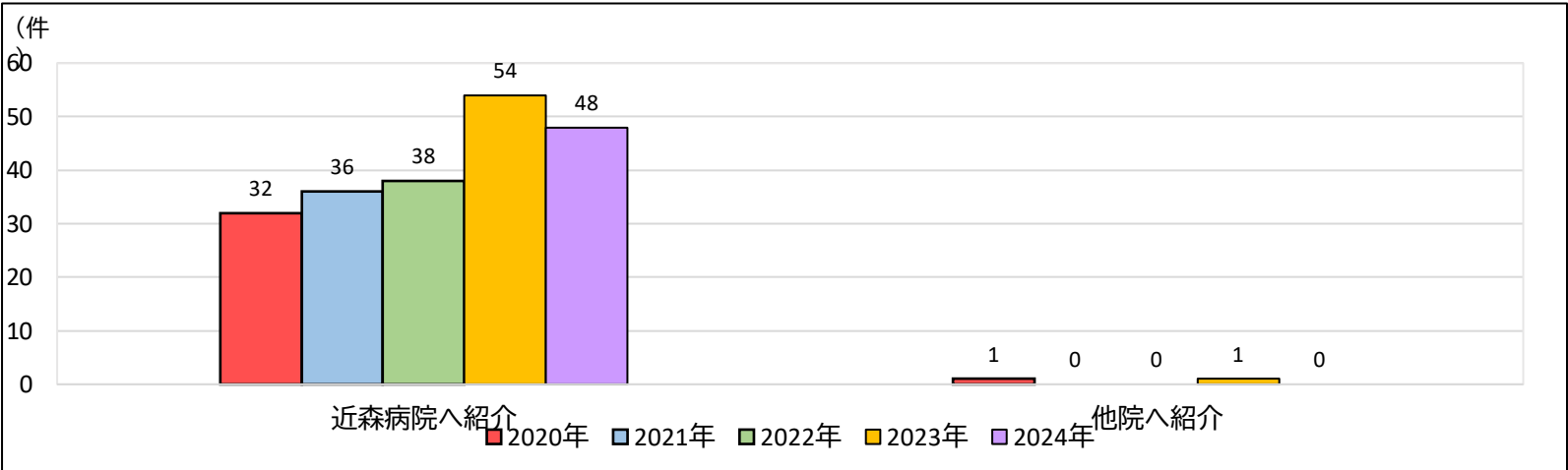


図7-5 専門医紹介となった面談項目の内訳(のべ)

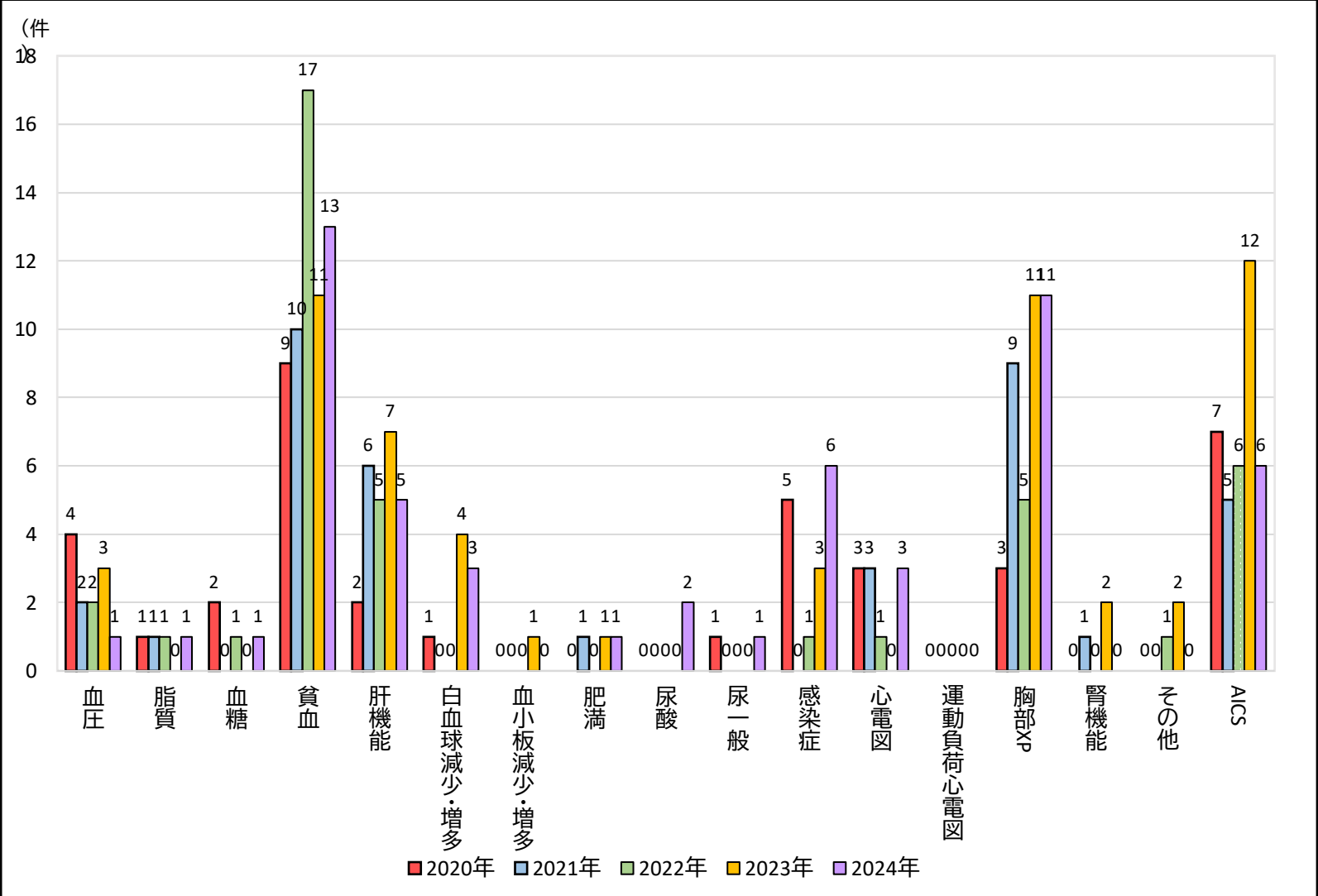


図7-6 特定保健指導の実施件数

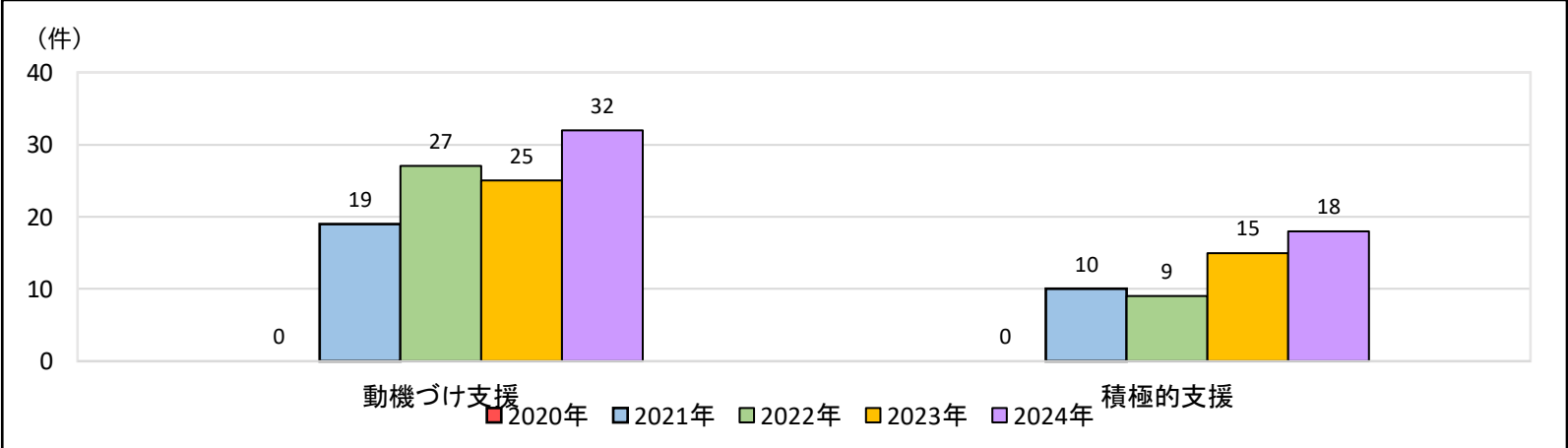


表6-1 年間対応件数 年次推移

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
状況確認	316	318	374	244	447
産業医面談	45	45	44	67	54
保健指導	28	42	23	37	24

【コメント】

状況確認の件数は増加傾向も、産業医面談、保健指導の件数はやや減少している。

表6-2 保健指導項目の内訳

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
血圧	2	8	3	8	3
脂質	9	6	3	5	3
血糖	1	7	1	8	2
貧血	7	16	10	14	10
肝機能	11	15	7	15	6
白血球減少・増多	0	0	0	0	0
血小板減少・増多	0	0	0	0	0
肥満	15	11	1	11	3
尿酸	1	0	0	4	2
尿一般	0	2	0	0	2
感染症	0	0	0	0	0
心電図	0	0	0	0	0
運動負荷心電図	0	0	0	0	0
胸部XP	0	0	0	0	0
腎機能	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	2	1
計	46	65	26	67	32

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

【コメント】

件数の多い項目は貧血(10件)、肝機能(6件)

生活習慣改善が重要な項目であり啓発活動や繰り返しの指導が必要。

表6-3 面談項目の内訳

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
血圧	5	3	2	5	1
脂質	1	1	1	1	1
血糖	2	0	1	2	2
貧血	10	12	17	14	11
肝機能	5	9	6	10	6
白血球減少・増多	2	1	3	5	4
血小板減少・増多	0	1	1	1	0
肥満	0	1	0	4	1
尿酸	0	0	0	2	2
尿一般	1	0	0	2	1
感染症	5	0	4	5	11
心電図	3	3	1	0	4
運動負荷心電図	0	0	0	0	0
胸部XP	6	11	5	12	13
腎機能	0	1	0	2	0
その他	0	0	2	2	0
AICS	10	5	6	12	6
計	50	48	49	79	63

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

【コメント】

件数の多い項目はXP異常(13件)、貧血(11件)、感染症(11件)

表6-4 専門医への紹介件数 年次推移

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
近森病院へ紹介	32	36	38	54	48
他院へ紹介	1	0	0	1	0
計	33	36	38	55	48

【コメント】

専門医紹介となる件数は減少傾向。

表6-5 専門医へ紹介となった面談項目の内訳

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
血圧	4	2	2	3	1
脂質	1	1	1	0	1
血糖	2	0	1	0	1
貧血	9	10	17	11	13
肝機能	2	6	5	7	5
白血球減少・増多	1	0	0	4	3
血小板減少・増多	0	0	0	1	0
肥満	0	1	0	1	1
尿酸	0	0	0	0	2
尿一般	1	0	0	0	1
感染症	5	0	1	3	6
心電図	3	3	1	0	3
運動負荷心電図	0	0	0	0	0
胸部XP	3	9	5	11	11
腎機能	0	1	0	2	0
その他	0	0	1	2	0
AICS	7	5	6	12	6
計	38	38	40	57	54

※対象項目を全て抽出しているため1件につき複数カウントあり

【コメント】

項目で多いのは貧血(13件)、胸部XP異常(11件)、AICS(6件)、感染症(6件)。

産業医面談にて経過観察、もしくは保健指導後セルフコントロールとなったものを除いて、面談項目と同様の傾向がみられる。

表6-6 特定保健指導実施件数

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
動機づけ支援	0	19	27	25	32
積極的支援	0	10	9	15	18
計	0	29	36	40	50

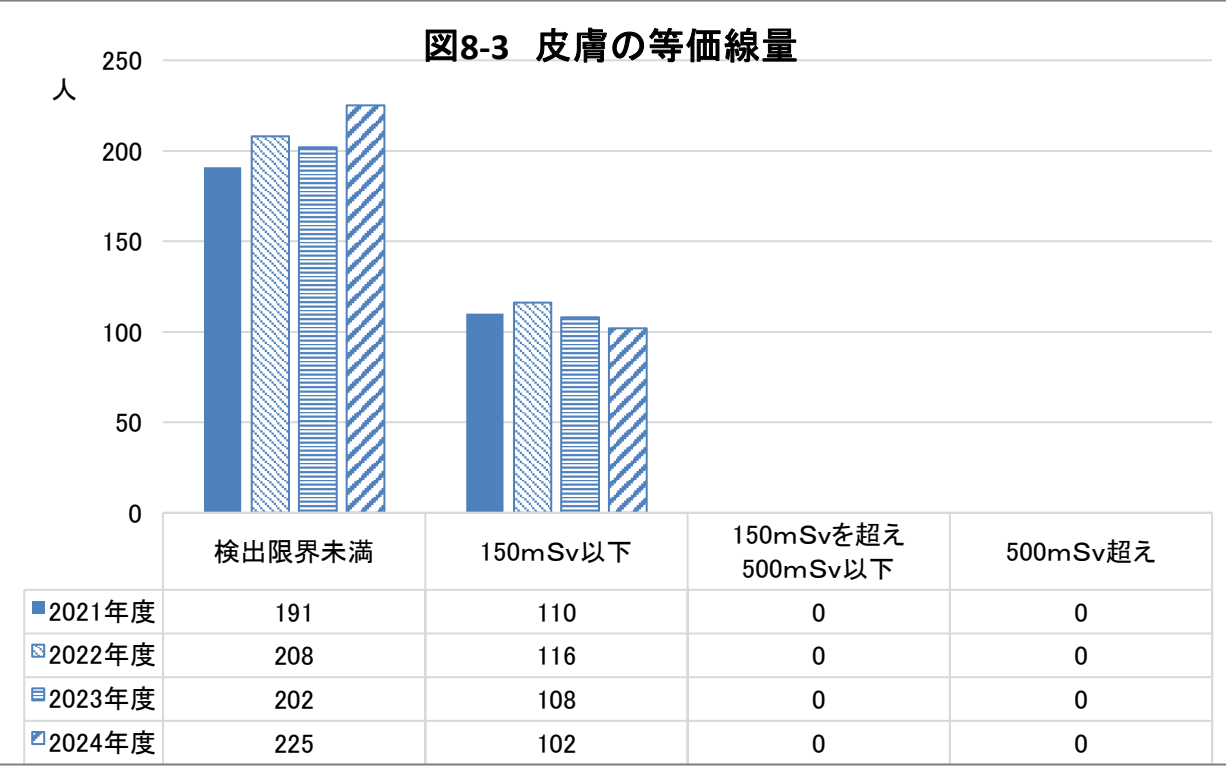
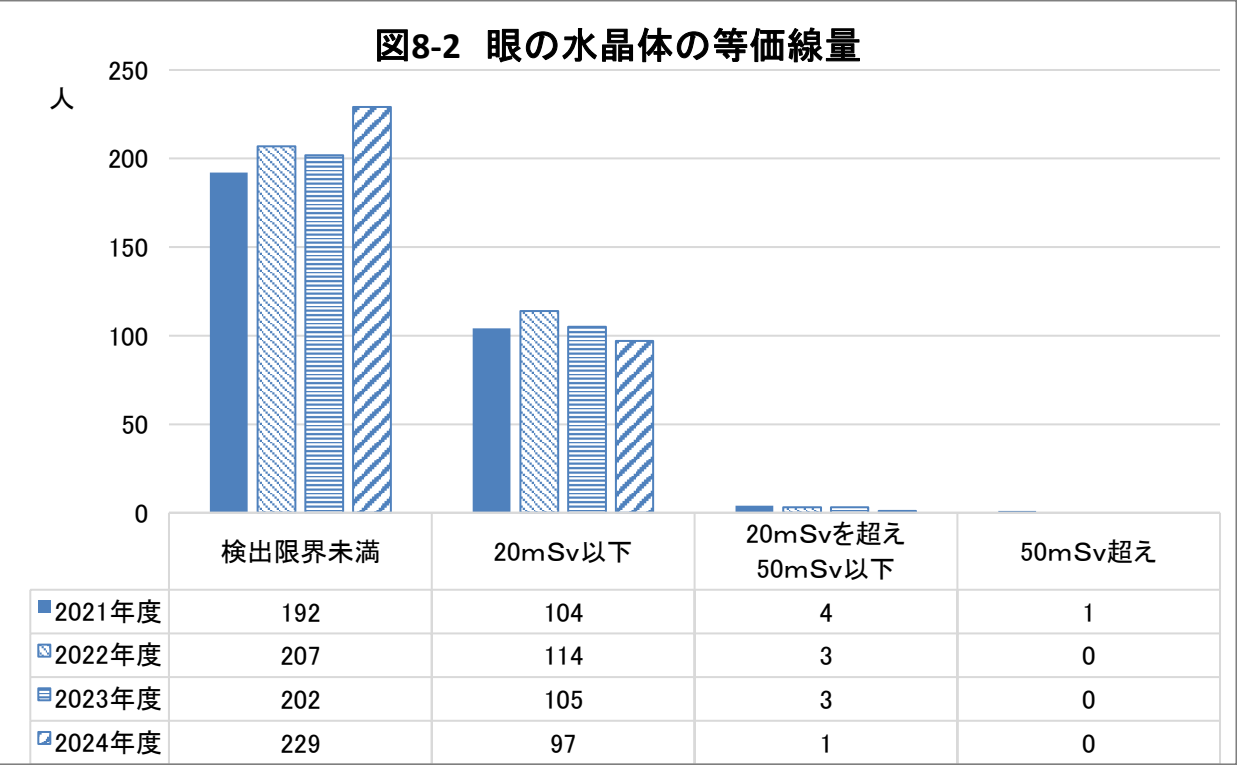
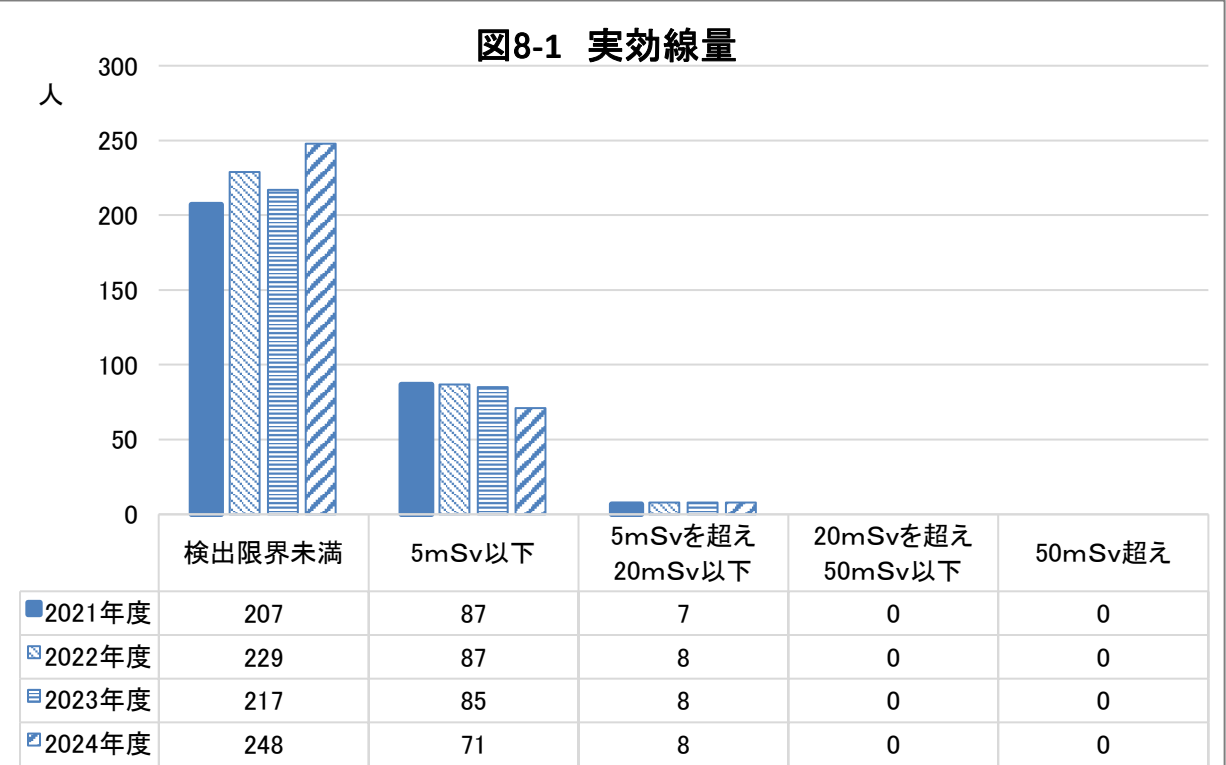
※2025.3.1時点:実施中(最終評価未)含む

※2020年はコロナウイルス感染対策のため特定保健指導は休止とした

【コメント】

実施件数は増加傾向。

■近森会 電離放射線健康診断結果年次推移(線量による区分)



* 線量による区分は、今回の健康診断を行った日の属する年の前年一年間に受けた線量

放射線業務従事者の被ばく限度

実効線量限度

- ・100mSv/5年→平均20mSv/年
- ・50mSv/年
- ・5mSv/3月(女子)
- ・1mSv(妊娠中女子の内部被ばく)

等価線量限度

- ・眼の水晶体 50mSv/年、100mSv/5年→平均20mSv/年 *2021.4.1～改正
- ・皮膚 500mSv/年
- ・妊娠中の女子 2mSv(腹部表面)

★5年間とは・・・法改正に伴い、2001年4月1日前後で5年毎に区切られている。

1、被ばく線量について(図1.2.3)

1)実効線量、皮膚の等価線量

問題なし(実効線量において、5mSvを超えているものの、20mSvを超えてはいない。)

2)眼の水晶体の等価線量

注意が必要

2024年度(2023年度線量区分):20mSvを超え1名(循環器内科Dr)

→2022、2023年度線量区分において2年連続で20mSvを超えたため眼科受診し問題ないことを確認済。2024年度線量区分においては20mSv以下で抑えられる見込み。

2、有所見者について(資料なし):該当者なく問題なし

- 引き続き、被ばく線量が高い職員についてはモニタリングに加えて防護眼鏡の変更やドジリスの導入など低減対策の継続が必要。
- 現場では、画像診断部による放射線測定器および防護具の適正装着の声掛け、線量監視による低減対策に対する早期介入などが実施されている。

■B型肝炎ワクチン接種■（2025年3月現在）

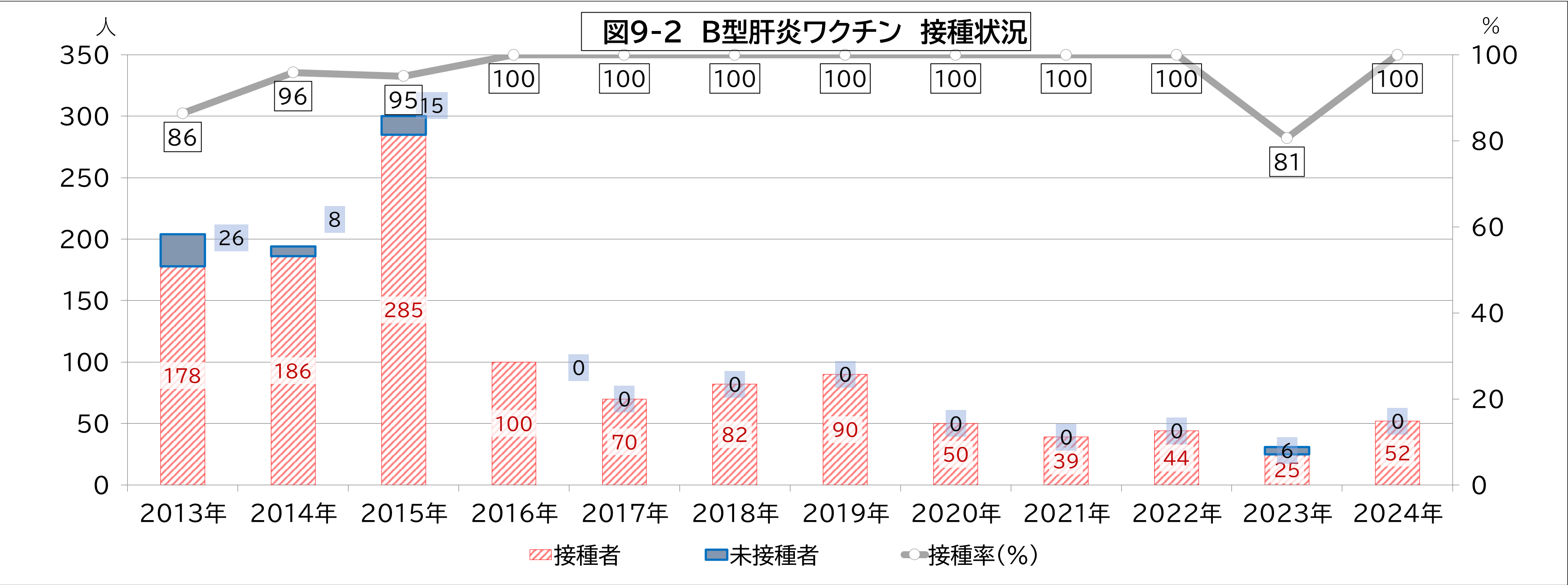
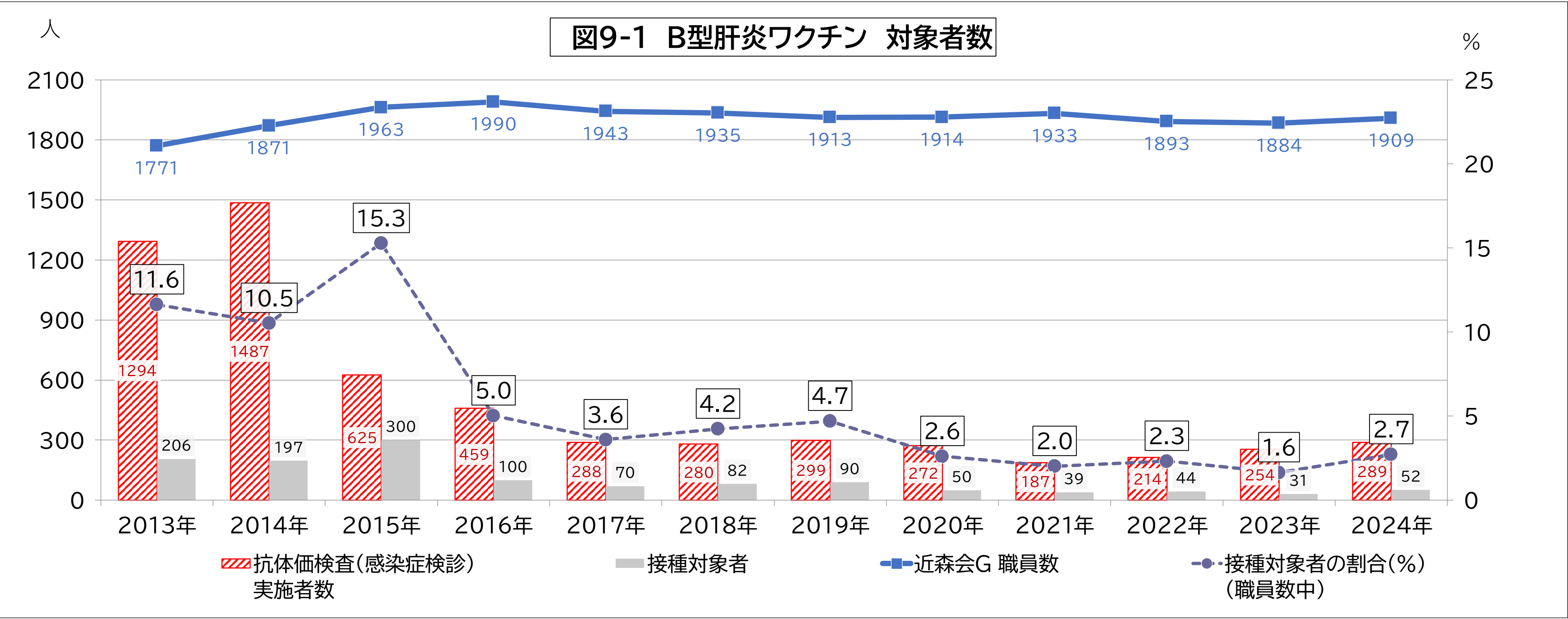


表7- 1

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
近森会G 職員数	1771	1871	1963	1990	1943	1935	1913	1914	1933	1893	1884	1909
抗体価検査(感染症検診)実施者数	1294	1487	625	459	288	280	299	272	187	214	254	289
接種対象者	206	197	300	100	70	82	90	50	39	44	31	52
接種対象者の割合(%) (職員数中)	11.6	10.5	15.3	5.0	3.6	4.2	4.7	2.6	2.0	2.3	1.6	2.7
接種者	178	186	285	100	70	82	90	50	39	44	25	52
未接種者	26	8	15	0	0	0	0	0	0	0	6	0
接種率 (%)	86.4	95.9	95.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	80.6	100.0

【2015年度からの変更点】

- ・接種を義務付ける職種の範囲を変更した。

<2014年まで>

医師・看護師・PT・OT・ST・臨床工学技師・放射線技師・検査技師・介護福祉士・MSW・薬剤師・管理栄養士

<2015年以降>

近森会グループの全職員（事務職を対象として追加した）

- ・HBs抗体価が陰性化した者への追加接種（ブースター）を廃止した。
- ・過去にHBs抗体獲得歴がある者はワクチン接種対象外とした。
- ・1クール接種後に抗体価検査を実施し、陰性の場合は1回追加接種後に抗体確認実施とした。陰性の場合は接種継続し、翌年に抗体確認を実施、2クール接種でも抗体陽性化がみられない場合は「ワクチン不応者」とみなし、対応終了とした。

【2022年度からの変更点】

- ・連絡調整を何度か実施した上で接種終了とならなかった者への個別対応は行わず、次年度スケジュールにて対応となった。

【2024年9月からの変更点】

- ・B型肝炎ワクチン接種は当院では実施せず、各自他院などで実施し抗体獲得していただくよう変更となった。

● 2024年度 職種別HBワクチン接種率 ● (2025年3月現在)

表7-2

近森病院	職種	HB s 抗原・抗体陰性者	HBsワクチン接種対象者	接種終了者	接種対応予定者	接種率
	医師	4	4	4	0	100.0%
	看護部	11	11	11	0	100.0%
	管理部*	14	14	14	0	100.0%
	薬剤部	1	1	1	0	100.0%
	画像診断部	1	1	1	0	100.0%
	臨床栄養部	1	1	1	0	100.0%
	臨床工学部	2	2	2	0	100.0%
	医療福祉部	2	2	2	0	100.0%
	合計	36	36	36	0	100.0%

* リハ・オルソリハ病院含む

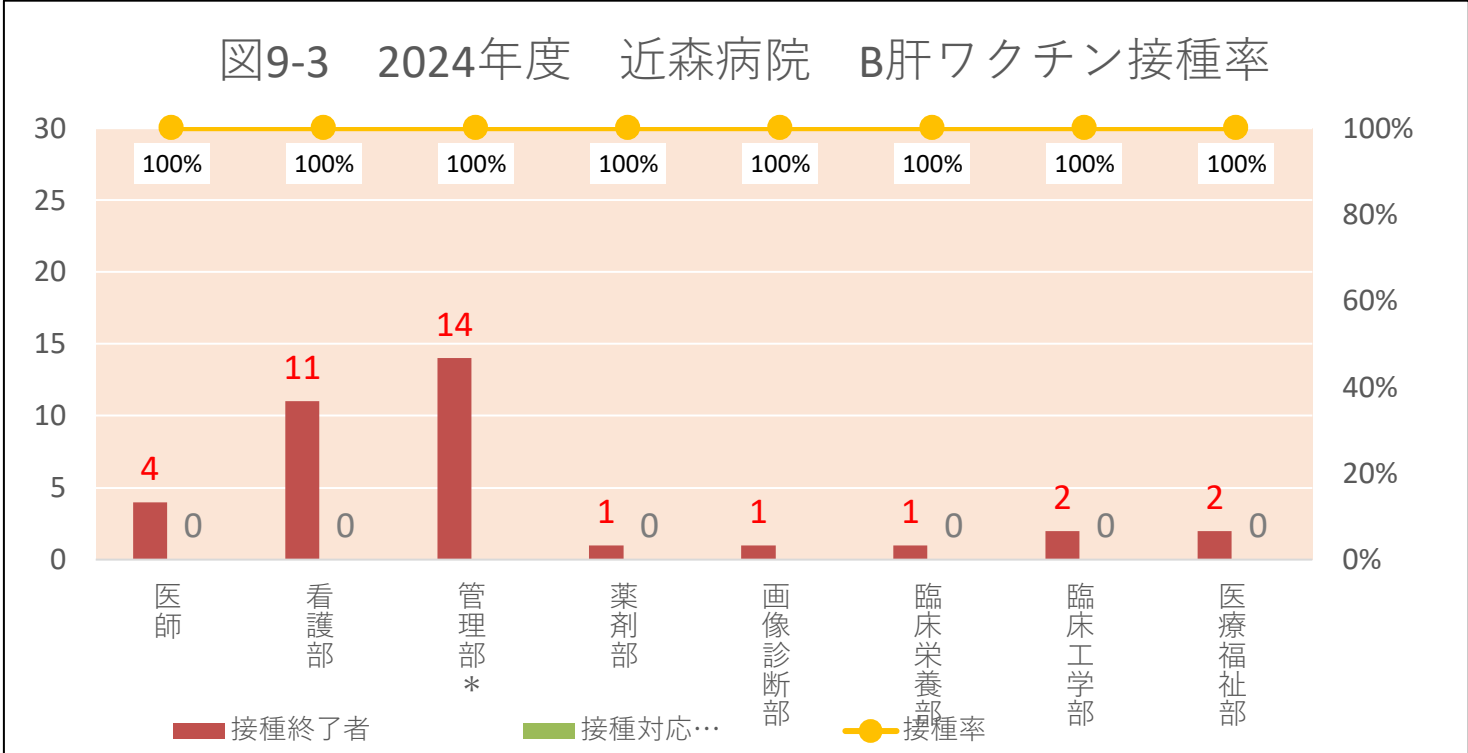
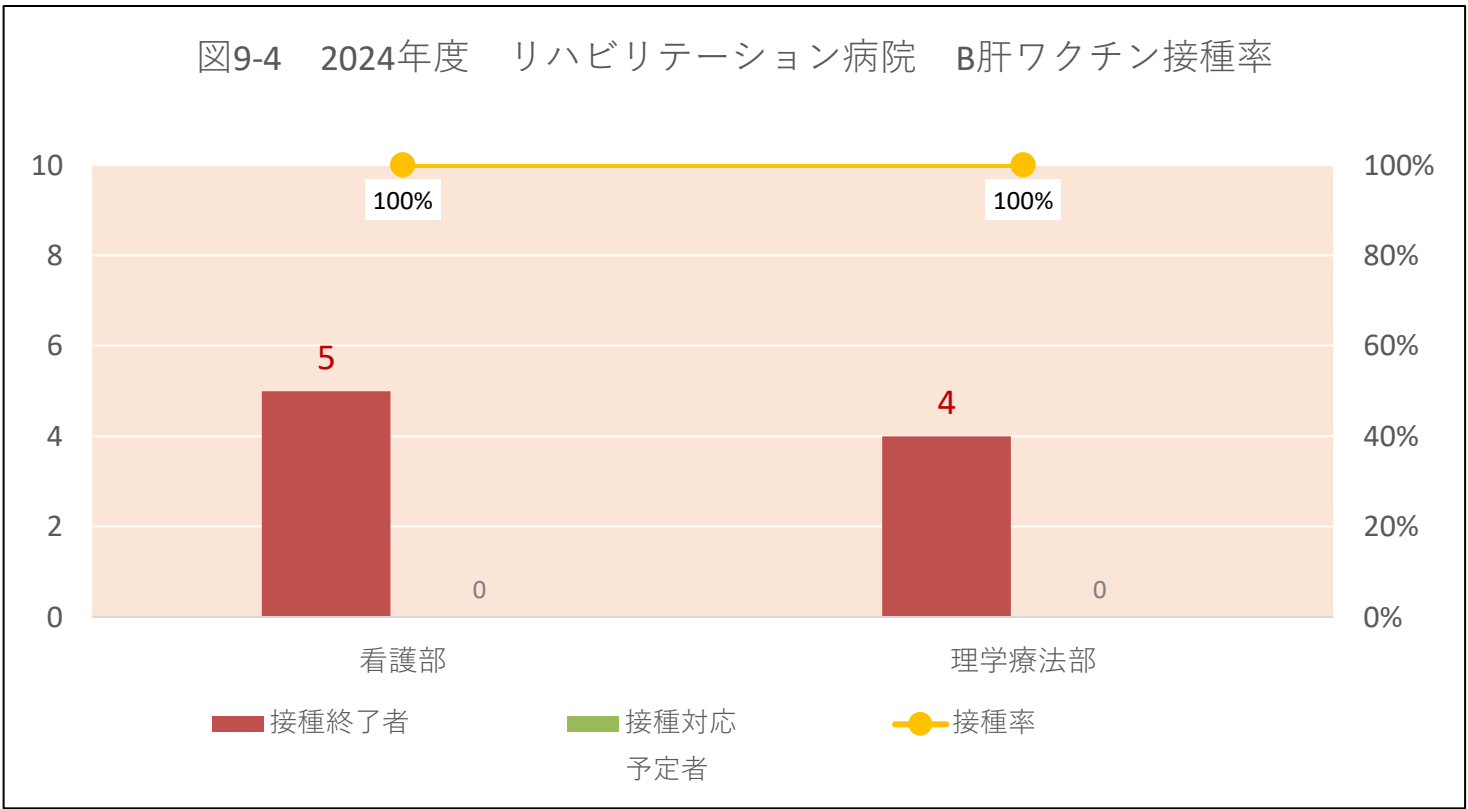


表7-3

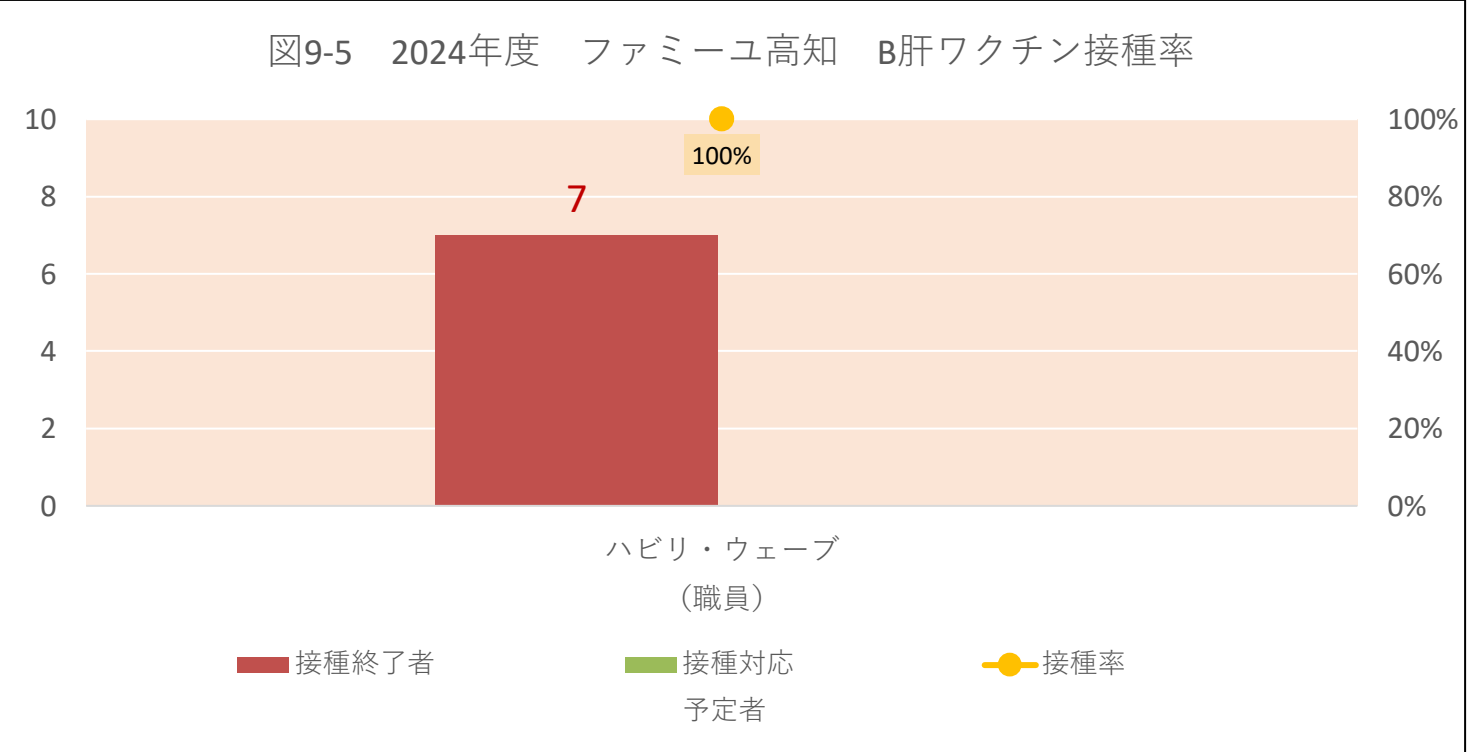
リハ病院	職種	HB s 抗原・抗体陰性者	HBsワクチン接種対象者	接種終了者	接種対応予定者	接種率
	看護部	5	5	5	0	100.0%
	理学療法部	4	4	4	0	100.0%
	合計	9	9	9	0	100.0%



※2024年度オルソリハ病院のHBワクチン接種対象者:なし

表7-4

ファミリーユ高知	職種	HB s 抗原・抗体陰性者	HBsワクチン接種対象者	接種終了者	接種対応予定者	接種率
	ハビリ・ウェーブ（職員）	7	7	7	0	100.0%
	合計	7	7	7	0	100.0%



● 2024年度 職種別HBs抗体陽性率 ●(2025年3月時点)

表7-5

近森病院	所属	感染症検査実施者	HBs抗体 (+)	HBs抗原 (+)	HB s 抗原・抗体 (-) 50歳未満	HB s 抗原・抗体 (-) 50歳以上	陽性率	陰性率
	医師	44	30	0	13	1	68.2%	31.8%
	看護部	88	51	0	32	5	58.0%	42.0%
	理学療法部	7	6	0	1	0	85.7%	14.3%
	管理部*	43	21	0	17	5	48.8%	51.2%
	薬剤部	6	5	0	1	0	83.3%	16.7%
	臨床工学部	5	2	0	3	0	40.0%	60.0%
	臨床検査部	2	2	0	0	0	100.0%	0.0%
	臨床栄養部	5	3	0	2	0	60.0%	40.0%
	医療福祉部	3	1	0	2	0	33.3%	66.7%
	作業療法部	1	1	0	0	0	100.0%	0.0%
	画像診断部	5	4	0	1	0	80.0%	20.0%
	合計	209	126	0	72	11	68.9%	31.1%
	*リハ・オルソ含む							

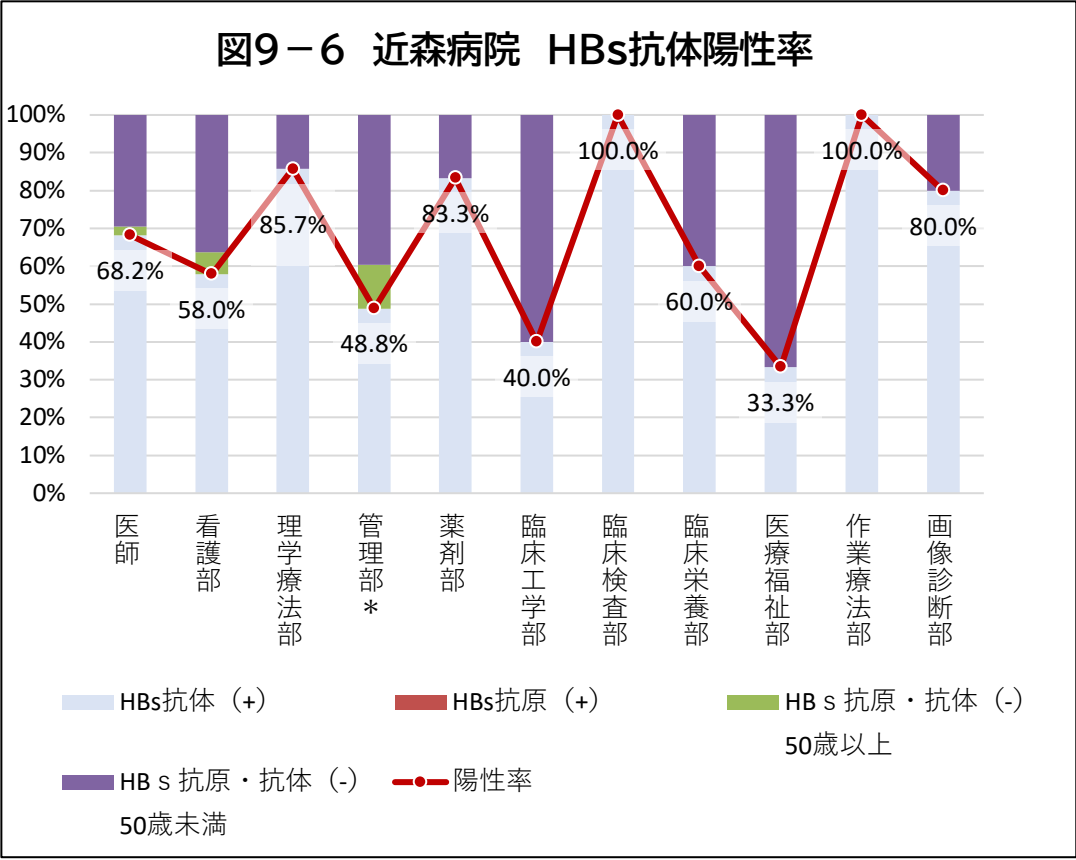


表7-6

リハ病院	所属	感染症検査実施者	HBs抗体 (+)	HBs抗原 (+)	HB s 抗原・抗体 (-) 50歳未満	HB s 抗原・抗体 (-) 50歳以上	陽性率	陰性率
	医師	2	2	0	0	0	100.0%	0.0%
	看護部	24	9	0	15	0	37.5%	62.5%
	理学療法部	8	5	0	3	0	62.5%	37.5%
	作業療法部	3	3	0	0	0	100.0%	0.0%
	言語療法部	2	2	0	0	0	100.0%	0.0%
	薬剤部	1	1	0	0	0	100.0%	0.0%
	合計	39	21	0	18	0	80.0%	20.0%

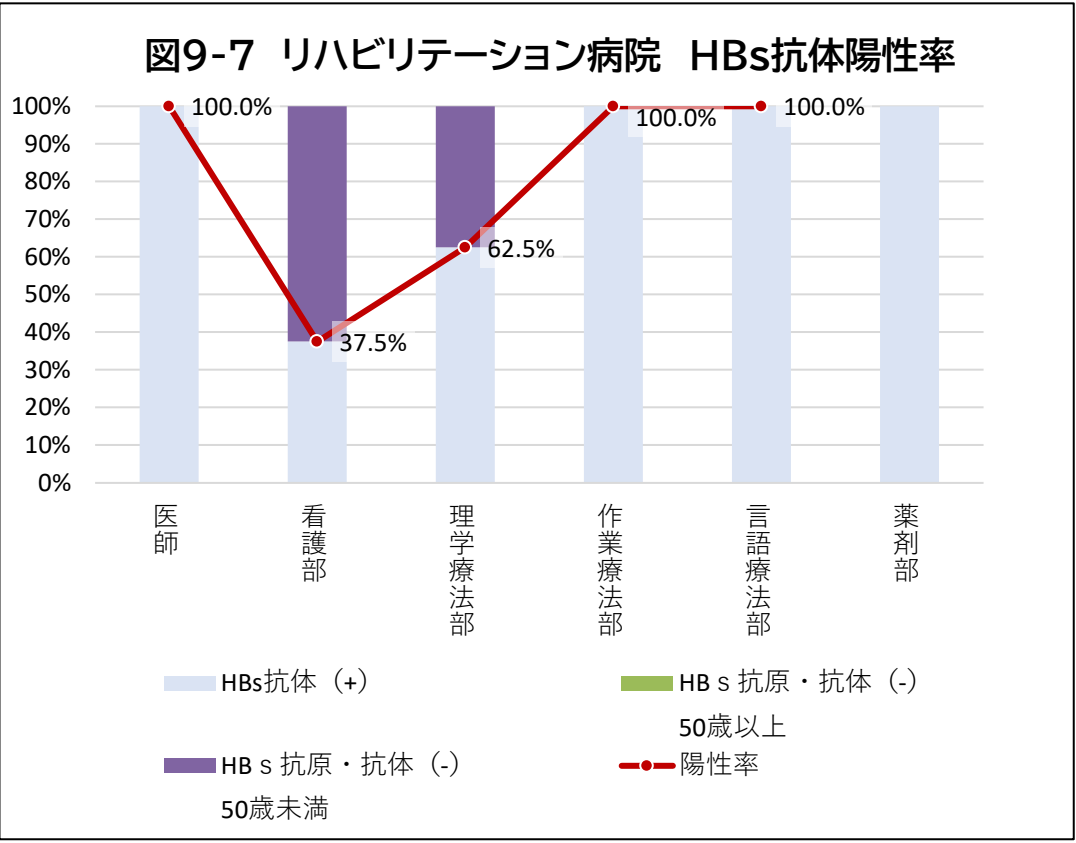


表7-7

オルソ病院	職種	感染症検査実施者	HBs抗体 (+)	HBs抗原 (+)	HB s 抗原・抗体 (-) 50歳未満	HB s 抗原・抗体 (-) 50歳以上	陽性率	陰性率
	看護部	13	6	0	7	0	46.2%	53.8%
	理学療法部	4	4	0	0	0	100.0%	0.0%
	作業療法部	1	1	0	0	0	100.0%	0.0%
	合計	18	11	0	7	0	82.1%	17.9%

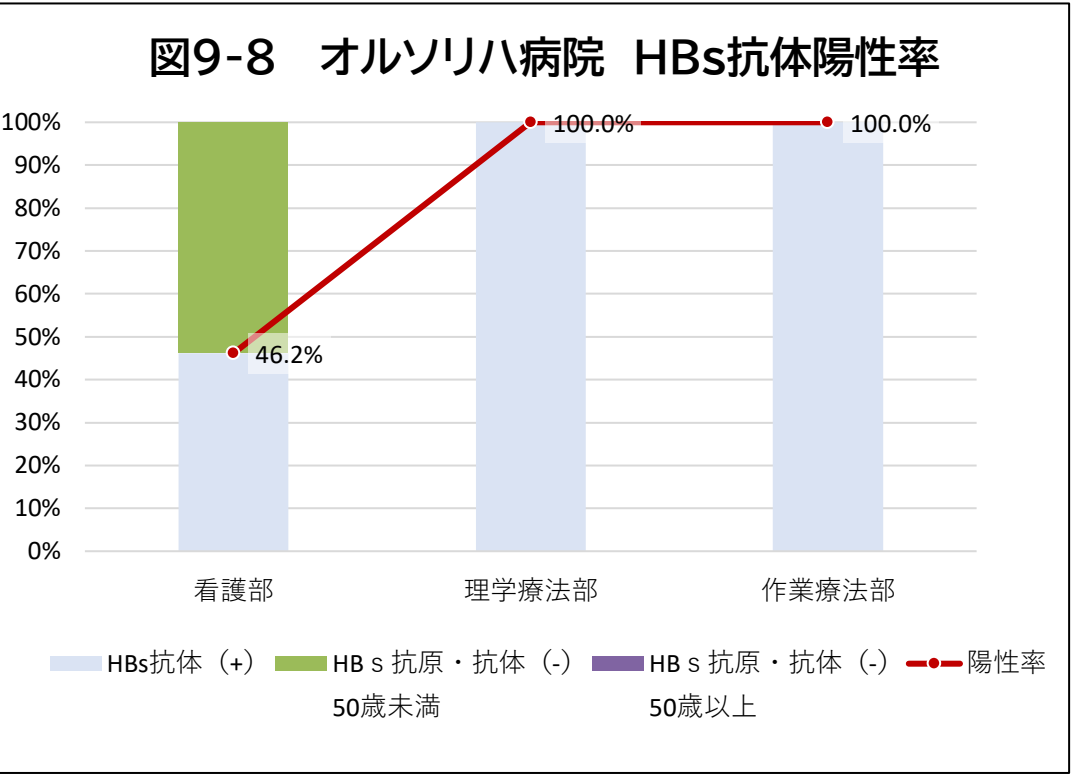
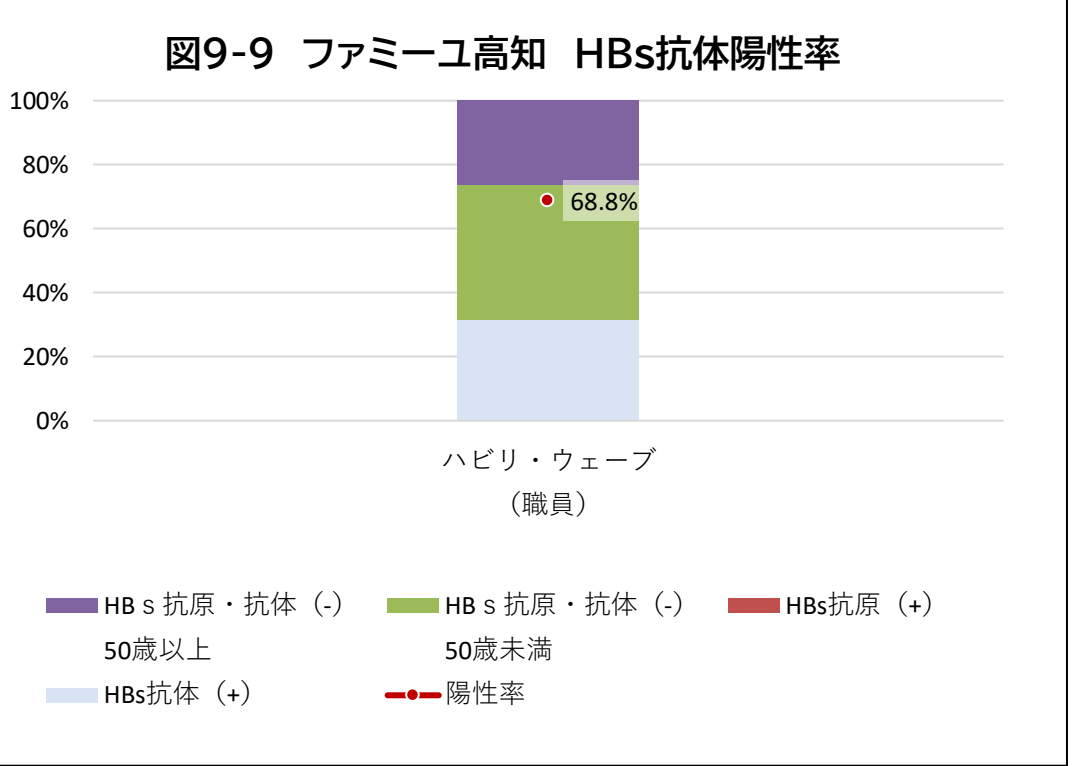


表7-8

ファミリーユ	職種	感染症検査実施者	HBs抗体 (+)	HBs抗原 (+)	HB s 抗原・抗体 (-) 50歳未満	HB s 抗原・抗体 (-) 50歳以上	陽性率	陰性率
	ハビリ・ウェーブ (職員)	19	6	0	8	5	68.8%	31.3%
	合計	19	4	0	8	5	68.8%	31.3%



総合計	285	162	0	105	16	74.9%	25.1%
-----	-----	-----	---	-----	----	-------	-------

HBs抗体陽性率

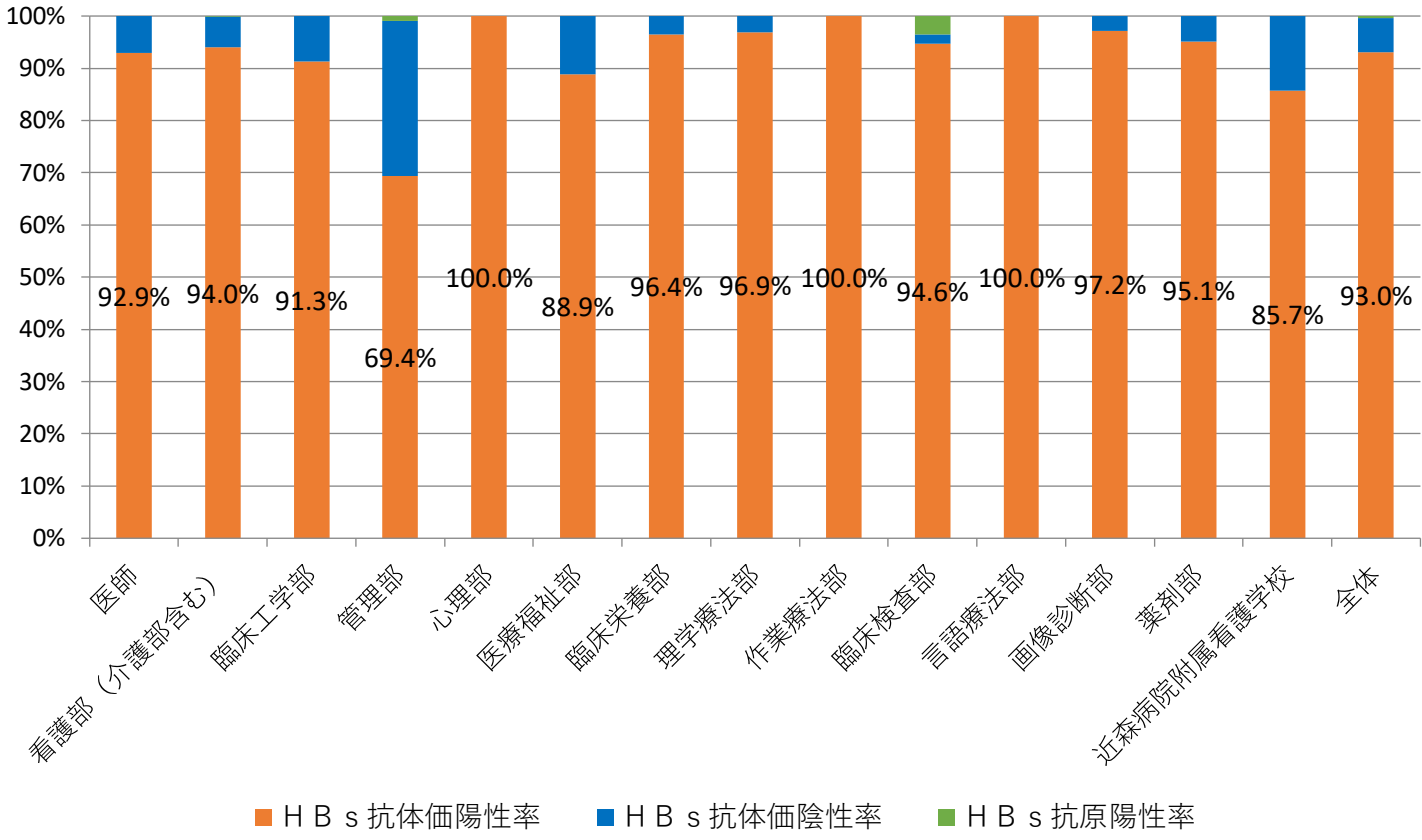
2025/3/3時点

●近森病院

表7-9

	HBs抗体 陽性者数	HBs抗体 陰性者数	HBs抗原 陽性者数	職員数	HBs抗体 価陽性率	HBs抗体 価陰性率	HBs抗原 陽性率
医師	144	11	0	155	92.9%	7.1%	0.0%
看護部(介護部含む)	568	35	1	604	94.0%	5.8%	0.2%
臨床工学部	42	4	0	46	91.3%	8.7%	0.0%
管理部	159	68	2	229	69.4%	29.7%	0.9%
心理部	3	0	0	3	100.0%	0.0%	0.0%
医療福祉部	16	2	0	18	88.9%	11.1%	0.0%
臨床栄養部	27	1	0	28	96.4%	3.6%	0.0%
理学療法部	63	2	0	65	96.9%	3.1%	0.0%
作業療法部	28	0	0	28	100.0%	0.0%	0.0%
臨床検査部	53	1	2	56	94.6%	1.8%	3.6%
言語療法部	8	0	0	8	100.0%	0.0%	0.0%
画像診断部	35	1	0	36	97.2%	2.8%	0.0%
薬剤部	39	2	0	41	95.1%	4.9%	0.0%
近森病院附属看護学校	12	2	0	14	85.7%	14.3%	0.0%
全体	1197	129	5	1331	93.0%	6.6%	0.3%

図9-10 近森病院

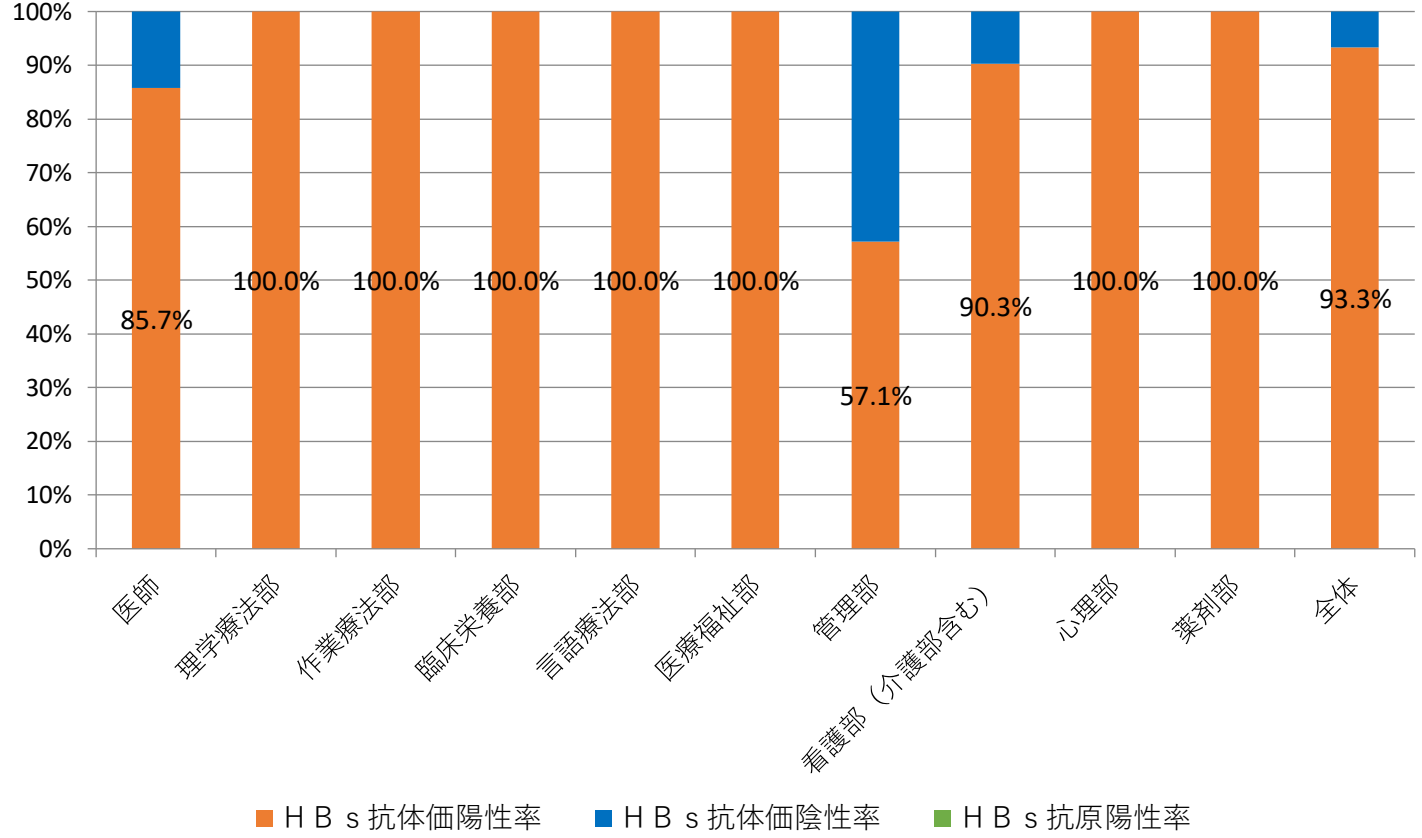


●近森リハビリテーション病院

表7-10

	HBs抗体 陽性者数	HBs抗体 陰性者数	HBs抗原 陽性者数	職員数	HBs抗体 価陽性率	HBs抗体 価陰性率	HBs抗原 陽性率
医師	6	1	0	7	85.7%	14.3%	0.0%
理学療法部	55	0	0	55	100.0%	0.0%	0.0%
作業療法部	50	0	0	50	100.0%	0.0%	0.0%
臨床栄養部	4	0	0	4	100.0%	0.0%	0.0%
言語療法部	18	0	0	18	100.0%	0.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	0	6	100.0%	0.0%	0.0%
管理部	4	3	0	7	57.1%	42.9%	0.0%
看護部(介護部含む)	121	13	0	134	90.3%	9.7%	0.0%
心理部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
薬剤部	5	0	0	5	100.0%	0.0%	0.0%
全体	271	17	0	288	93.3%	6.7%	0.0%

図9-11 近森リハビリテーション病院

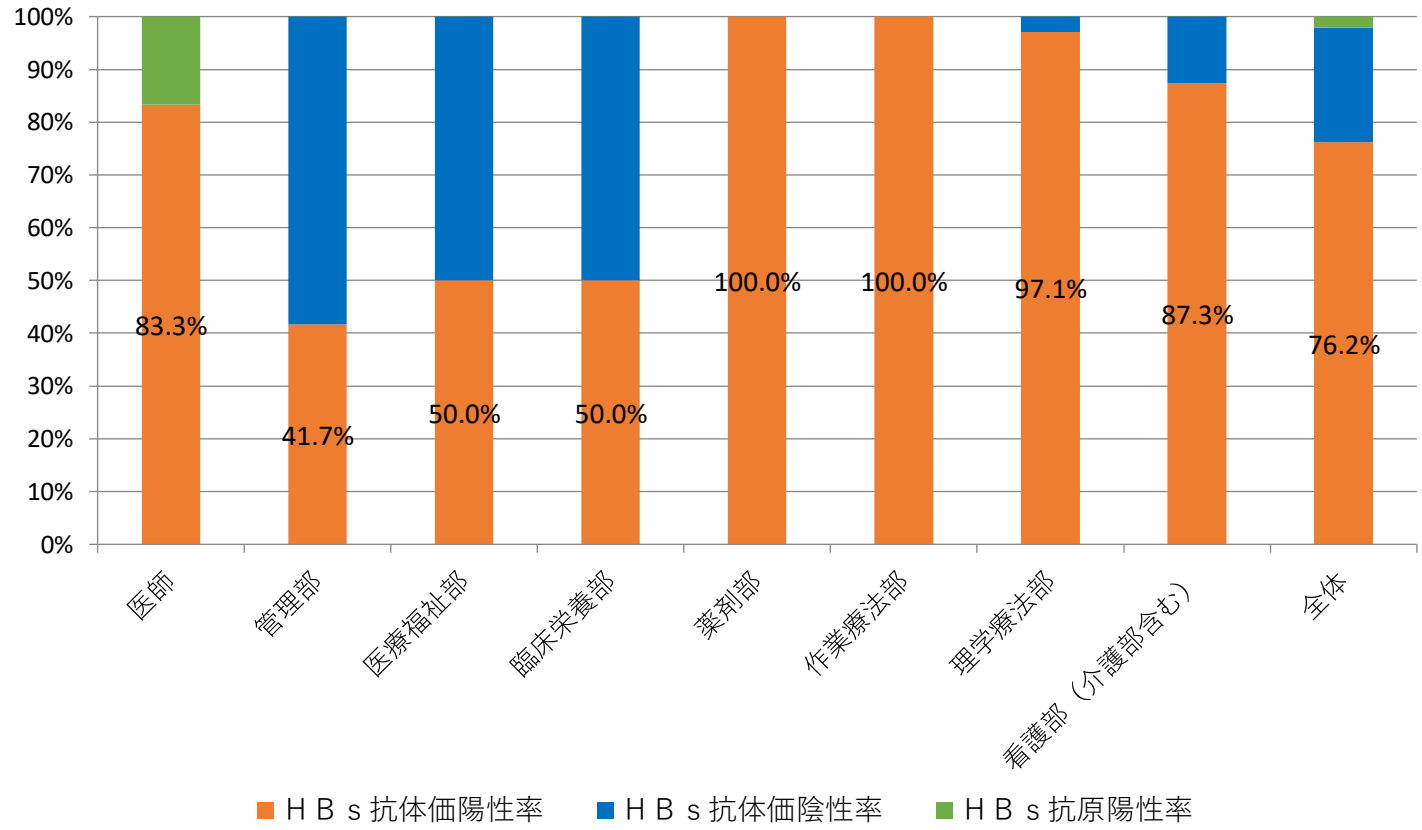


●オルソリハビリテーション病院

表7-11

	HBs抗体 陽性者数	HBs抗体 陰性者数	HBs抗原 陽性者数	職員数	HBs抗体 価陽性率	HBs抗体 価陰性率	HBs抗原 陽性率
医師	5	0	1	6	83.3%	0.0%	16.7%
管理部	5	7	0	12	41.7%	58.3%	0.0%
医療福祉部	1	1	0	2	50.0%	50.0%	0.0%
臨床栄養部	2	2	0	4	50.0%	50.0%	0.0%
薬剤部	2	0	0	2	100.0%	0.0%	0.0%
作業療法部	8	0	0	8	100.0%	0.0%	0.0%
理学療法部	34	1	0	35	97.1%	2.9%	0.0%
看護部(介護部含む)	69	10	0	79	87.3%	12.7%	0.0%
全体	126	21	1	148	76.2%	21.7%	2.1%

図9-12 オルソリハビリテーション病院

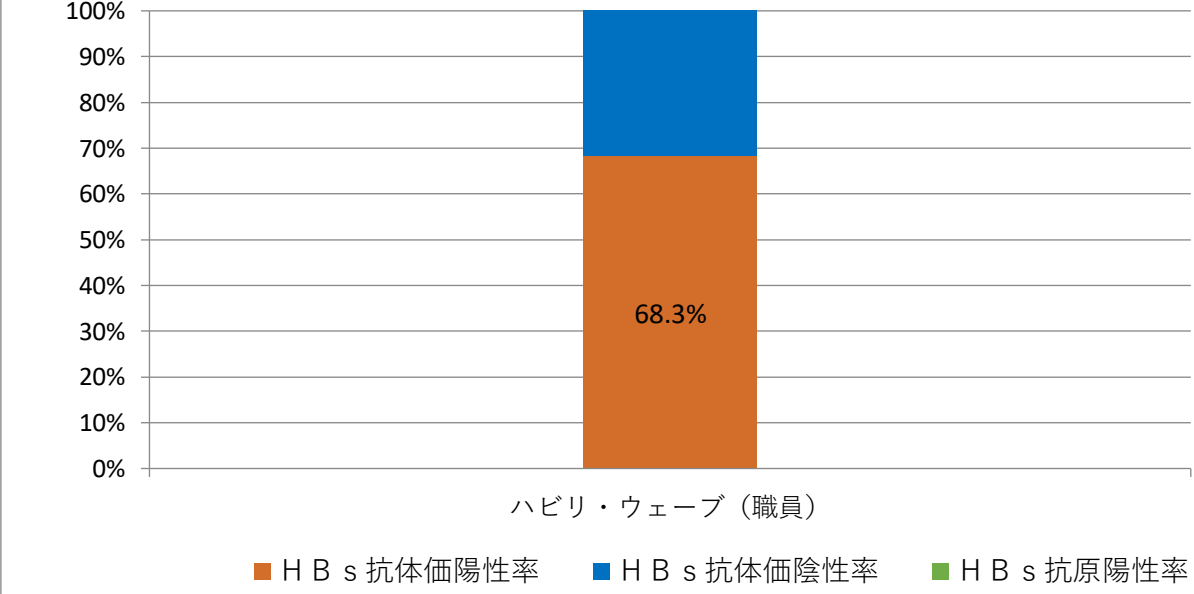


●ファミリー高知

表7-12

	HBs抗体 陽性者数	HBs抗体 陰性者数	HBs抗原 陽性者数	職員数	HBs抗体 価陽性率	HBs抗体 価陰性率	HBs抗原 陽性率
ハビリ・ウェーブ(職員)	56	26	0	82	68.3%	31.7%	0.0%
全体	56	26	0	82	68.3%	31.7%	0.0%

図9-13 ファミリー高知

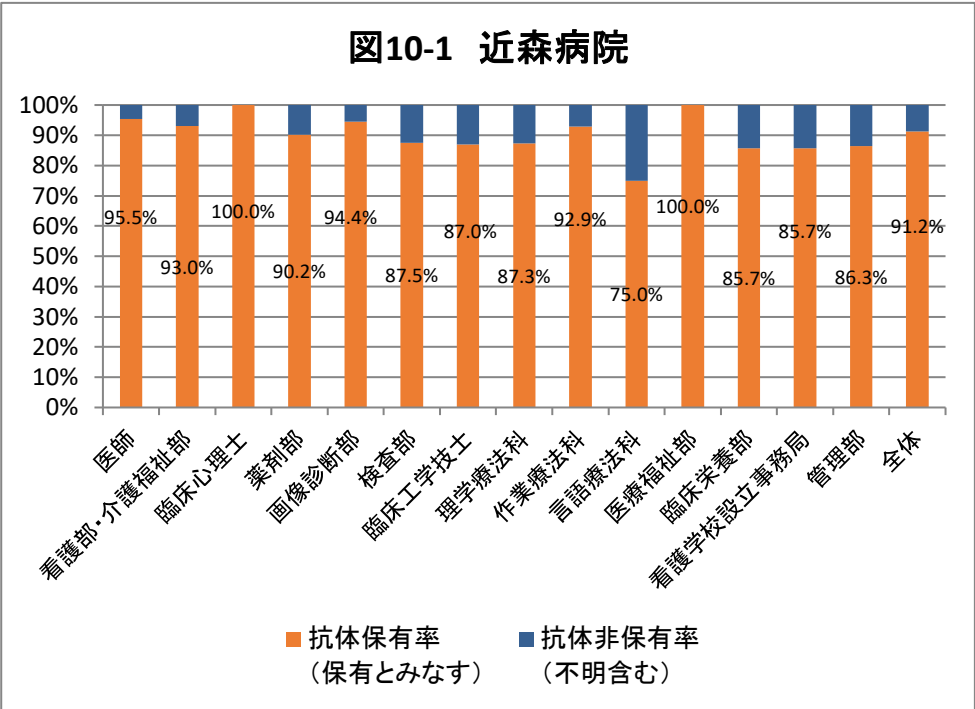


麻疹 抗体保有率

2025/02/22時点

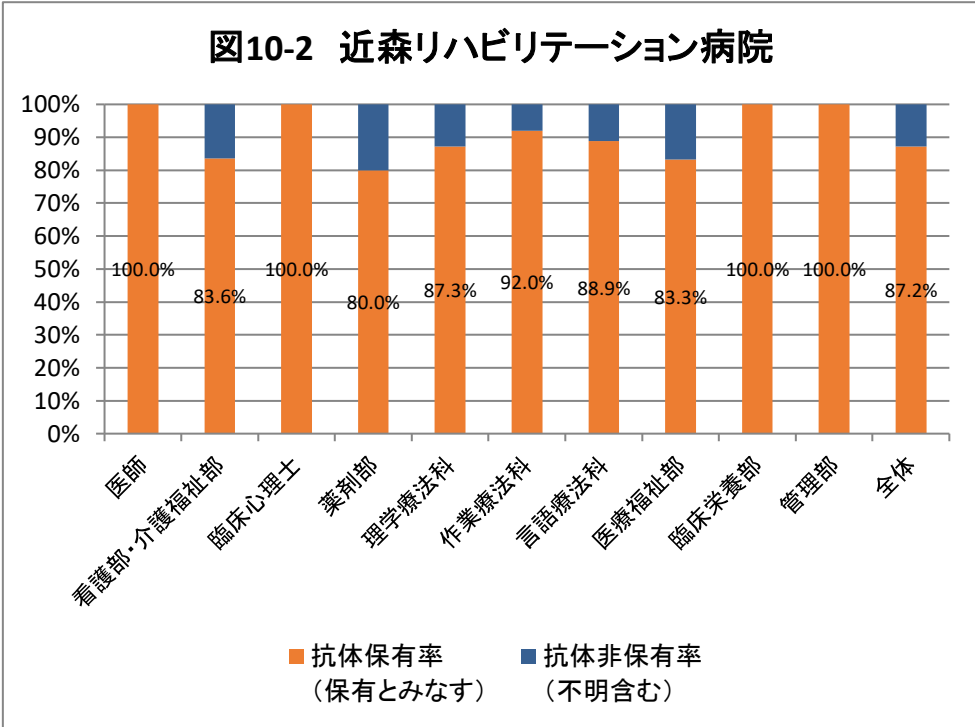
● 近森病院
表8-1

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	148	7	155	95.5%	4.5%
看護部・介護福祉部	562	42	604	93.0%	7.0%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	37	4	41	90.2%	9.8%
画像診断部	34	2	36	94.4%	5.6%
検査部	49	7	56	87.5%	12.5%
臨床工学技士	40	6	46	87.0%	13.0%
理学療法科	55	8	63	87.3%	12.7%
作業療法科	26	2	28	92.9%	7.1%
言語療法科	6	2	8	75.0%	25.0%
医療福祉部	18	0	18	100.0%	0.0%
臨床栄養部	24	4	28	85.7%	14.3%
看護学校設立事務局	12	2	14	85.7%	14.3%
管理部	196	31	227	86.3%	13.7%
全体	1210	117	1327	91.2%	8.8%



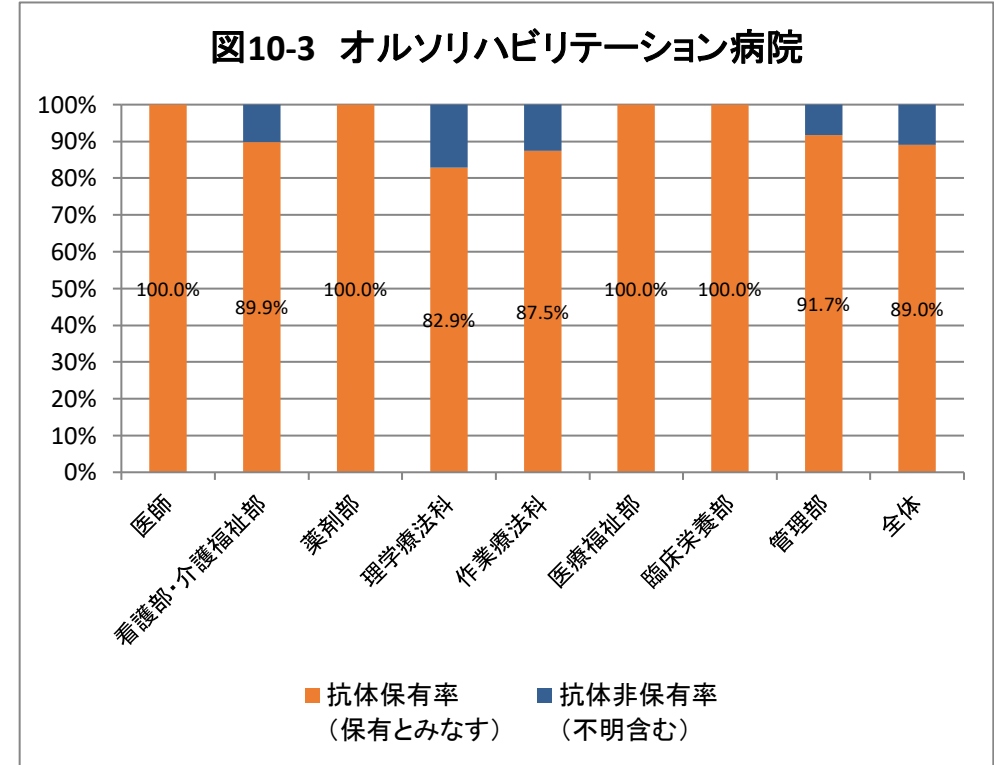
● 近森リハビリテーション病院
表8-2

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	7	0	7	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	112	22	134	83.6%	16.4%
臨床心理士	2	0	2	100.0%	0.0%
薬剤部	4	1	5	80.0%	20.0%
理学療法科	48	7	55	87.3%	12.7%
作業療法科	46	4	50	92.0%	8.0%
言語療法科	16	2	18	88.9%	11.1%
医療福祉部	5	1	6	83.3%	16.7%
臨床栄養部	4	0	4	100.0%	0.0%
管理部	7	0	7	100.0%	0.0%
全体	251	37	288	87.2%	12.8%



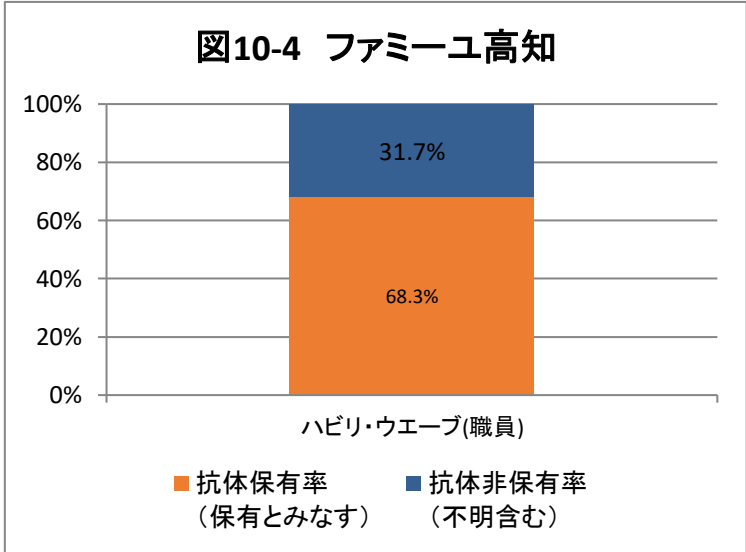
● オルソリハビリテーション病院
表8-3

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	71	8	79	89.9%	10.1%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	29	6	35	82.9%	17.1%
作業療法科	7	1	8	87.5%	12.5%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	11	1	12	91.7%	8.3%
全体	130	16	146	89.0%	11.0%



● ファミージュ高知
表8-4

	抗体保有とみなす	抗体非保有	免疫確認対象者	抗体保有率 (保有とみなす)	抗体非保有率 (不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	56	26	82	68.3%	31.7%
全体	56	26	82	68.3%	31.7%



補足

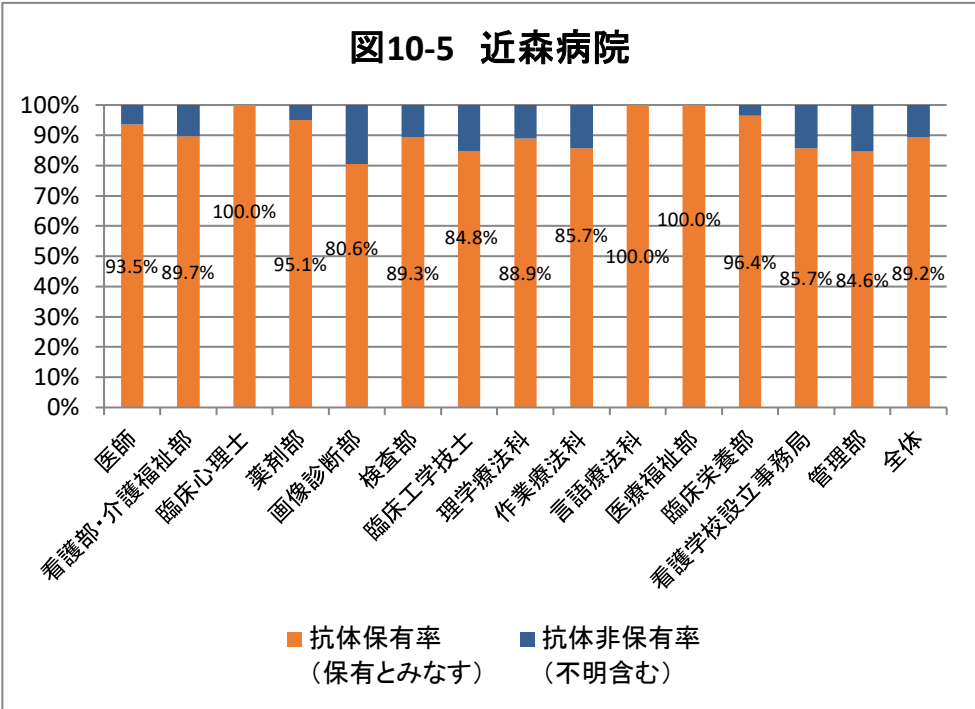
2024年2月22日時点在職者対象
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている
2015年9月1日～2017年10月31日のファミージュ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

風疹 抗体保有率

2025/02/22時点

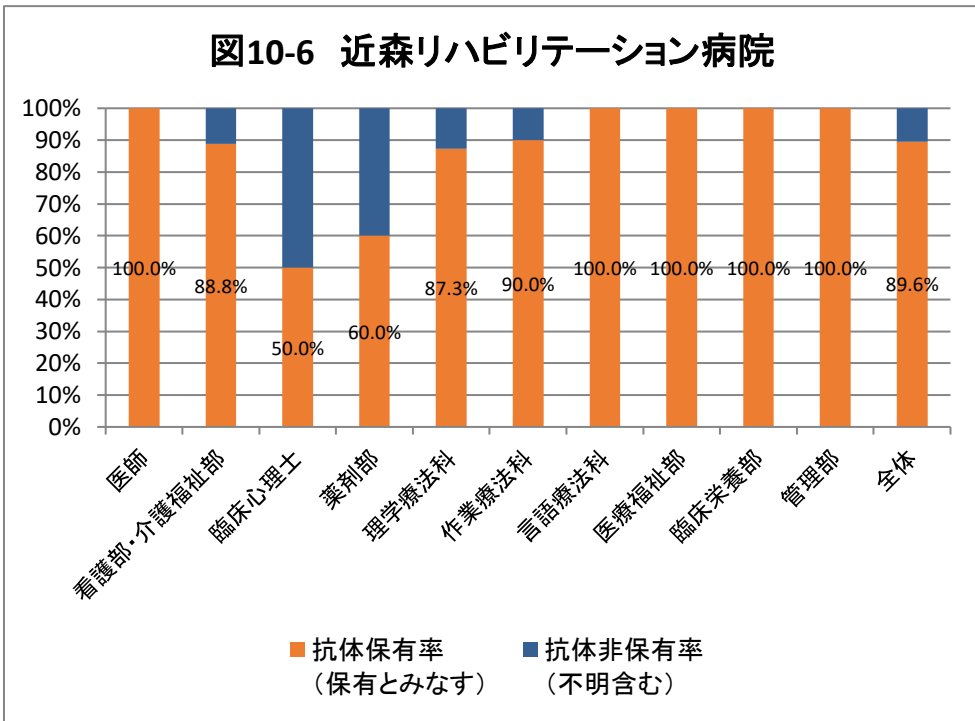
● 近森病院
表8-5

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	145	10	155	93.5%	6.5%
看護部・介護福祉部	542	62	604	89.7%	10.3%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	39	2	41	95.1%	4.9%
画像診断部	29	7	36	80.6%	19.4%
検査部	50	6	56	89.3%	10.7%
臨床工学技士	39	7	46	84.8%	15.2%
理学療法科	56	7	63	88.9%	11.1%
作業療法科	24	4	28	85.7%	14.3%
言語療法科	8	0	8	100.0%	0.0%
医療福祉部	18	0	18	100.0%	0.0%
臨床栄養部	27	1	28	96.4%	3.6%
看護学校設立事務局	12	2	14	85.7%	14.3%
管理部	192	35	227	84.6%	15.4%
全体	1184	143	1327	89.2%	10.8%



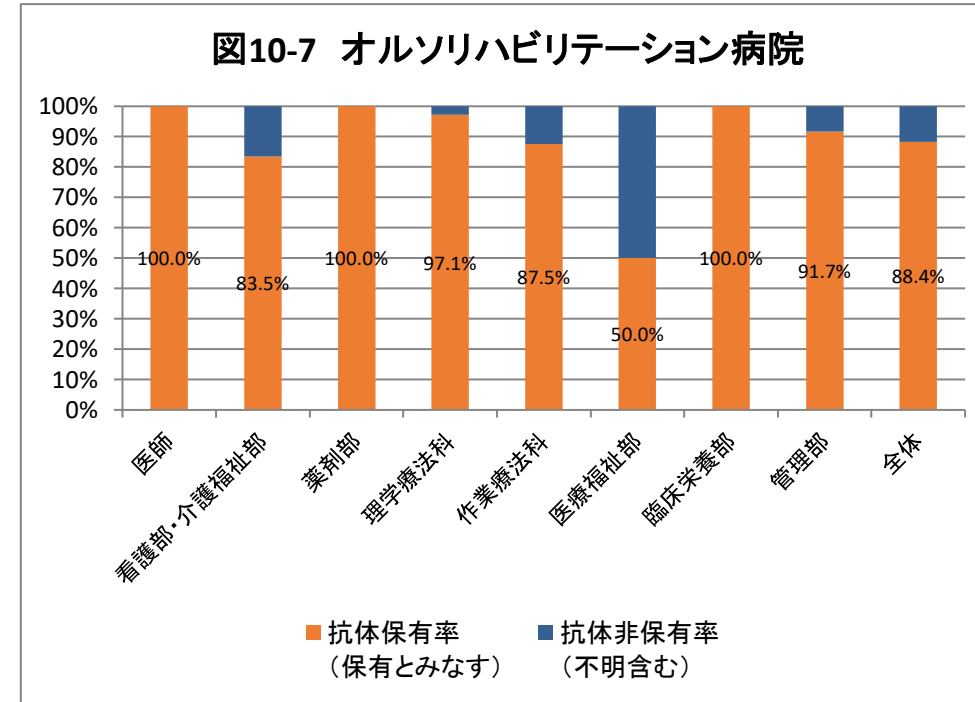
● 近森リハビリテーション病院
表8-6

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	7	0	7	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	119	15	134	88.8%	11.2%
臨床心理士	1	1	2	50.0%	50.0%
薬剤部	3	2	5	60.0%	40.0%
理学療法科	48	7	55	87.3%	12.7%
作業療法科	45	5	50	90.0%	10.0%
言語療法科	18	0	18	100.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	4	0	4	100.0%	0.0%
管理部	7	0	7	100.0%	0.0%
全体	258	30	288	89.6%	10.4%



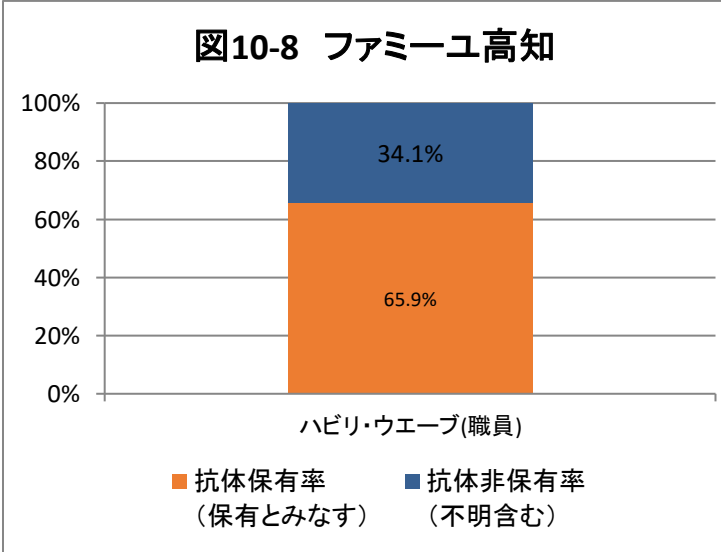
● オルソリハビリテーション病院
表8-7

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	66	13	79	83.5%	16.5%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	34	1	35	97.1%	2.9%
作業療法科	7	1	8	87.5%	12.5%
医療福祉部	1	1	2	50.0%	50.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	11	1	12	91.7%	8.3%
全体	129	17	146	88.4%	11.6%



● ファミージュ高知
表8-8

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	54	28	82	65.9%	34.1%
全体	54	28	82	65.9%	34.1%



補足

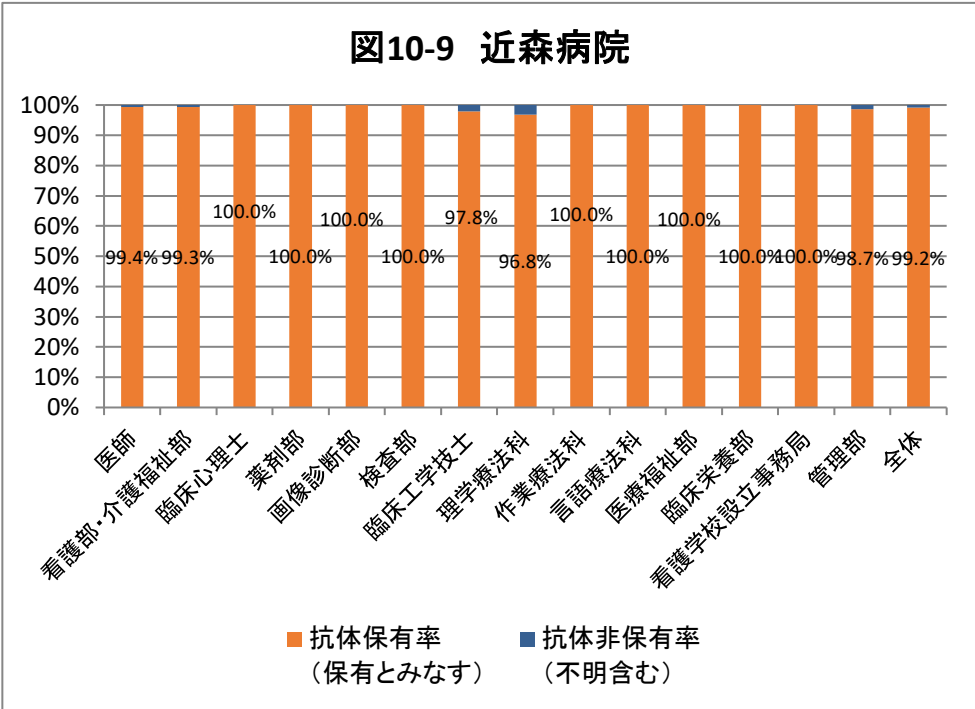
2024年2月22日時点在職者対象
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている
2015年9月1日～2017年10月31日のファミージュ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

水痘 抗体保有率

2025/02/22時点

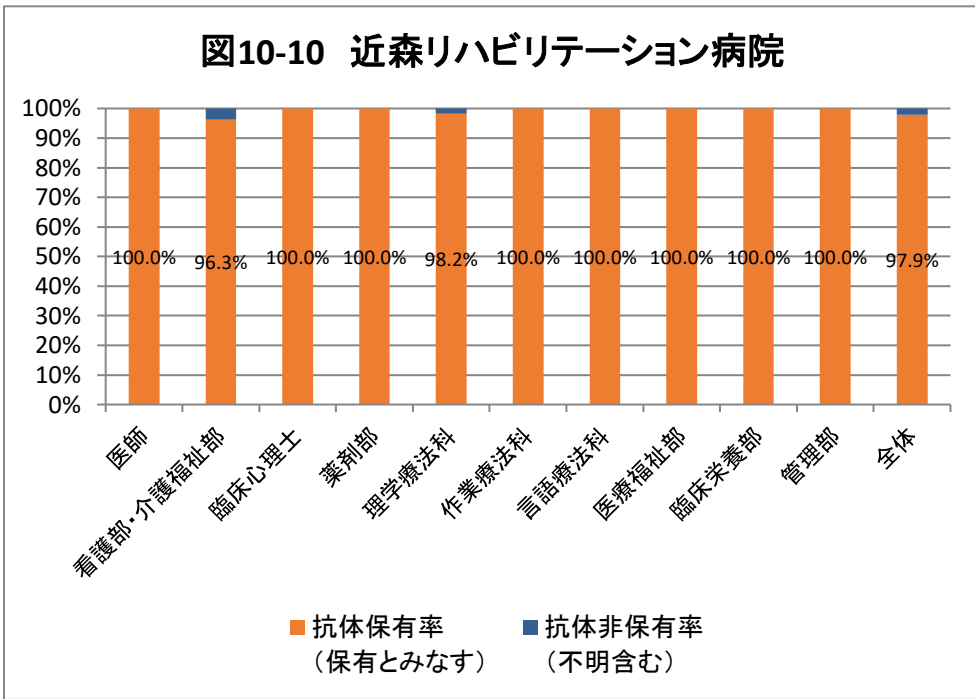
● 近森病院
表8-9

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	154	1	155	99.4%	0.6%
看護部・介護福祉部	600	4	604	99.3%	0.7%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	41	0	41	100.0%	0.0%
画像診断部	36	0	36	100.0%	0.0%
検査部	56	0	56	100.0%	0.0%
臨床工学技士	45	1	46	97.8%	2.2%
理学療法科	61	2	63	96.8%	3.2%
作業療法科	28	0	28	100.0%	0.0%
言語療法科	8	0	8	100.0%	0.0%
医療福祉部	18	0	18	100.0%	0.0%
臨床栄養部	28	0	28	100.0%	0.0%
看護学校設立事務局	14	0	14	100.0%	0.0%
管理部	224	3	227	98.7%	1.3%
全体	1316	11	1327	99.2%	0.8%



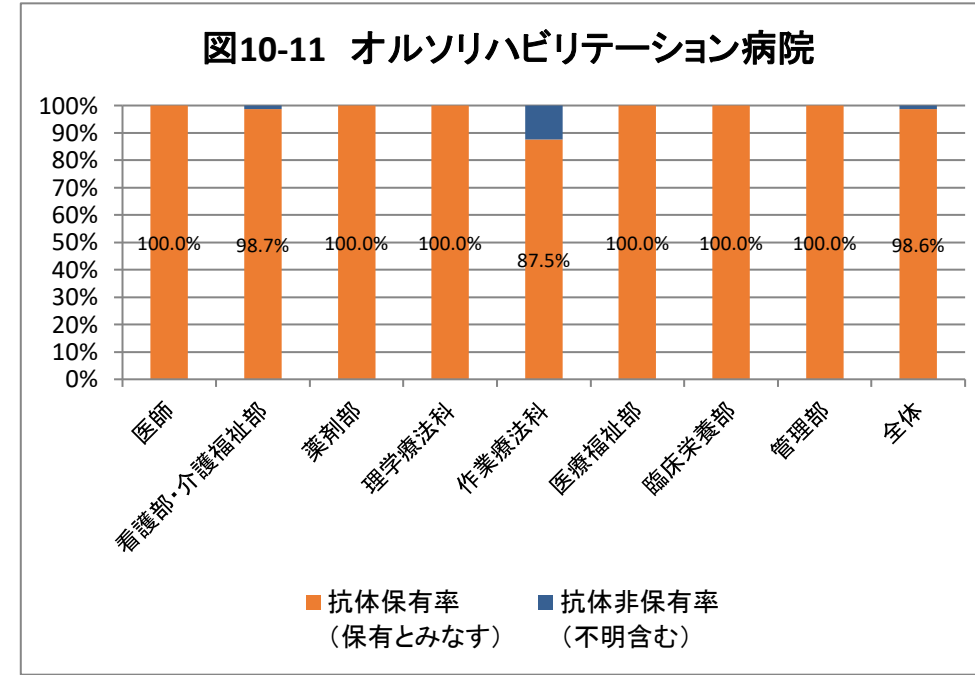
● 近森リハビリテーション病院
表8-10

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	7	0	7	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	129	5	134	96.3%	3.7%
臨床心理士	2	0	2	100.0%	0.0%
薬剤部	5	0	5	100.0%	0.0%
理学療法科	54	1	55	98.2%	1.8%
作業療法科	50	0	50	100.0%	0.0%
言語療法科	18	0	18	100.0%	0.0%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	4	0	4	100.0%	0.0%
管理部	7	0	7	100.0%	0.0%
全体	282	6	288	97.9%	2.1%



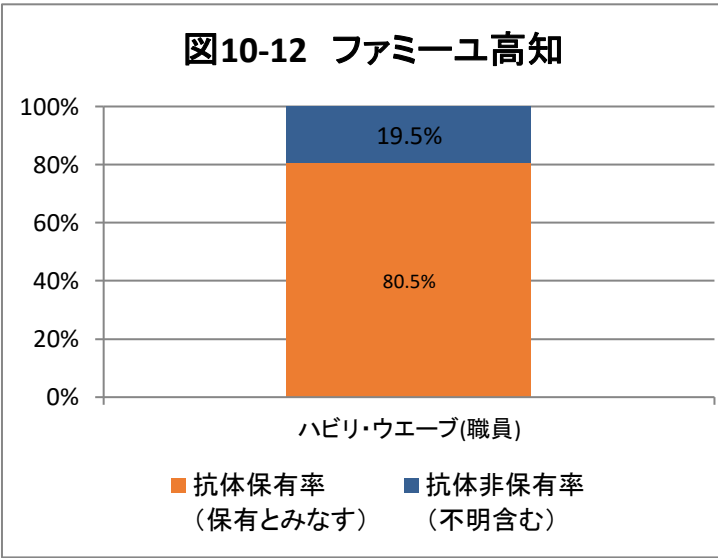
● オルソリハビリテーション病院
表8-11

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	78	1	79	98.7%	1.3%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	35	0	35	100.0%	0.0%
作業療法科	7	1	8	87.5%	12.5%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	12	0	12	100.0%	0.0%
全体	144	2	146	98.6%	1.4%



● ファミージュ高知
表8-12

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	66	16	82	80.5%	19.5%
全体	66	16	82	80.5%	19.5%



補足

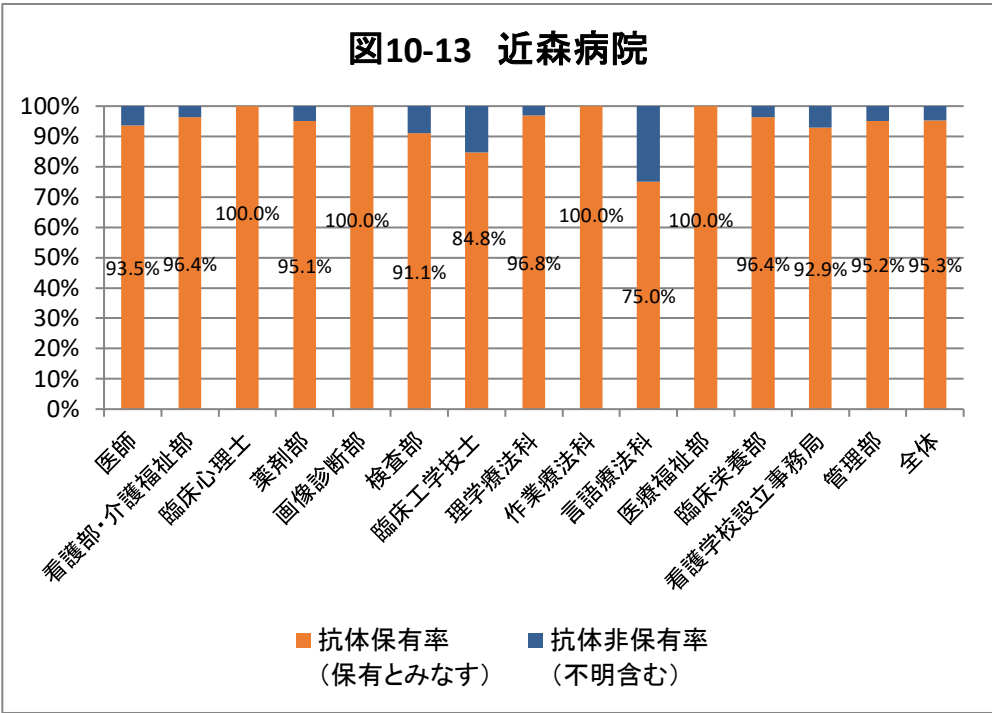
2024年2月22日時点在職者対象
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている
2015年9月1日～2017年10月31日のファミージュ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

ムンプス 抗体保有率

2025/02/22時点

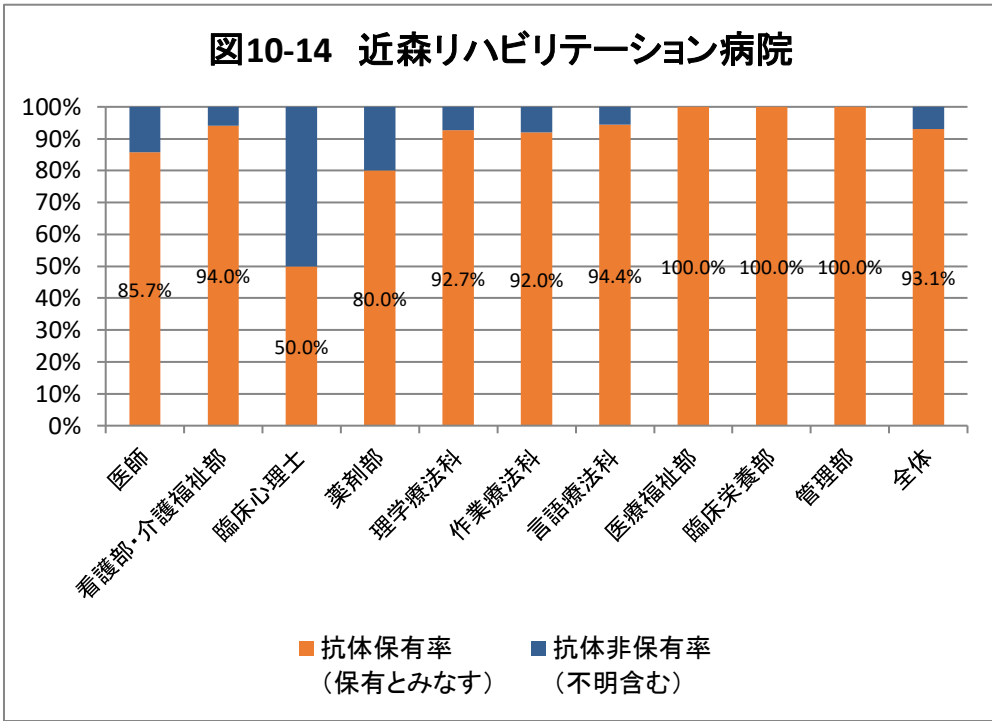
● 近森病院
表8-13

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	145	10	155	93.5%	6.5%
看護部・介護福祉部	582	22	604	96.4%	3.6%
臨床心理士	3	0	3	100.0%	0.0%
薬剤部	39	2	41	95.1%	4.9%
画像診断部	36	0	36	100.0%	0.0%
検査部	51	5	56	91.1%	8.9%
臨床工学技士	39	7	46	84.8%	15.2%
理学療法科	61	2	63	96.8%	3.2%
作業療法科	28	0	28	100.0%	0.0%
言語療法科	6	2	8	75.0%	25.0%
医療福祉部	18	0	18	100.0%	0.0%
臨床栄養部	27	1	28	96.4%	3.6%
看護学校設立事務局	13	1	14	92.9%	7.1%
管理部	216	11	227	95.2%	4.8%
全体	1264	63	1327	95.3%	4.7%



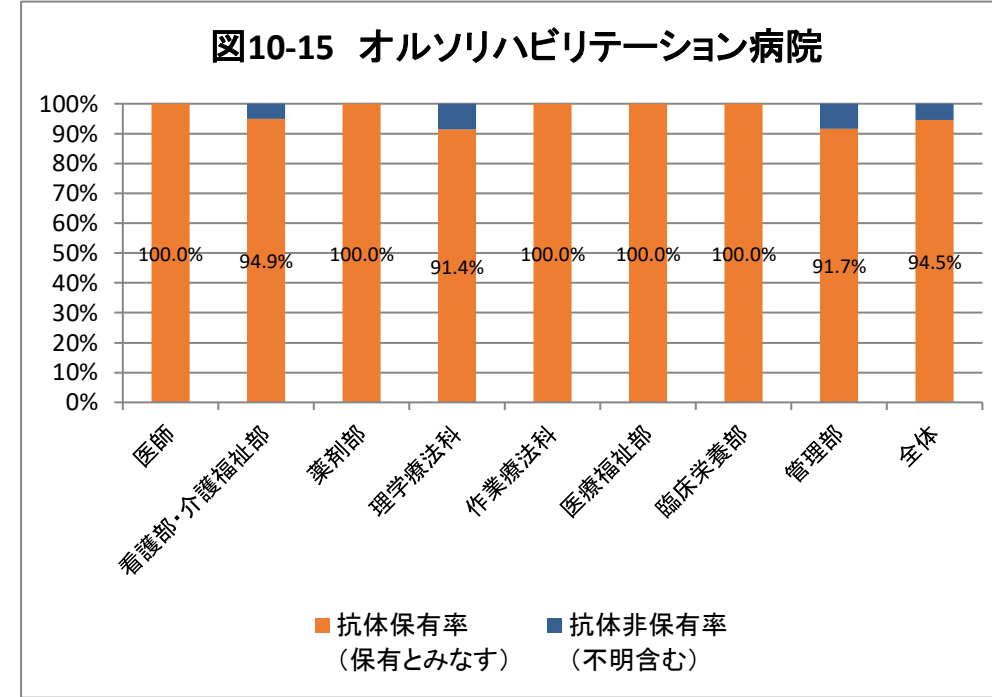
● 近森リハビリテーション病院
表8-14

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	1	7	85.7%	14.3%
看護部・介護福祉部	126	8	134	94.0%	6.0%
臨床心理士	1	1	2	50.0%	50.0%
薬剤部	4	1	5	80.0%	20.0%
理学療法科	51	4	55	92.7%	7.3%
作業療法科	46	4	50	92.0%	8.0%
言語療法科	17	1	18	94.4%	5.6%
医療福祉部	6	0	6	100.0%	0.0%
臨床栄養部	4	0	4	100.0%	0.0%
管理部	7	0	7	100.0%	0.0%
全体	268	20	288	93.1%	6.9%



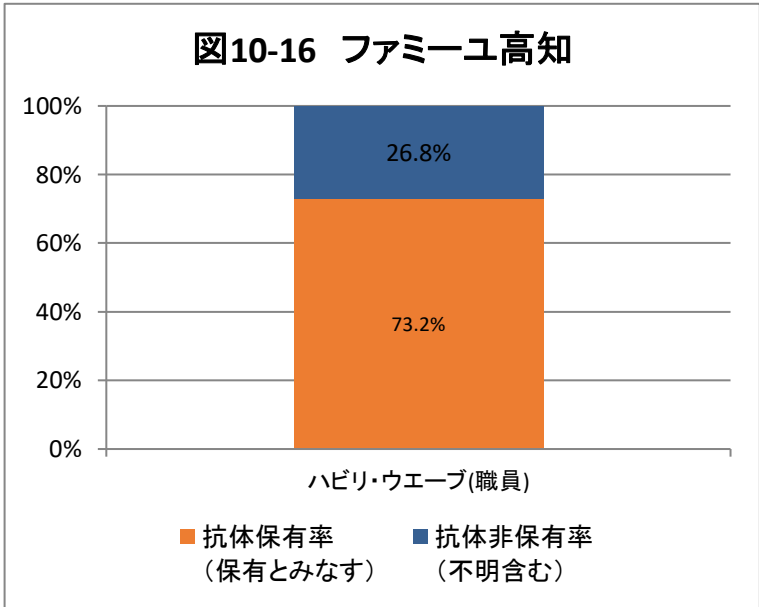
● オルソリハビリテーション病院
表8-15

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
医師	6	0	6	100.0%	0.0%
看護部・介護福祉部	75	4	79	94.9%	5.1%
薬剤部	2	0	2	100.0%	0.0%
理学療法科	32	3	35	91.4%	8.6%
作業療法科	8	0	8	100.0%	0.0%
医療福祉部	2	0	2	100.0%	0.0%
臨床栄養部	2	0	2	100.0%	0.0%
管理部	11	1	12	91.7%	8.3%
全体	138	8	146	94.5%	5.5%



● ファミージュ高知
表8-16

	抗体保有と みなす	抗体非保有	免疫確 認 対象者	抗体保有率 (保有とみな す)	抗体非保有率 (不明含む)
ハビリ・ウエーブ(職員)	60	22	82	73.2%	26.8%
全体	60	22	82	73.2%	26.8%



補足

2024年2月22日時点在職者対象
抗体保有とは・・・抗体価陽性(基準を満たす)または規定のワクチン接種回数を満たしている
2015年9月1日～2017年10月31日のファミージュ入職者は免疫確認対象外であった為、免除となっている。

■ T-SPOT.TB検査 (IGRA) ■

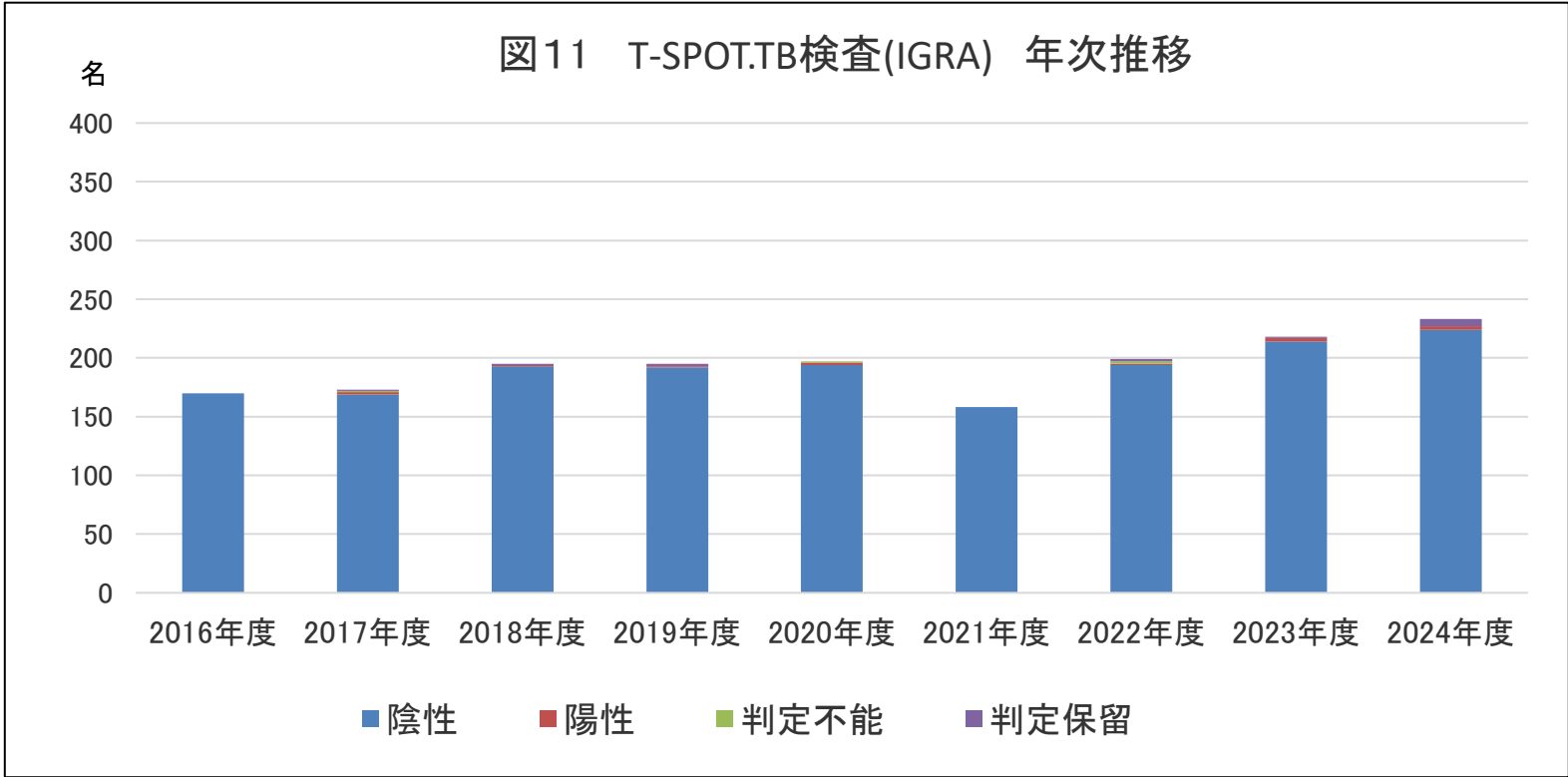


表9

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
陰性	170	169	193	192	194	158	194	214	224
陽性	0	2	1	1	2	0	1	3	3
判定不能	0	1	0	0	1	0	2	0	0
判定保留	0	1	1	2	0	0	2	1	6

■インフルエンザワクチン接種■

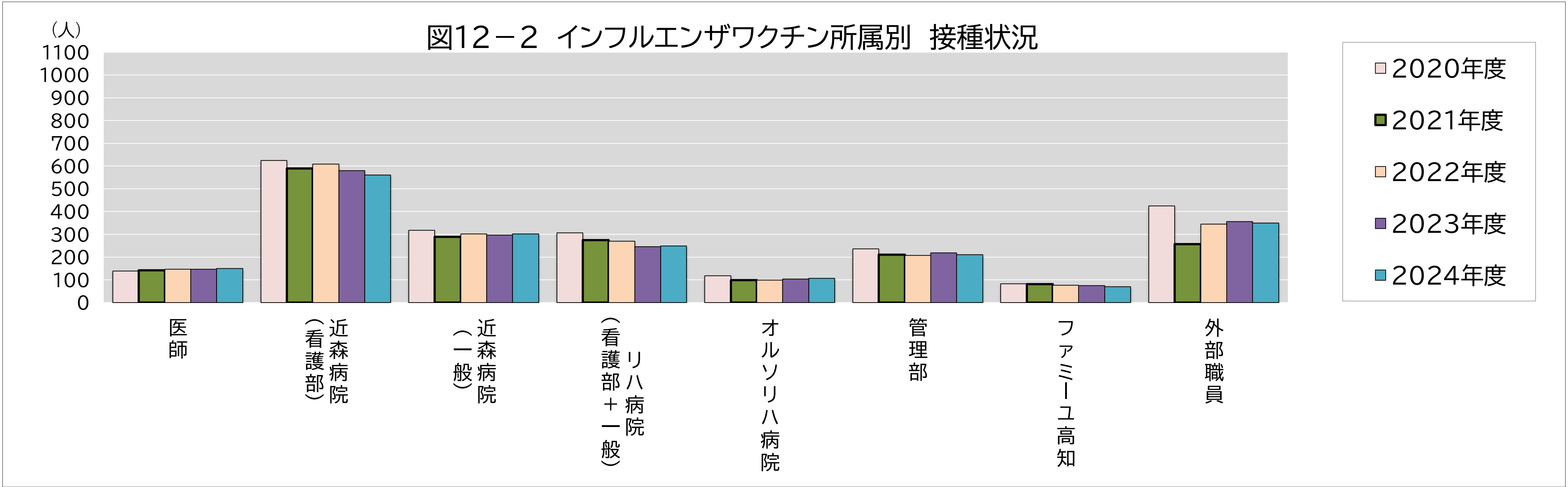
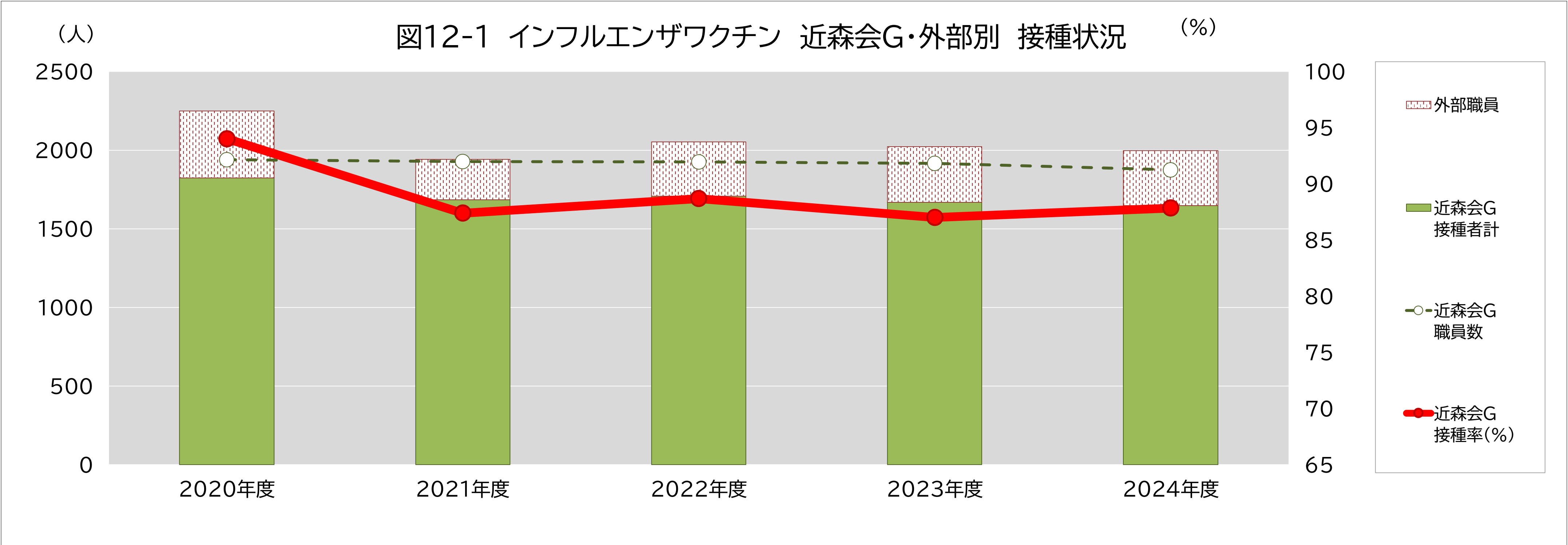


表10-1 接種者数の推移

所属、部署など	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医師	138	141	146	147	149
近森病院(看護部)	625	589	608	580	561
近森病院(一般)	318	288	301	297	301
リハ病院(看護部+一般)	307	275	269	246	249
オルソリハ病院	117	99	99	103	107
管理部	236	211	208	219	210
ファミリー高知	82	81	77	75	70
外部職員	424	257	344	356	349
近森会G接種者計	1823	1684	1708	1667	1647
接種者総合計	2247	1941	2052	2023	1996
近森会G接種率(%)	94.0	87.4	88.7	87.0	87.8

図12-3 インフルエンザワクチン 所属別 割合(%)

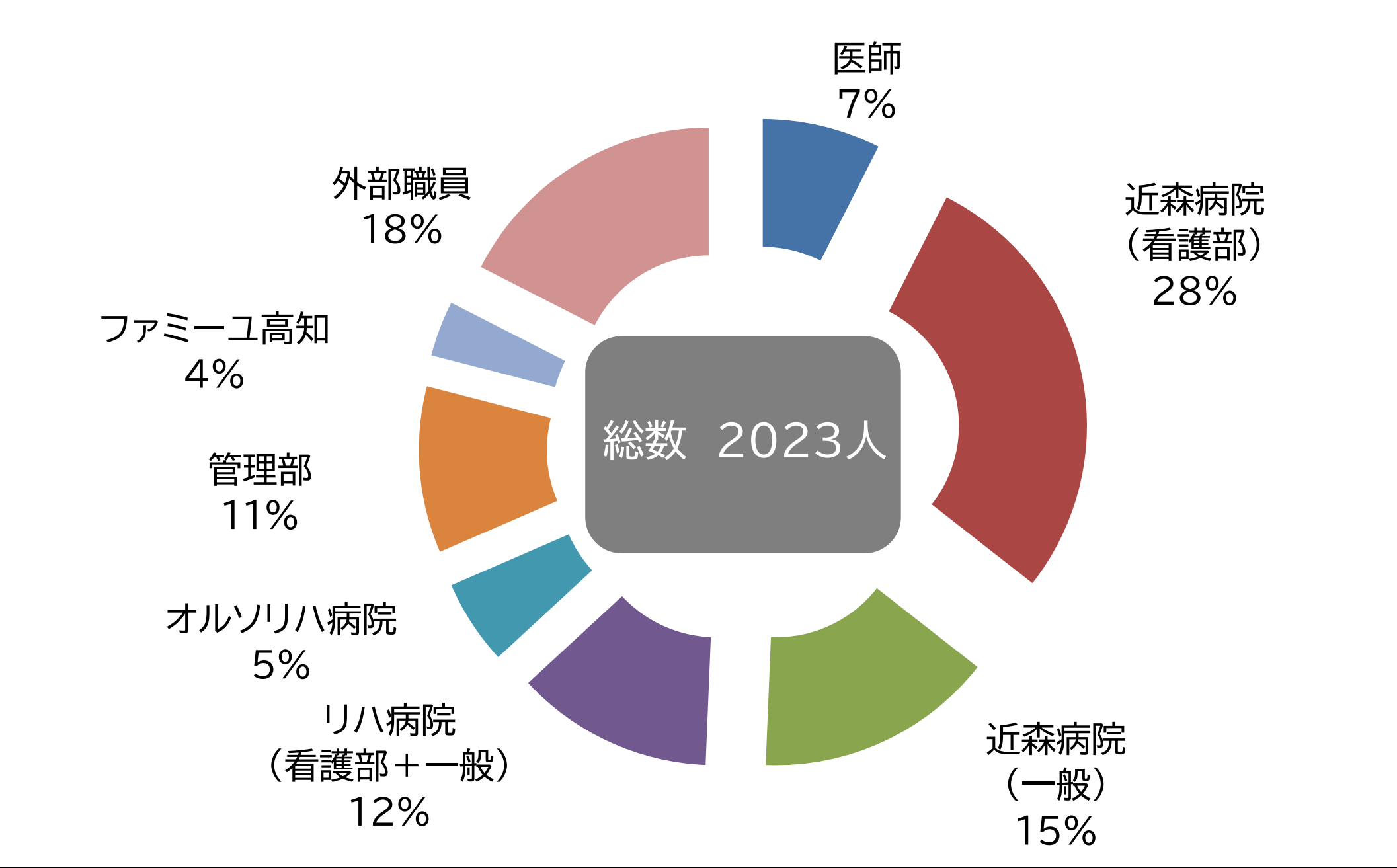


表10-2 病院別接種率

2024年	近森病院(管理部含む)	リハ病院	オルソリハ病院	ファミリー高知	近森会G合計
対象者	1374	280	127	94	1875
接種者	1209	255	113	70	1647
接種率(%)	88.0	91.1	89.0	74.5	87.8

図12-4 インフルエンザワクチン 病院別 接種状況 (%)

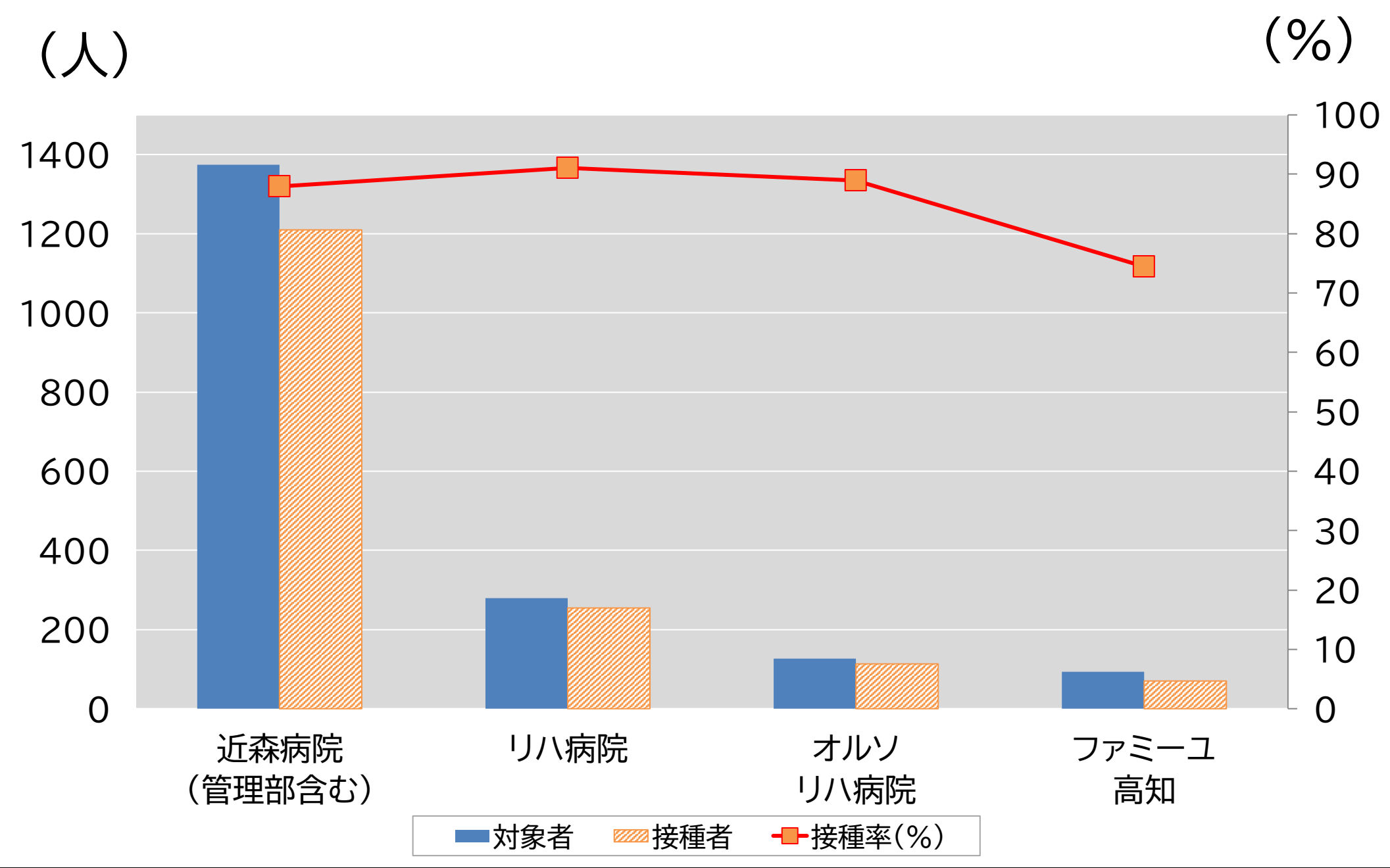


表10-3 職種別接種率（近森病院）

	職員数	接種人数	接種率
医師	158	137	87%
看護部・介護福祉部	616	561	91%
臨床心理士	3	3	100%
薬剤部	42	40	95%
画像診断部	36	28	78%
検査部	54	51	94%
臨床工学技士	42	34	81%
理学療法科	64	56	88%
作業療法科	28	28	100%
言語療法科	9	6	67%
医療福祉部	17	17	100%
臨床栄養部	27	25	93%
看護学校設立事務局	14	13	93%
管理部（リハ・オルソ含む）	264	210	80%
合計	1374	1209	88.0%

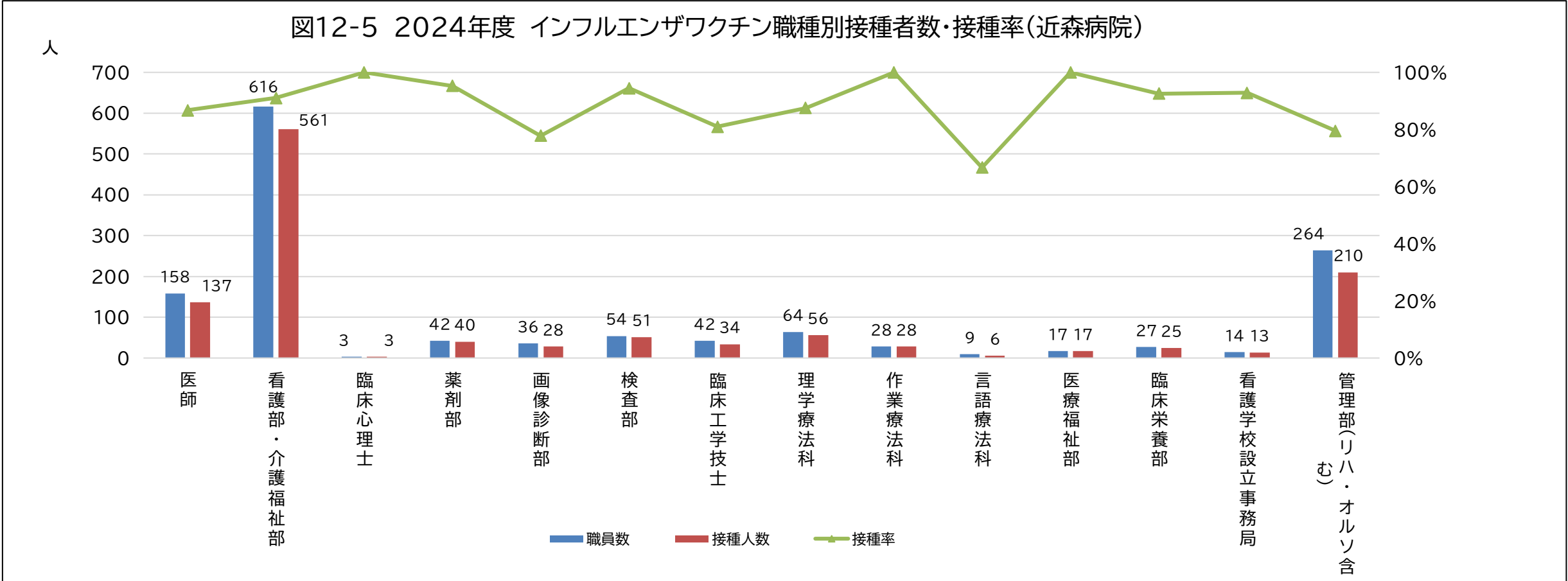


表10-4 職種別接種率（リハ病院）

	職員数	接種人数	接種率
医師	7	6	86%
看護部・介護福祉部	130	119	92%
理学療法科	57	51	89%
作業療法科	47	43	91%
言語療法科	20	17	85%
臨床心理士	2	2	100%
薬剤部	5	5	100%
臨床栄養部	6	6	100%
医療福祉部	6	6	100%
合計	280	255	91.1%

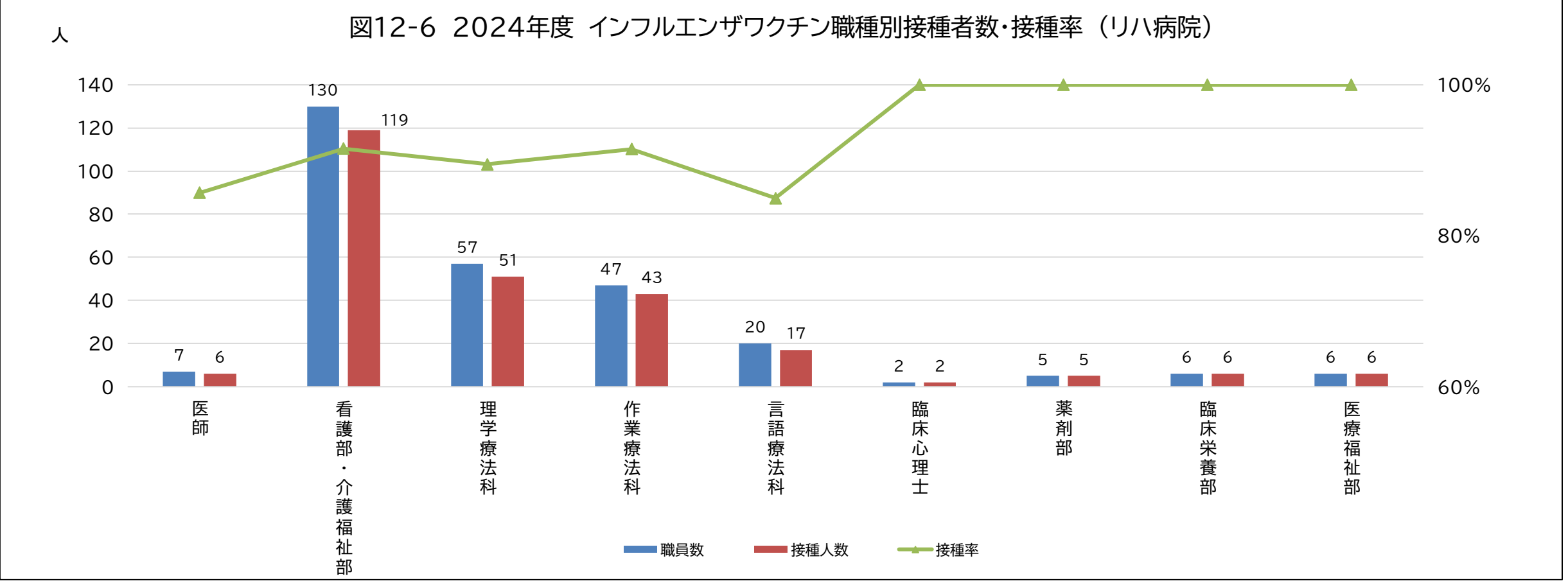
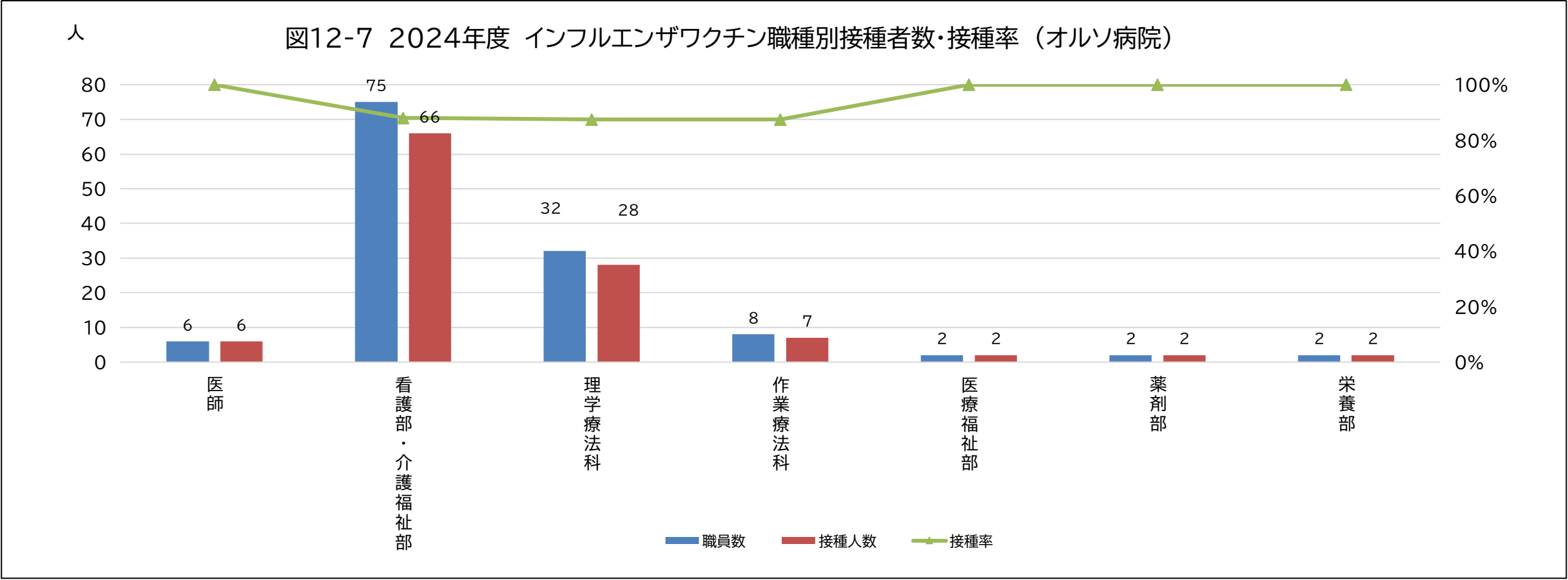


表10-5 職種別接種率（オルソ病院）

	職員数	接種人数	接種率
医師	6	6	100%
看護部・介護福祉部	75	66	88%
理学療法科	32	28	88%
作業療法科	8	7	88%
医療福祉部	2	2	100%
薬剤部	2	2	100%
栄養部	2	2	100%
合計	127	113	89.0%



■子宮頸がんワクチン接種■（2025年3月現在）

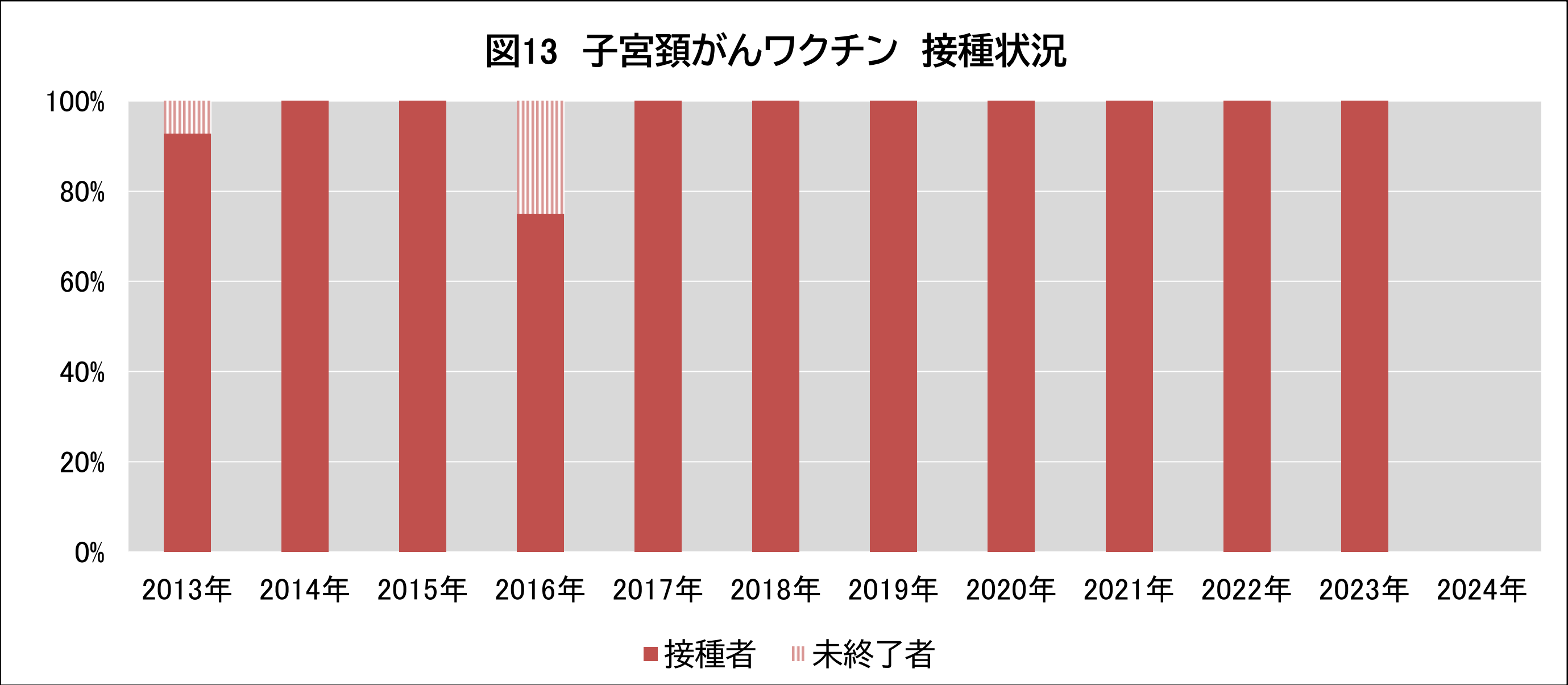
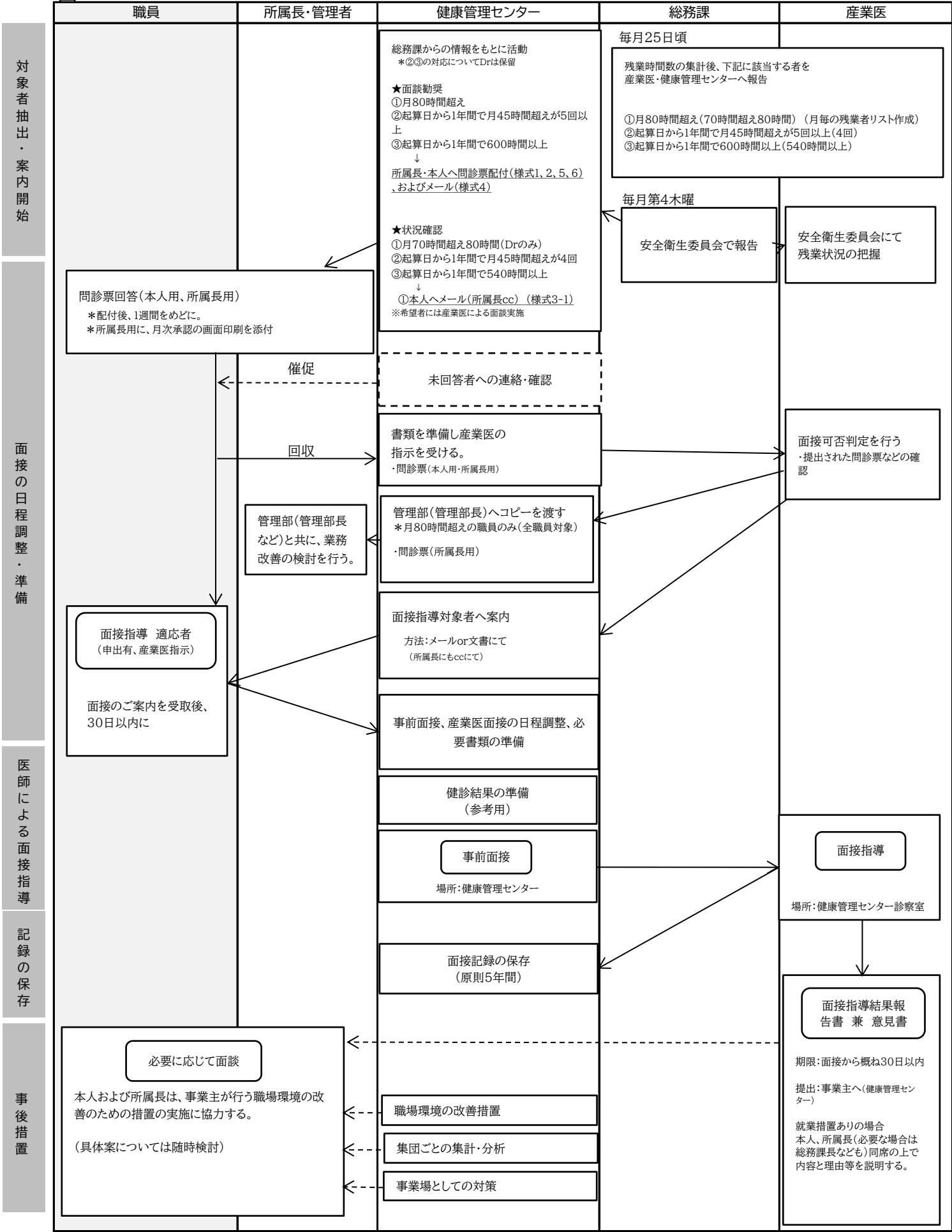


表11

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
未終了者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
接種者	13	2	3	3	1	6	1	2	2	1	1	0
申し込み者数	14	3	3	4	1	6	1	2	2	1	1	0
接種終了率	92.9	66.7	100.0	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-

※未終了者
…退職・妊娠・体調不良のためキャンセルを含む。
接種が延期となった方については、次年度以降の接種時に対応中。

図14



■ 2024年度 近森会グループ 職員の喫煙率 ■

2025.3.1時点(2024年度上期健康測定より)

表12-1 男性喫煙者数(名) * ()内は問診回答者数:無回答者除く

男性	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2013年	52(176)	32(118)	12(58)	5(22)	4(19)	105(393)
2014年	58(198)	32(117)	13(59)	9(29)	6(28)	118(431)
2015年	60(230)	39(161)	25(99)	9(43)	6(39)	139(572)
2016年	57(218)	51(190)	25(96)	8(49)	6(42)	147(595)
2017年	40(192)	54(182)	22(109)	9(49)	9(50)	134(582)
2018年	32(188)	44(190)	25(108)	6(45)	7(53)	114(584)
2019年	27(177)	40(195)	23(108)	4(43)	9(65)	103(588)
2020年	29(177)	32(181)	23(109)	6(44)	5(59)	95(570)
2021年	26(175)	26(174)	25(121)	5(46)	5(59)	87(575)
2022年	28(165)	28(180)	28(122)	11(62)	7(59)	103(588)
2023年	30(158)	24(168)	30(125)	12(63)	8(55)	99(569)
2024年	31(154)	28(174)	31(119)	13(70)	8(54)	114(571)

表12-4 男性喫煙率 (%) *問診回答者より集計

男性	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2013年	29.5%	27.1%	20.7%	22.7%	13.3%	26.7%
2014年	29.3%	27.4%	22.0%	31.0%	21.4%	27.4%
2015年	26.1%	24.2%	25.3%	20.9%	15.4%	24.3%
2016年	26.1%	26.8%	26.0%	16.3%	14.3%	24.7%
2017年	20.8%	29.7%	20.2%	18.4%	18.0%	23.0%
2018年	17.0%	23.2%	23.1%	13.3%	13.2%	19.5%
2019年	15.3%	20.5%	21.3%	9.3%	13.8%	17.5%
2020年	16.4%	17.7%	21.1%	13.6%	8.5%	16.7%
2021年	14.9%	14.9%	20.7%	10.9%	8.5%	15.1%
2022年	17.0%	15.6%	23.0%	17.7%	11.9%	17.5%
2023年	19.0%	14.3%	24.0%	19.0%	14.5%	17.4%
2024年	20.1%	16.1%	26.1%	18.6%	14.8%	20.0%
全国平均 (2023年)	20.6%	29.9%	33.4%	31.5%	21.0%	25.6%

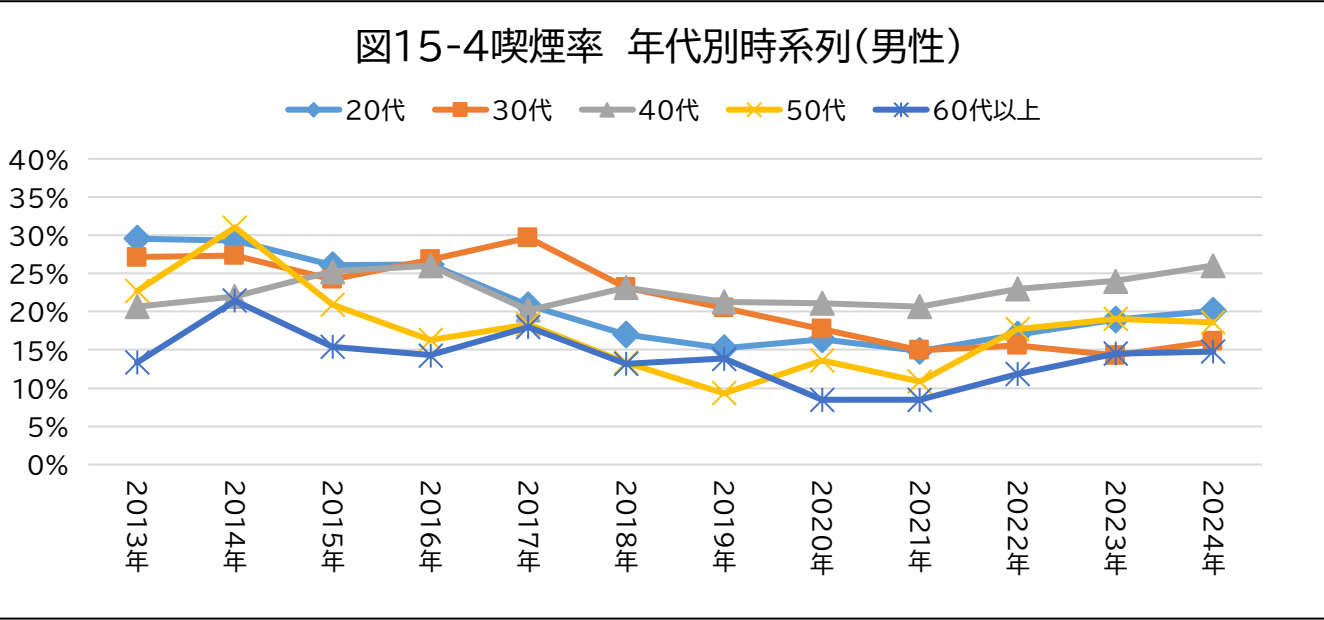
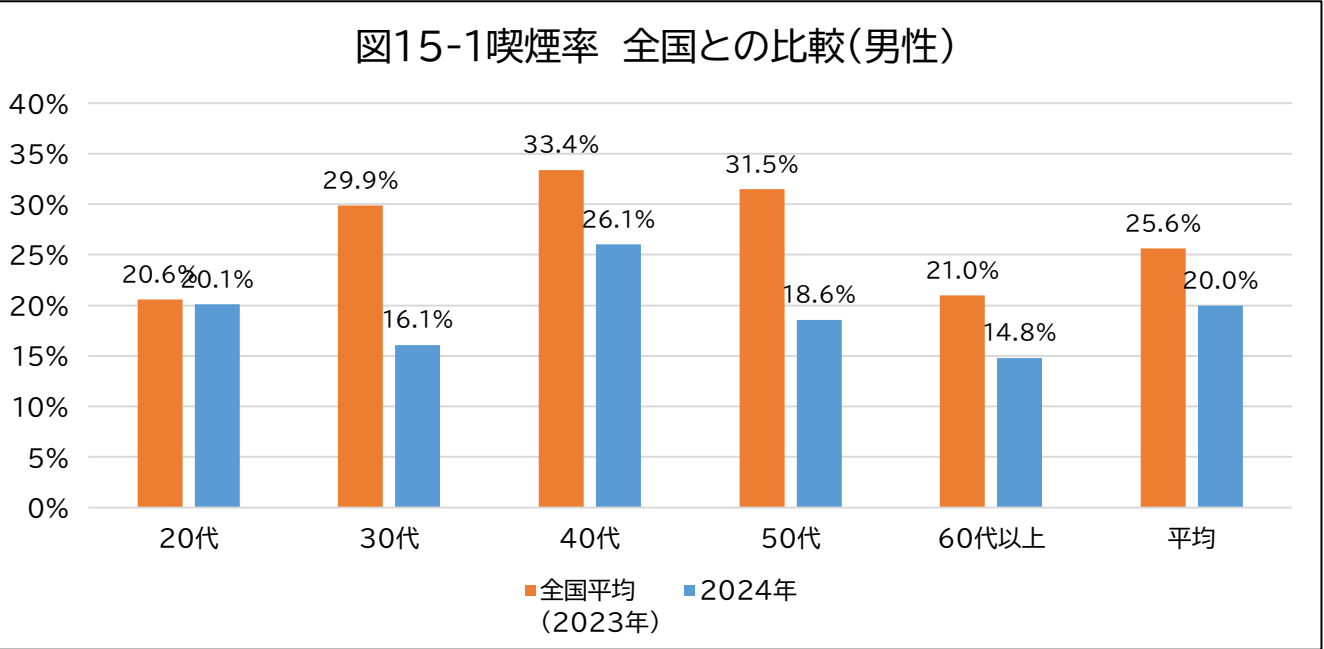


表12-2 女性喫煙者数(名)

女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2013年	34(394)	42(334)	29(176)	6(69)	1(32)	112(1005)
2014年	31(425)	37(366)	29(203)	9(81)	1(34)	107(1109)
2015年	32(488)	39(413)	54(260)	13(107)	0(33)	138(1301)
2016年	28(474)	40(425)	50(270)	12(113)	1(38)	131(1320)
2017年	23(452)	30(412)	46(280)	16(124)	2(40)	117(1308)
2018年	16(419)	22(404)	39(291)	15(144)	2(34)	94(1292)
2019年	14(425)	20(405)	37(288)	15(144)	1(35)	87(1297)
2020年	9(400)	21(396)	28(297)	21(155)	2(40)	81(1289)
2021年	13(378)	14(372)	25(304)	21(157)	3(46)	76(1258)
2022年	9(368)	9(366)	28(322)	17(160)	2(55)	65(1272)
2023年	10(388)	8(338)	22(314)	20(167)	5(61)	65(1268)
2024年	14(363)	9(298)	19(328)	21(185)	7(76)	70(1250)

表12-5 女性喫煙率 (%)

女性	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2013年	8.6%	12.6%	16.5%	8.7%	3.1%	11.1%
2014年	7.3%	10.1%	14.3%	11.1%	2.9%	9.6%
2015年	6.6%	9.4%	20.8%	12.1%	0.0%	10.6%
2016年	5.9%	9.4%	18.5%	10.6%	2.6%	9.9%
2017年	5.1%	7.3%	16.4%	12.9%	5.0%	8.9%
2018年	3.8%	5.4%	13.4%	10.4%	5.9%	7.3%
2019年	3.3%	4.9%	12.8%	10.4%	2.9%	6.7%
2020年	2.3%	5.3%	9.4%	13.5%	5.0%	6.3%
2021年	3.4%	3.8%	8.2%	13.4%	6.5%	6.0%
2022年	2.4%	2.5%	8.7%	10.6%	3.6%	5.1%
2023年	2.6%	2.4%	7.0%	12.0%	8.2%	5.1%
2024年	3.9%	3.0%	5.8%	11.4%	9.2%	5.6%
全国平均 (2023年)	5.2%	8.7%	10.1%	11.7%	4.1%	6.9%

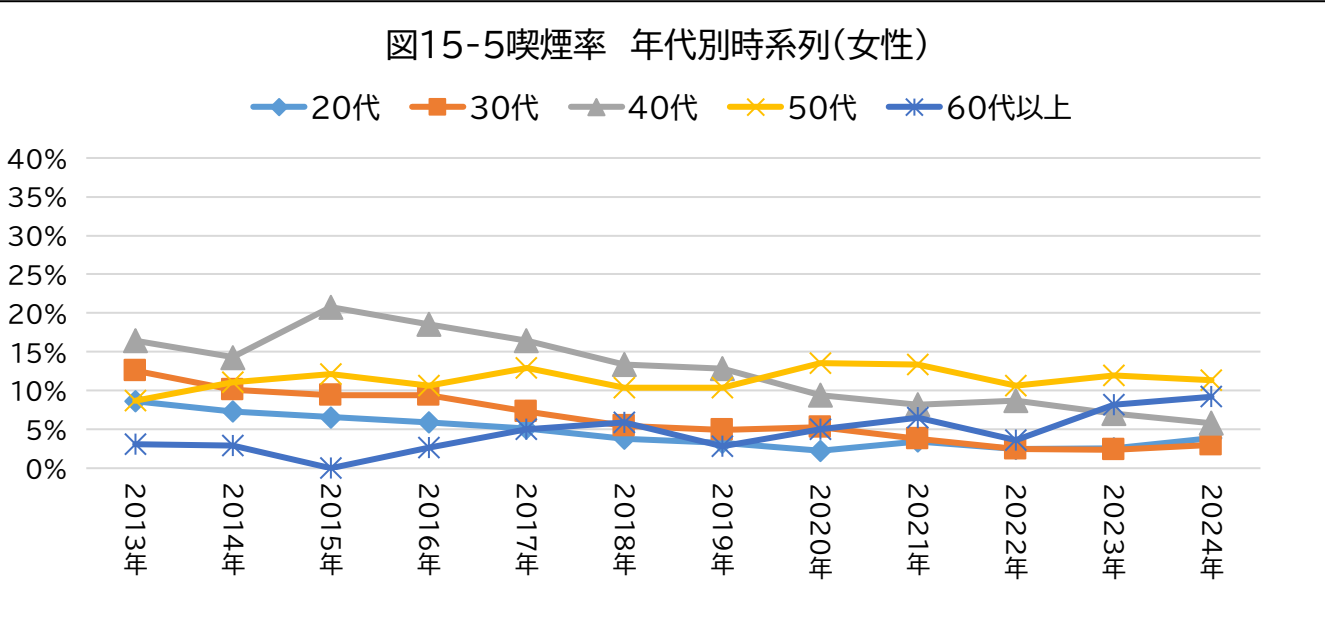
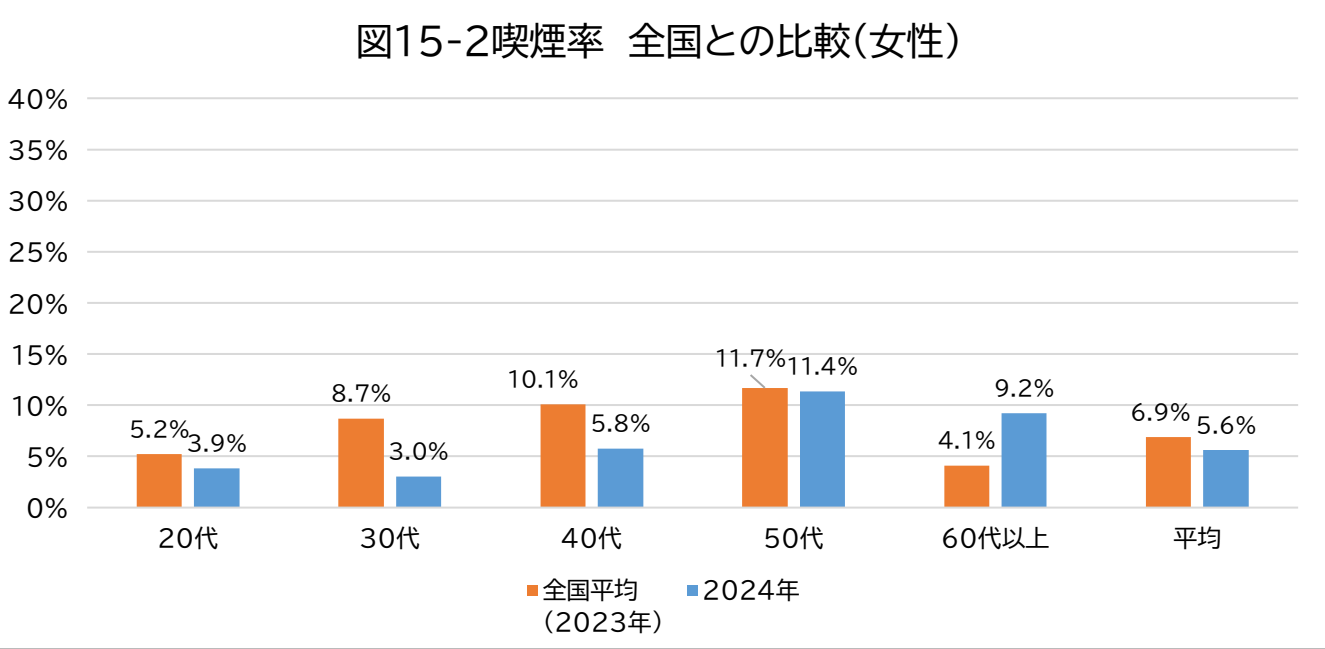
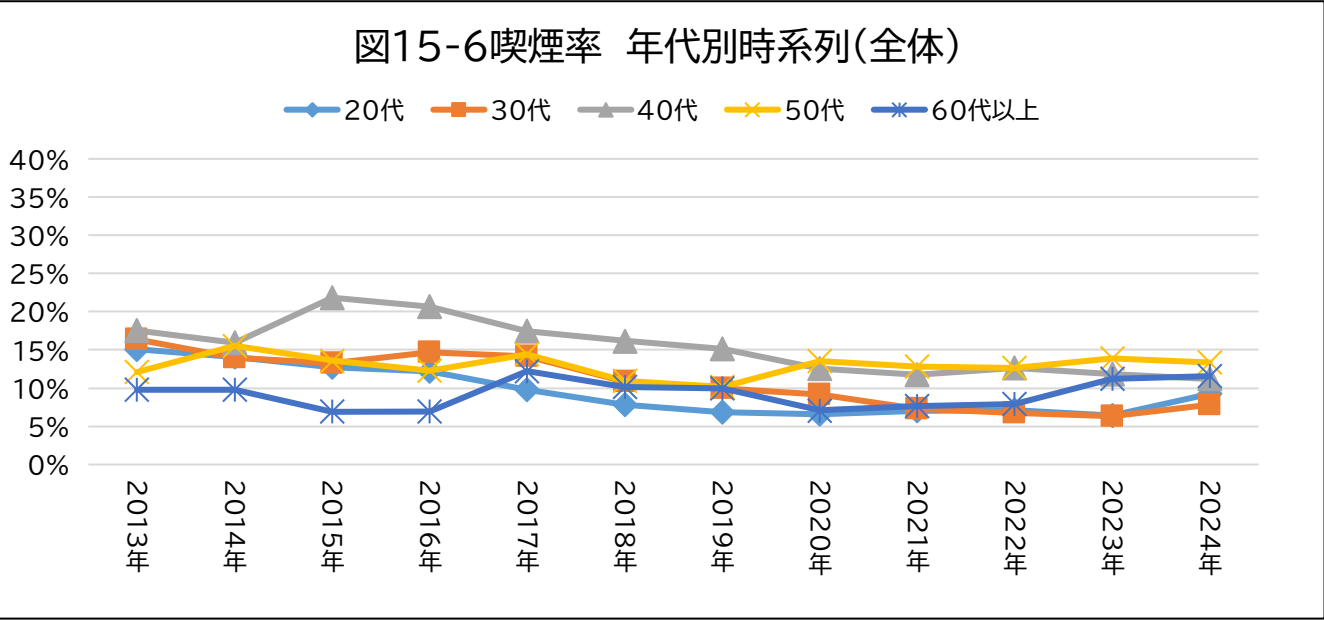
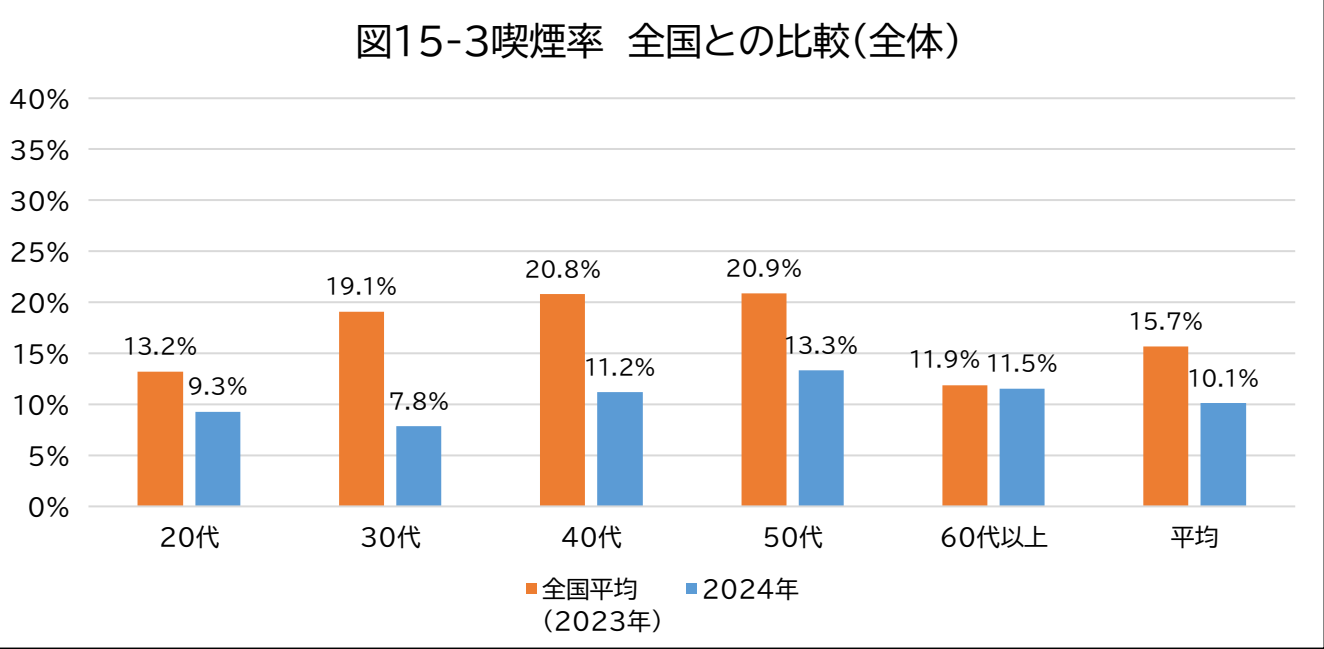


表12-3 全体喫煙者数(名)

全体	20代	30代	40代	50代	60代以上	喫煙者計
2013年	86(570)	74(452)	41(234)	11(91)	5(51)	217(1398)
2014年	89(623)	69(483)	42(262)	18(110)	7(62)	225(1540)
2015年	92(718)	78(574)	79(359)	22(150)	6(72)	277(1873)
2016年	85(692)	91(615)	75(366)	20(162)	7(80)	278(1915)
2017年	63(644)	84(594)	68(389)	25(173)	11(90)	251(1890)
2018年	48(607)	66(594)	64((399)	21(189)	9(87)	208(1876)
2019年	41(602)	60(600)	60(396)	19(187)	10(100)	190(1885)
2020年	38(577)	53(577)	51(406)	27(199)	7(99)	176(1859)
2021年	39(553)	40(546)	50(425)	26(203)	8(105)	163(1833)
2022年	38(533)	37(546)	56(444)	28(222)	9(114)	168(1860)
2023年	35(546)	32(506)	52(439)	32(230)	13(116)	164(1837)
2024年	48(517)	37(472)	50(447)	34(255)	15(130)	184(1821)

表12-6 全体喫煙率 (%)

全体	20代	30代	40代	50代	60代以上	平均
2013年	15.1%	16.4%	17.5%	12.1%	9.8%	15.5%
2014年	14.0%	13.9%	15.9%	15.5%	9.8%	14.6%
2015年	12.8%	13.2%	21.8%	13.6%	6.9%	14.8%
2016年	12.2%	14.7%	20.7%	12.3%	6.9%	14.5%
2017年	9.8%	14.1%	17.5%	14.5%	12.2%	13.3%
2018年	7.8%	10.8%	16.2%	11.0%	10.1%	11.1%
2019年	6.8%	10.0%	15.2%	10.2%	10.0%	10.1%
2020年	6.6%	9.2%	12.6%	13.6%	7.1%	9.5%
2021年	7.1%	7.3%	11.8%	12.8%	7.6%	8.9%
2022年	7.1%	6.8%	12.6%	12.6%	7.9%	9.0%
2023年	6.4%	6.3%	11.8%	13.9%	11.2%	8.9%
2024年	9.3%	7.8%	11.2%	13.3%	11.5%	10.1%
全国平均 (2023年)	13.2%	19.1%	20.8%	20.9%	11.9%	15.7%

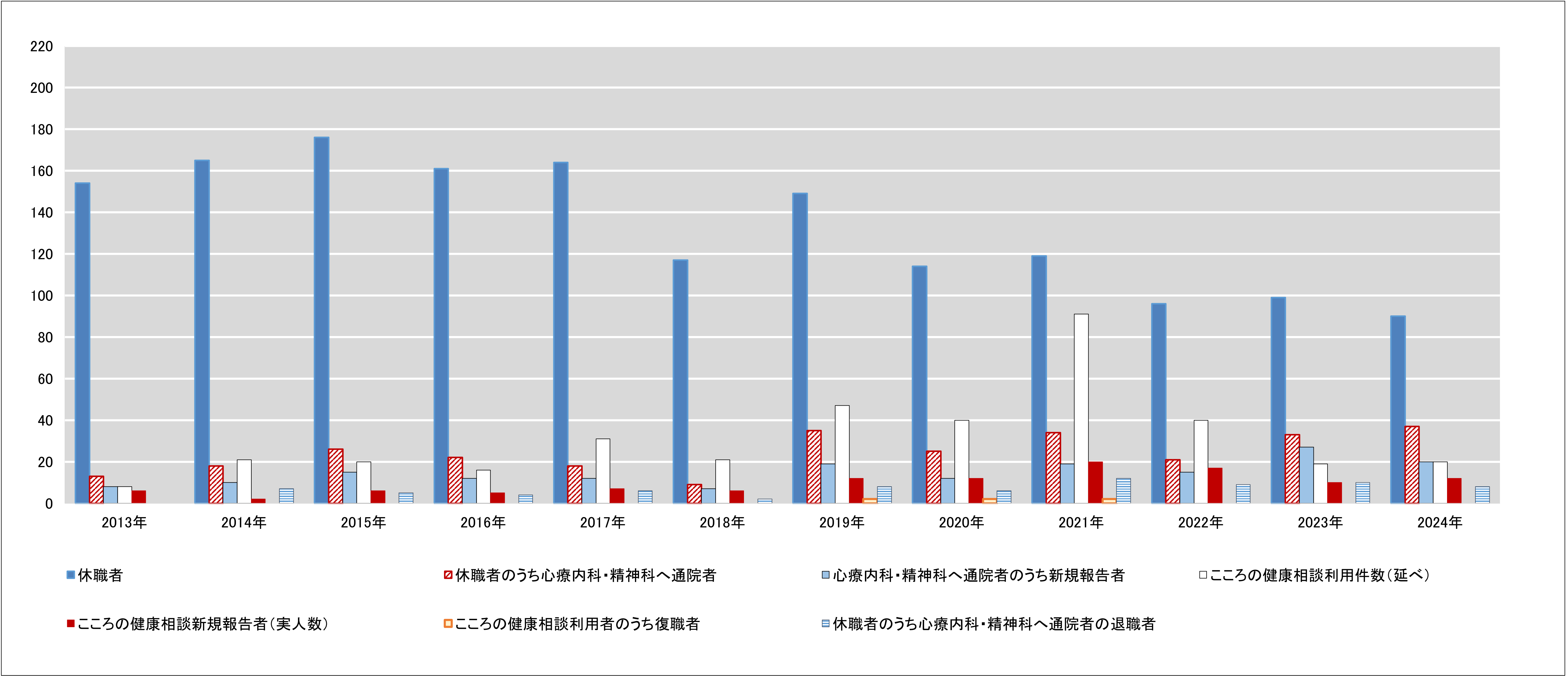


■休職者、こころの健康相談件数 年次推移（2025年3月1日時点）■

表13

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	合計
休職者	154	165	176	161	164	117	149	114	119	96	99	90	1604
休職者のうち心療内科・精神科へ通院者	13	18	26	22	18	9	35	25	34	21	33	37	291
心療内科・精神科へ通院者のうち新規報告者	8	10	15	12	12	7	19	12	19	15	27	20	176
こころの健康相談利用件数（延べ）	8	21	20	16	31	21	47	40	91	40	19	20	374
こころの健康相談新規報告者（実人数）	6	2	6	5	7	6	12	12	20	17	10	12	115
こころの健康相談利用者のうち復職者	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	6
休職者のうち心療内科・精神科へ通院者の退職者		7	5	4	6	2	8	6	12	9	10	8	77

図16 休職者、こころの健康相談件数 年次推移



* 休職者数に関しては月に出た診断書の合計で1ヶ月に2通以上出た人は重ならないようにしています。
* 休職者のうち心療内科・精神科へ通院者の退職者は2014年度より統計へ追加

ストレスチェック受検率 年次推移(全体・施設別)

表14-1 近森会G(全体)

*労基への報告数

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出	受検者のうち 医師面接 の実施者数 *
2023	1785	1711	1552	159	95.9	9.3	4(0.2%)	4(0.2%)
2024	1813	1732	1565	167	95.5	9.6	7(0.4%)	2(0.1%)

図17-1 近森会G(全体) ストレスチェック受検率 年次推移

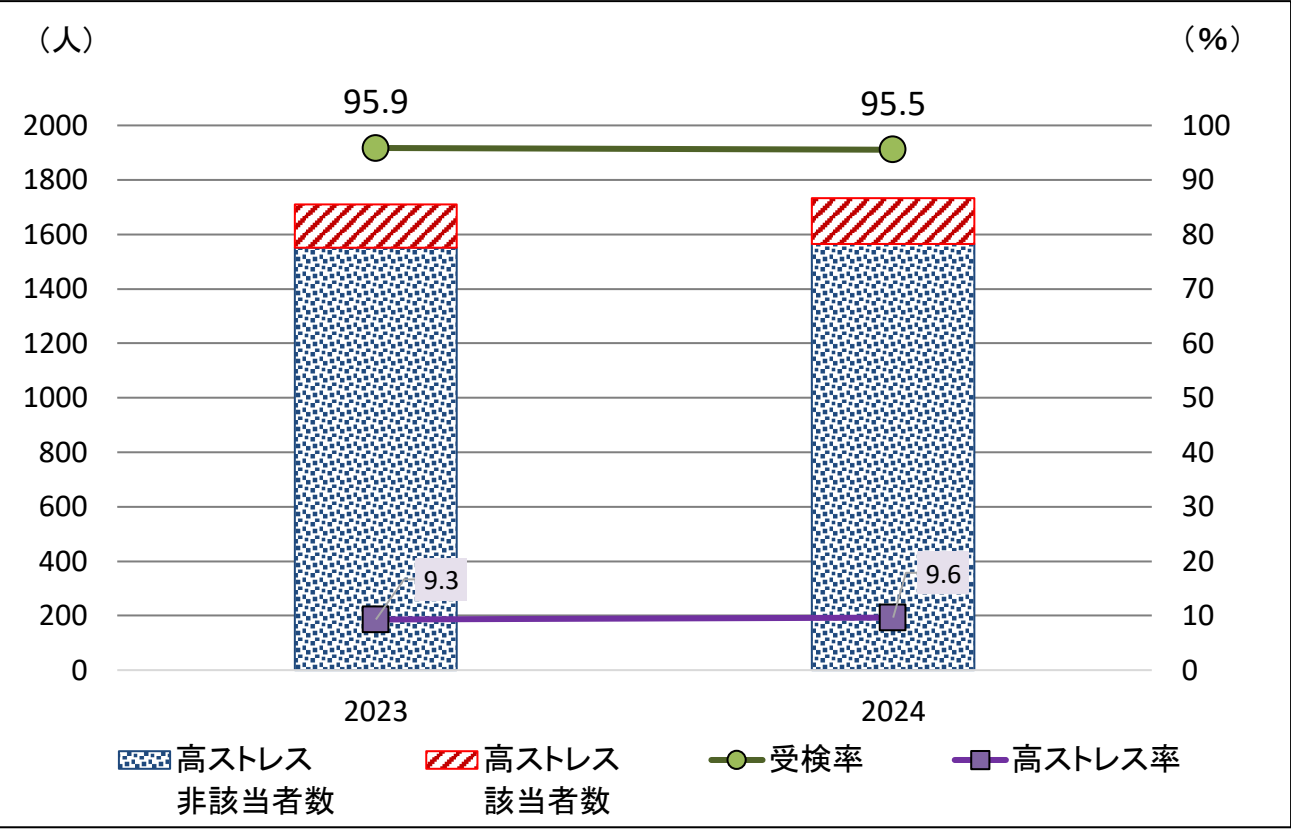


表14-2 近森病院

*労基への報告数

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出	受検者のうち 医師面接 の実施者数 *
2023	1290	1234	1116	118	95.7	9.6	3(0.2%)	3(0.2%)
2024	1313	1252	1122	130	95.4	10.4	4(0.3%)	2(0.2%)

図17-2 近森病院 ストレスチェック受検率 年次推移

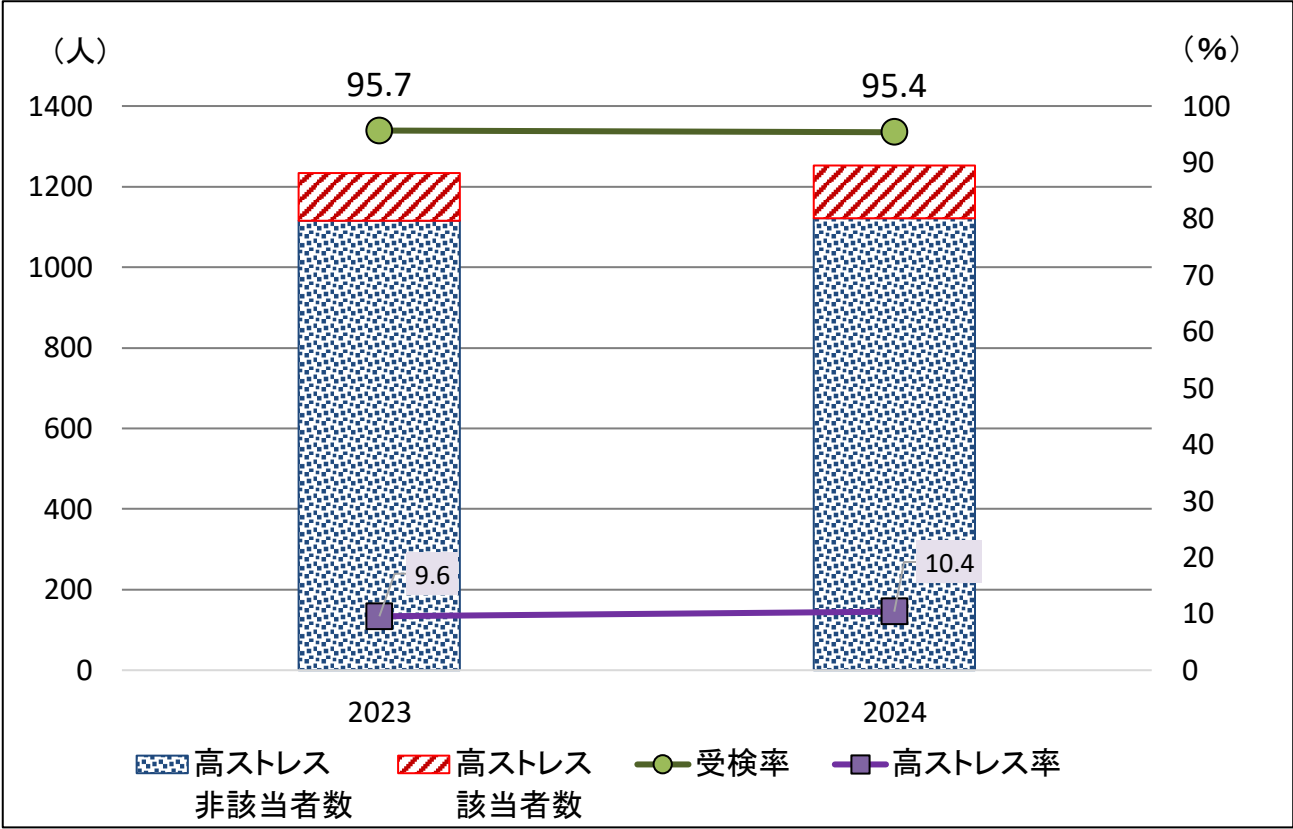


表14-3 リハ病院

*労基への報告数

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出	受検者のうち 医師面接 の実施者数 *
2023	284	273	250	23	96.1	8.4	0	0
2024	294	281	264	17	95.6	6.0	2(0.7%)	0

図17-3 リハ病院 ストレスチェック受検率 年次推移

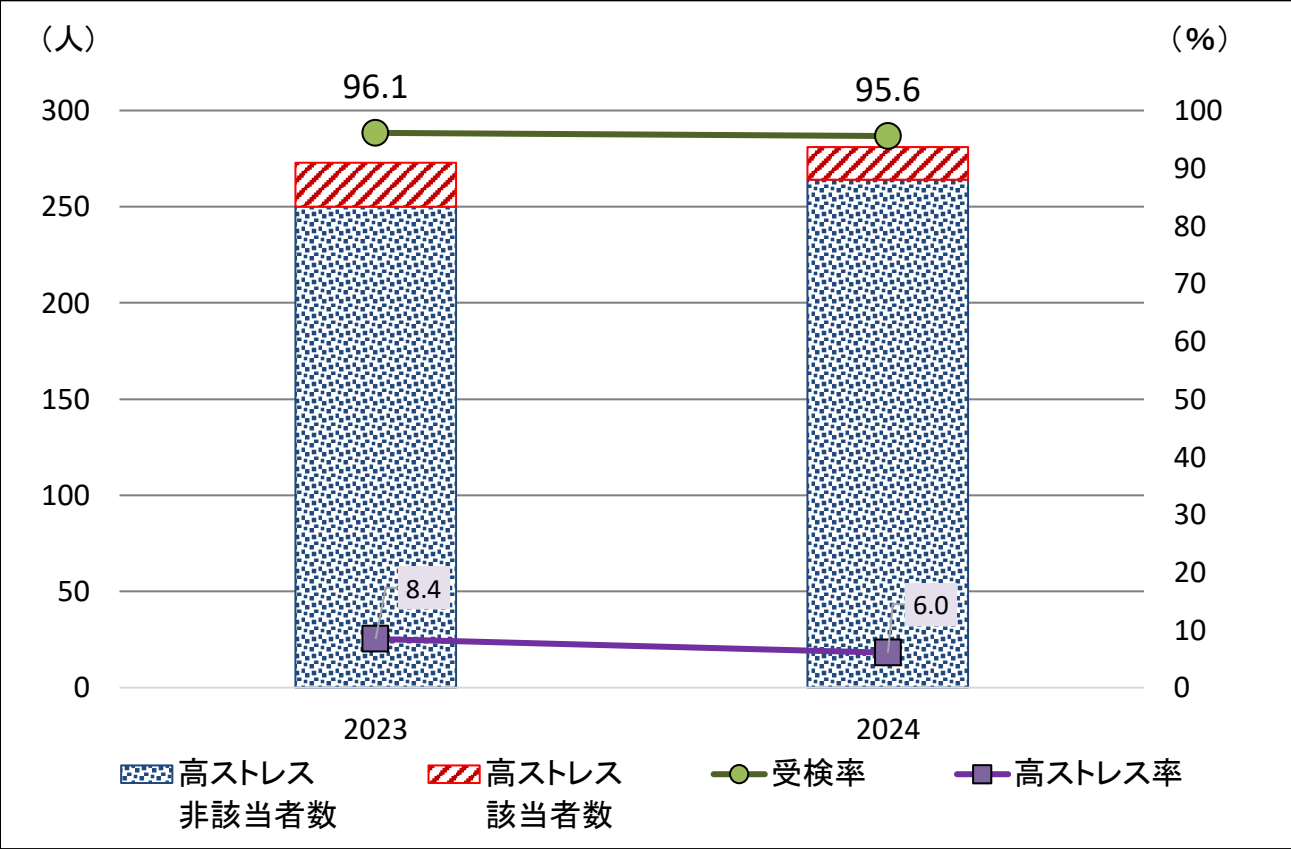


表14-4 オルソ病院

*労基への報告数

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出	受検者のうち 医師面接 の実施者数 *
2023	136	130	116	14	95.6	10.8	1(0.8%)	1(0.8%)
2024	137	131	118	13	95.6	9.9	0	0

図17-4 オルソ病院 ストレスチェック受検率 年次推移

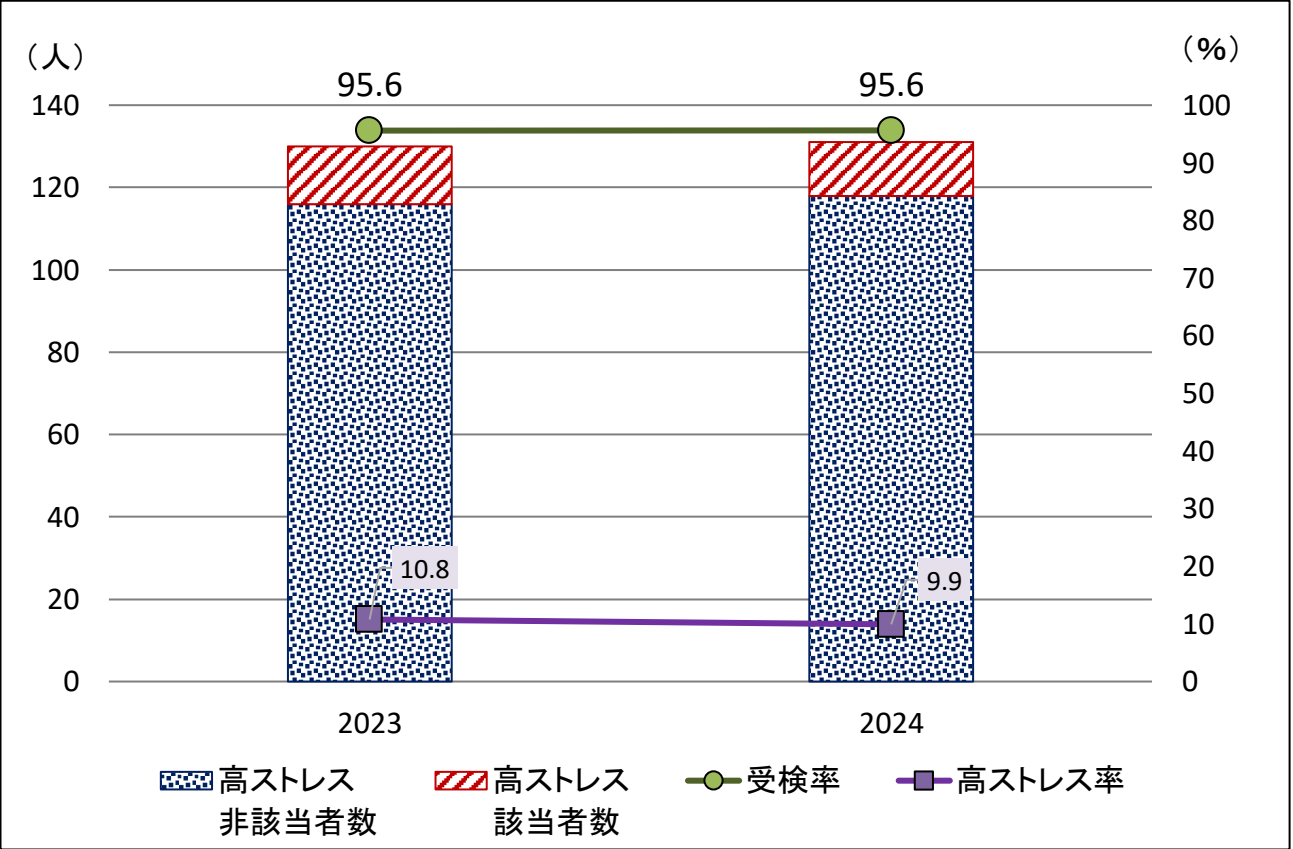
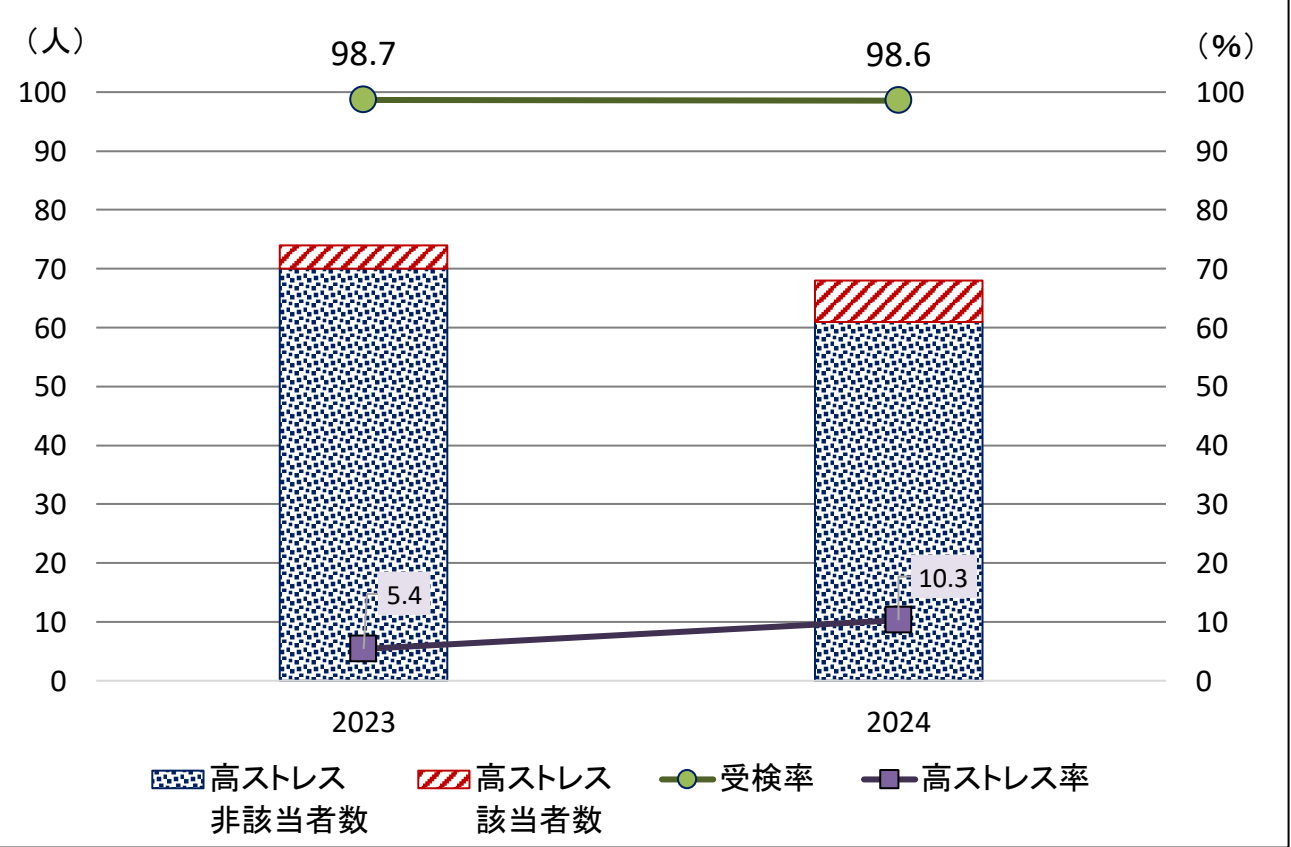


表14-5 ファミュー高知

*労基への報告数

	対象者数*	受検者数*	高ストレス 非該当者数	高ストレス 該当者数	受検率	高ストレス率	受検者のうち 面談申出	受検者のうち 医師面接 の実施者数 *
2023	75	74	70	4	98.7	5.4	0	0
2024	69	68	61	7	98.6	10.3	1(1.5%)	0

図17-5 ファミュー高知 ストレスチェック受検率 年次推移



■2024年度 労災発生状況

* 2025.3.1現在

●労災発生件数と介入件数

表15-1 近森会G（ファミーユ除く）労災発生割合

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
職員数	1812	1794	1779	1802	1808
労災発生件数	18	21	12	18	20
発生率	1.0	1.2	0.7	1.0	1.1

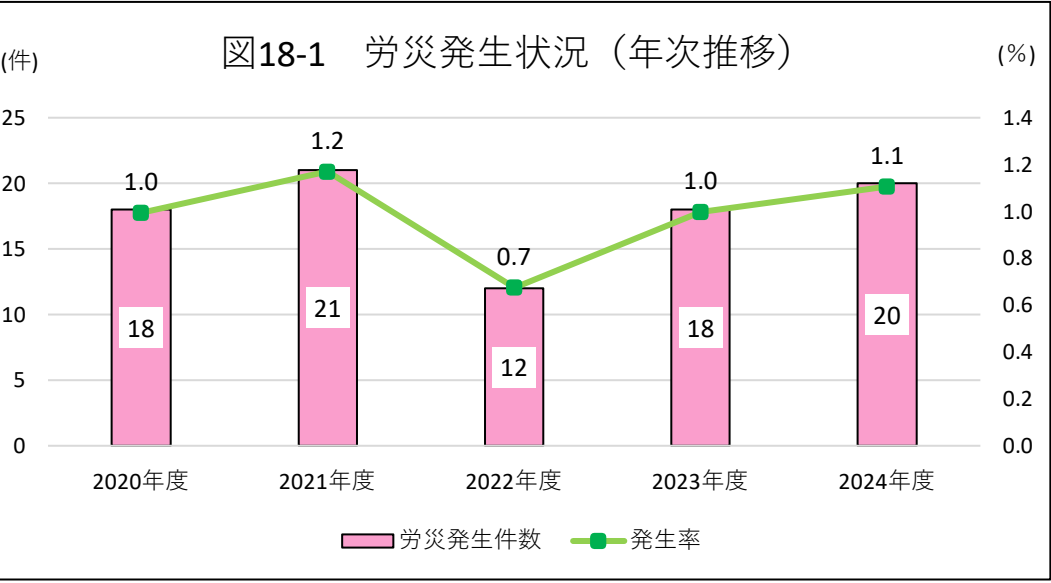
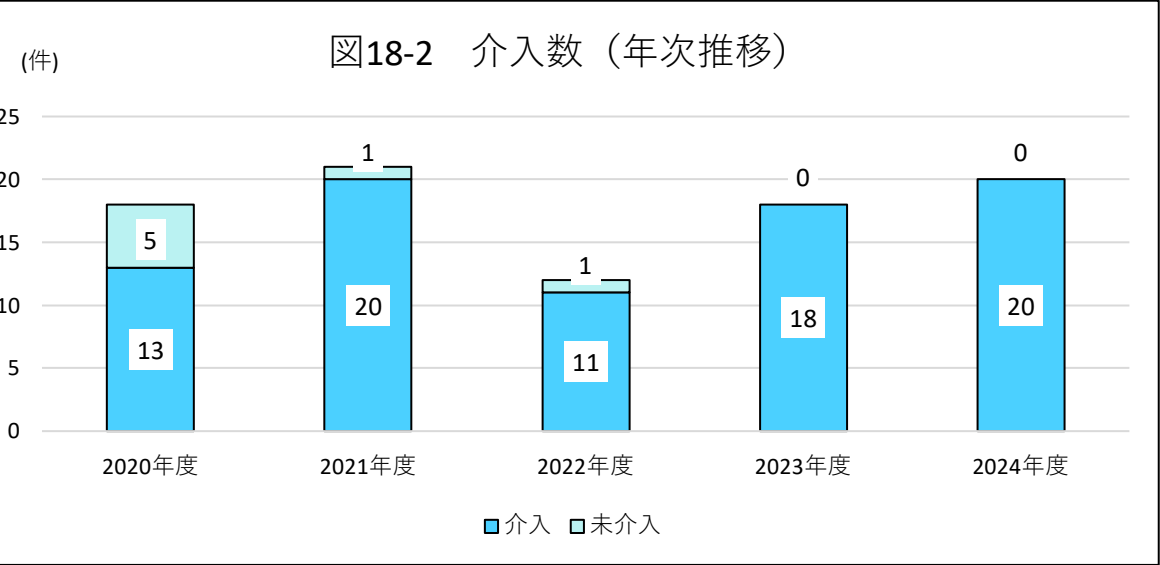


表15-2 介入件数

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
介入	13	20	11	18	20
未介入	5	1	1	0	0
合計	18	21	12	18	20



●各項目別労災発生件数

表15-3 【年代別】

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
20代	8	2	3	7	7
30代	3	7	3	5	2
40代	5	6	2	2	4
50代	1	3	2	3	5
60代以上	1	3	2	1	2
合計	18	21	12	18	20

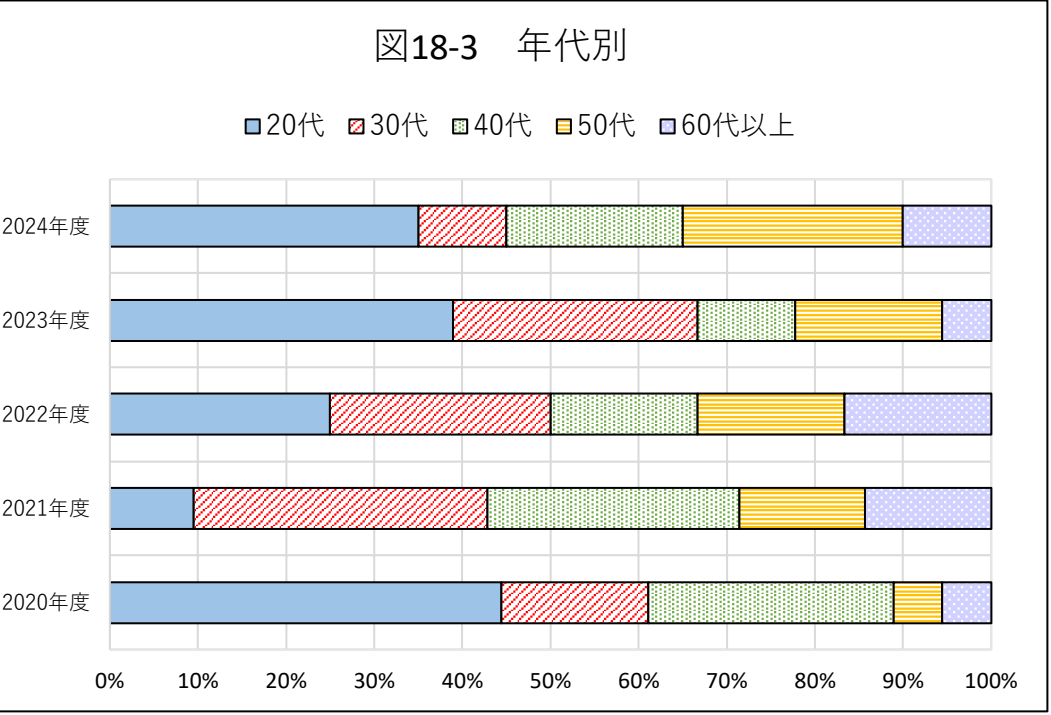


表15-4 【職種別】

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
医師	2	1	1	0	2
看護師(補助・介護士含む)	9	9	4	8	9
PT・OT・ST	5	6	5	7	3
事務	2	3	2	3	5
臨床工学技師	0	0	0	0	0
臨床検査技師	0	1	0	0	0
診療放射線技師	0	1	0	0	1
薬剤師	0	0	0	0	0
栄養士	0	0	0	0	0
心理士・SW	0	0	0	0	0
合計	18	21	12	18	20

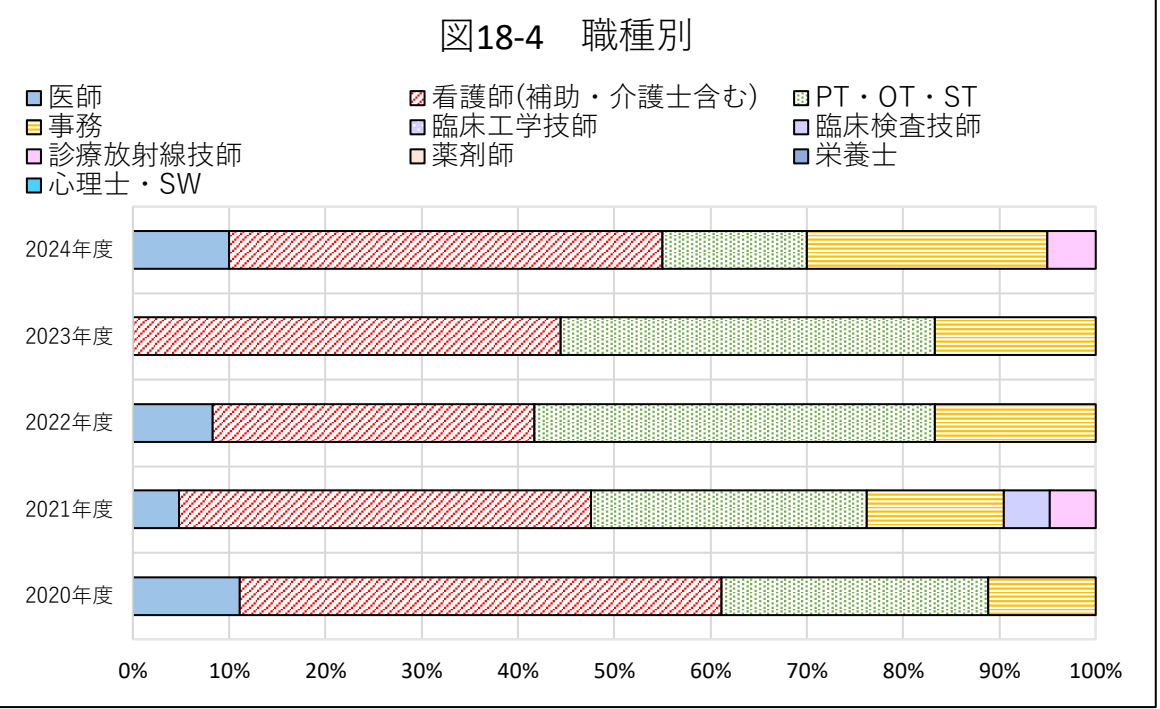
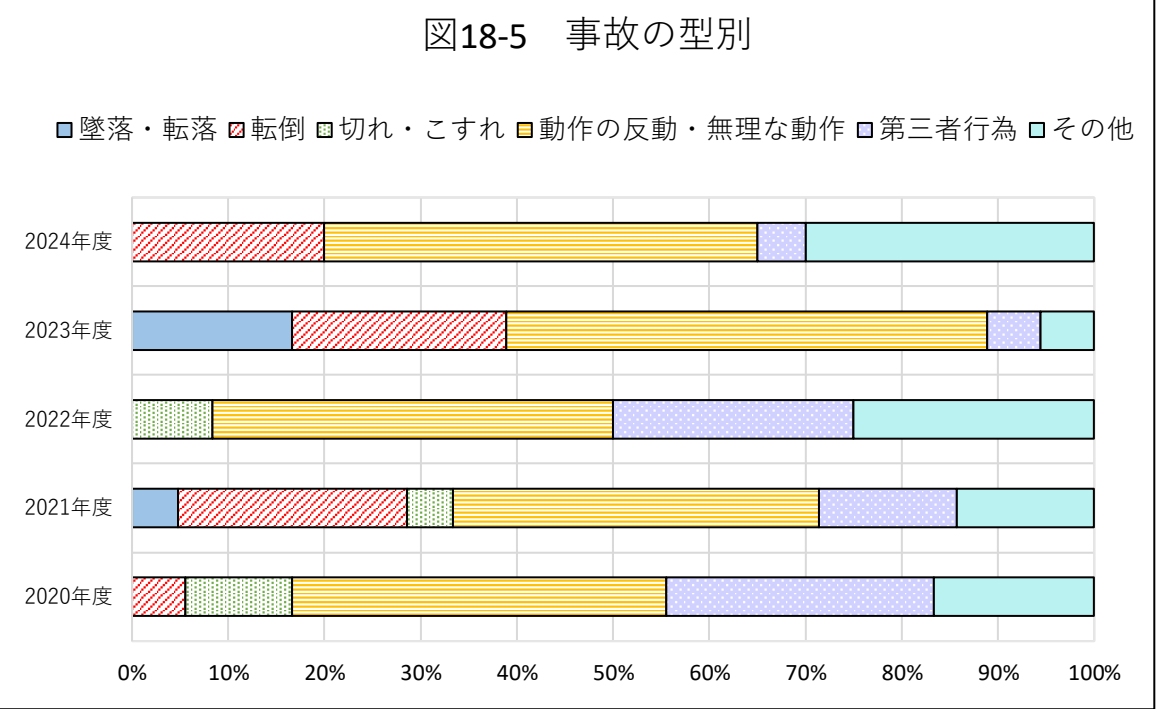


表15-5 【事故の型別】

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
墜落・転落	0	1	0	3	0
転倒	1	5	0	4	4
切れ・こすれ	2	1	1	0	0
動作の反動・無理な動作	7	8	5	9	9
第三者行為	5	3	3	1	1
その他	3	3	3	1	6
合計	18	21	12	18	20



●動作の反動・無理な動作の内訳

表15-6 区分内訳

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
腰痛関連	4	7	3	6	6
関節障害	1	0	0	2	0
その他	2	1	2	1	3
合計	7	8	5	9	9

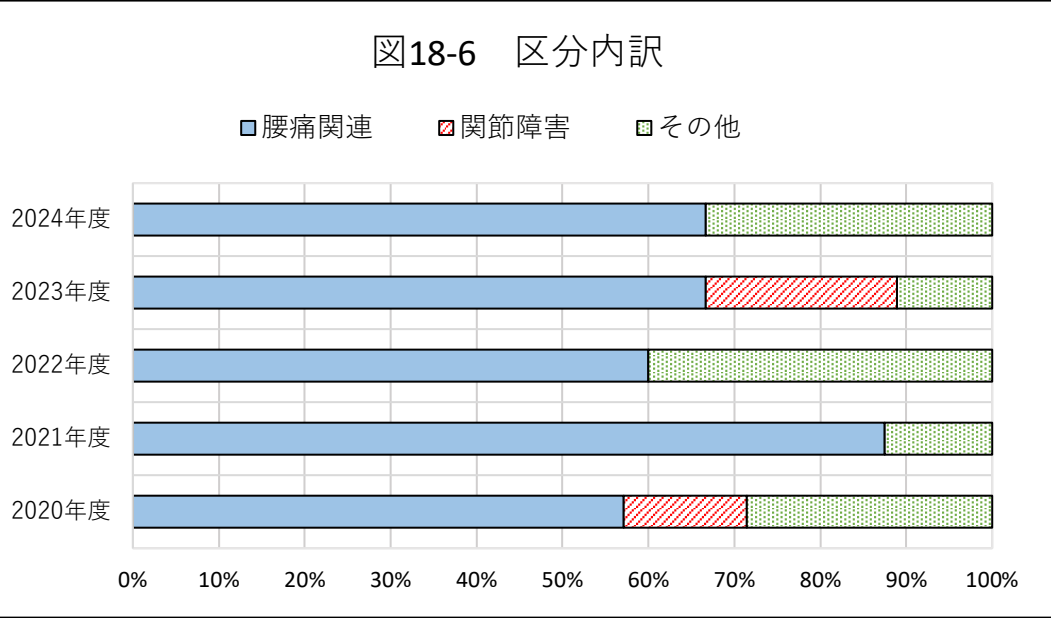


表15-7 原因内訳

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
患者移乗（体位変換含む）	3	4	3	5	4
重量物の持ち上げ・運搬	1	4	0	0	0
その他	3	0	2	4	5
合計	7	8	5	9	9

